



TITLE:

京都大学胸部疾患研究所年報(平成元年度)

AUTHOR(S):

CITATION:

京都大学胸部疾患研究所年報(平成元年度). 京都大学胸部疾患研究所紀要 1990, 23(1/2)

ISSUE DATE:

1990-10-31

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/51618>

RIGHT:

京 都 大 学

胸 部 疾 患 研 究 所 年 報

平 成 元 年 度

(1 9 9 0 年 3 月)

京都大学胸部疾患研究所

京 都 大 学

胸 部 疾 患 研 究 所 年 報

平 成 元 年 度

(1 9 8 9 年)

京都大学胸部疾患研究所職員

(平成2年3月30日現在)

所 長 教 授 大 島 駿 作

環境生態学部門

(人間環境学分野)

教授：糸川嘉則（客員）

(環境呼吸器病学分野)

教授：大島駿作，助教授：門 政男，助手：北市正則，講師（非常勤）：中島道郎，佐藤篤彦，今井弘行，中山昌彦，技官：今井保代，技能補佐員：谷岡文子，奥田敦子

(老化生物学分野)

教授：竹田俊男，助教授：細川昌則，講師：樋口京一，講師（非常勤）：馬場満男，岩倉洋一郎，技官：松下隆壽，小岸久美子，岩井昭一，技能補佐員：松田園子，医員：内木宏延

生体防御学部門

(感染・炎症学分野)

教授：久世文幸，助教授：川合 満，講師：網谷良一，講師（非常勤）：中井 準，岩田猛邦，中西通泰，田中健一，技官：本間トキエ，技能補佐員：片岡和美，石坪真理子

(免疫学分野)

教授：桂 義元，助教授：細野正道，助手：鏑田武志，勅使河原計介，講師（非常勤）：徳永 徹，湊 長博，佐渡敏彦，高沖宗夫，技官：高沖悠子，技能補佐員：中川澄江

(臨床免疫学分野)

教授：泉 孝英，助教授：平田健雄，助手：長井苑子，技能補佐員：山田眞千子

生体調節再建学部門

(臨床生理学分野)

教授：久野健志，助教授：大井元晴，講師（非常勤）：滝島 任，山林 一，中川正清，加藤幹夫，技能補佐員：服部央子，石田嘉子

(胸部外科学分野)

教授：人見滋樹，助教授：和田洋巳，講師（非常勤）：生島宏彦，池田貞雄，北野司久，事務補佐員：間渕美栄子，澁井直美，技能補佐員：石橋浩一，寺本奈尾美

(補助臓器学分野)

助教授：田村康一，助手：藤本真慈，講師（非常勤）：清水慶彦

細胞調節学部門

(分子病理学分野)

教授：鈴木康弘，助教授：喜納辰夫，講師（非常勤）：鈴木幸雄，医員：藤田葉子

(細胞生物学分野)

教授：永田和宏，助教授：大川欣一，助手：平芳一法，講師（非常勤）：矢原一郎，穂積本男，北村幸彦，技官：島田道子，事務補佐員：坪田晴子

(腫瘍学分野)

教授：高橋正治，助教授：倉澤卓也，講師（非常勤）：上野陽里，加納永一，内海博司，事務補佐員：佐伯有香

(附屬感染免疫動物実験施設)

施設長（兼）教授：竹田俊男，助教授：前田道之，技官：安岡倉一，近藤照子，技能補佐員：岸本好子

(事務部)

事務部長：馬場傳次，管理課長：北尾幸一，業務課長：池田忠夫，庶務掛長：塩見弘之，同主任：生駒時秀，同事務官：池下和美，水原貞子，同技官：藤木清文，事務補佐員：能田直子，經理掛長：西田芳信，同主任：野元頼子，山田政廣，西外喜夫，同事務官：小松克巳，山腰俊昭，事務補佐員：中瀬安子，施設掛長：谷 泰雄，同技官：人見博和，松浦 康，小西喜一郎，医事掛長：橋本修身，同主任：西田善吾，同事務官：野田芳子，泉森嘉宏，東部浩志，同技官：竹内孝子，事務補佐員：中村房枝，集治昌代，徳田里江，米谷明子，栄養士：藤井由美子，収入掛長：下西保雄，同事務官：田村長生，大坪博史，事務補佐員：沖田和子

(電子顕微鏡室)

技官：増田 稔

(附屬病院)

病院長（兼）教授：久世文幸

(第一内科診療科)

科長（兼）教授：久世文幸，外来医長（兼）助教授：倉澤卓也，病棟医長（兼）講師：網谷良一，助手：村山尚子，田中栄作，鈴木克洋，医員：松井保憲，新實彰男，医員（研修医）：千葉 秀，有田真知子，山口理世，橋本尚子

(第二内科診療科)

科長（兼）教授：大島駿作，外来医長（兼）助教授：門 政男，病棟医長講師：松井祐佐公，医員：楠目 馨，西村浩一，安井一清，医員（研修医）：益崎裕章，浅見則夫

(外科診療科)

科長（兼）教授：人見滋樹，外来医長（兼）助教授：和田洋巳，病棟医長助手：神頭 徹，講師：青木稔，助手：千原幸司，水野 浩，河原崎茂孝，乾 健二，医員（研修医）：川島正裕

(理学呼吸器科)

科長（兼）教授：久野健志，外来医長助教授：佐藤公彦，病棟医長（兼）助教授：大井元晴，講師：三嶋理晃，助手：陳 和夫，医員：中村吉法，若山俊明，川上賢三，医員（研修医）：中野恭幸，野口哲男，中村聡人

(検査部)

検査部長助教授：木野稔也，技師長：木津 啓，技官：前田清子，春名和代，黒住眞史，山根すま子，技術補佐

員：富田由美子，植村知子，上田多恵子，技能補佐員：林すみ子，東 杏枝，大宮初美

(放射線部)

放射線部長(兼)教授：高橋正治，技師長：濱川純一，同主任：藏岡信良，技官：灘井智代子，曾我部康之，田中龍藏，平井 要，村上雅之，小松龍一，技能補佐員：小林 忍，大坂泰夫

(薬剤部)

薬剤部長：政田幹夫，同主任：澤岡平和，技官：藤原壽子，川田昌子，川勝一雄，薬剤師：奥村秀夫，高橋淳子，事務補佐員：蘆田明子

(手術部)

手術部長(兼)教授：人見滋樹

(麻酔部)

麻酔部長(兼)助教授：和田洋巳

(材料部)

材料部長(兼)助教授：川合 満

(輸血部)

輸血部長(兼)教授：泉 孝英

(看護部)

看護部長：平野照子，看護婦長：松田比佐子，山本喜美，丘 恵子，和多田すみ子，西森三保子，副看護婦長：齋藤千鶴子，榊 喜久子，稲田ひろ子，看護婦：松本敏枝，阿部喜代子，荻田孝子，寺戸美枝子，岩佐純子，大山峯子，小林富貴子，福田千恵子，濱村初子，北川繁子，佐保昭子，山本裕子，山西順子，都築千香，川中マスコ，永井圭子，廣瀬文代，田中澄枝，藤原明子，水上絹子，松原千里，玄 眞利子，能勢和代，田中悦子，山道美津子，若村智子，蒲田志寿恵，三宅重子，濃野ヒロ子，若松栄子，高瀬みさを，山中祥子，山口恵子，竹原佳子，小林裕子，五箇直美，梅田正子，永利明美，田尻春代，高橋わさ子，准看護婦：渡部幸子，湯浅里恵，米澤カヨ子，松田初枝，坂東フサエ，村西直美，稲垣美智子，内藤敏子，鈴木早苗，看護助手：原田芳香，森 朝子，片桐久江，能井美千代，医療技術補助員：石井里美，技術補佐員：黒木ミヨ子，鬼界稚恵子，秋里 梢，早川泉子，曾我部京子，技能補佐員：安部川百枝，松本不二

教 官 人 事

胸部外科学分野 河原崎 茂 孝 助 手

1981年3月に京都大学医学部を卒業し，当研究所の胸部外科に入局。福井日赤呼吸器科にて呼吸器外科の研修を5カ月間行ったのち，静岡市立静岡病院の心臓血管外科にて，主に循環器外科の修練を3年7カ月間にわたり積み，次いで当科にて医員を2カ月勤めたのち，京都市立病院呼吸器科にて呼吸器外科を3年3カ月間修練した。1989年6月16日から当科助手に就任。研究テーマは呼吸と循環のダイナミクスで，京都大学医用高分子研究センターとの共同研究により，呼吸同調式陰圧式人工呼吸器の開発とその右心機能に及ぼす影響，呼吸同調式酸素カニューレの開発などの研究を行い，新しい学際的研究として注目されている。

日本胸部外科学会の認定医と正会員の資格を取得している。

(人見滋樹)

胸部外科学分野 乾 健 二 助 手

1981年3月京都大学医学部を卒業し，当研究所の胸部外科に入局，島田市民病院呼吸器科にて呼吸器外科の修練を4年7カ月間積んだのち，当科にて医員を1年2カ月勤めた。1987年6月1日より京都大学医学部附属病院

集中治療室助手として2年2カ月間にわたり、同室の呼吸管理を一手に引き受けた。同時に当科のみでは経験しえない種々の臨床例を豊富に体験し、全身的管理の実力を修得し、臨床医としての幅を拡げた。1989年8月1日より、当科助手に就任した。肺移植の研究を行い、その主たる成果はJ. Thoracic Cardiovascular Surgeryに掲載された。1990年7月からは西ドイツのハノーバー大学に肺移植の臨床的研究のため留学する。我国で肺移植が臨床応用されるときに貴重な人材であり、西ドイツ留学により一段と成長して帰国されることを期待している。

日本胸部外科学会の認定医と正会員の資格を取得している。

(人見滋樹)

臨床免疫学分野 長井苑子助手

略歴 昭和45年 京都大学薬学部卒業
 昭和47年 京都大学大学院薬学部修士課程終了
 昭和55年 京都府立医科大学卒業
 京都大学医学部付属病院研修医
 昭和56年 京都大学結核胸部疾患研究所付属病院研修医
 昭和57年 同医員
 平成元年 京都大学医学博士（請求論文：肺サルコイドーシスの病態生理学的研究）
 京都大学胸部疾患研究所助手

長井苑子氏の研究課題は気管支肺胞洗浄液細胞を用いた間質性肺疾患を中心としたびまん性肺疾患の病態生理学的研究と気管支肺胞洗浄液細胞診断学的意義に関する研究である。

病態生理学的研究に関しては、サルコイドーシス、特発性肺線維症を中心に炎症細胞と炎症細胞の産生物質に関する研究を行い、最近においては、マクロファージの産生するIL-1抑制物質の精製とその臨床的・病態生理学的意義についての研究において成果を得ている。この領域に関する研究発表としては、国際的集会においては招待講演3を含めて、13の発表、国内学会ではシンポジウムなどにおける招待講演は15におよんでいる。他に、発表原著論文は13（国外5，国内8），分担執筆，総説は25編である。

臨床診断学的には、気管支肺胞洗浄液細胞の診断的検討において、国内的には厚生省特定疾患びまん性肺疾患調査研究班への協力活動のみでなく、アジア各国よりの研修員の指導にあたっている。また、昭和63年には韓国・延世大学校、平成2年には韓国・仁済医科大学、中国・中国医科大学より指導のため招聘され出張している。

今後は、肺細胞を用いた分子生物学的研究への研究の進展が期待される。

(泉 孝英)

学術集会記録

平成元年度 京都大学胸部疾患研究所学術講演会

1. 講演会次第

日時：平成2年1月27日(土) 午後1時30分～5時40分

会場：京大会館

開会の辞

所長 大島 駿 作

1. チオフラビンTを用いたアミロイド線維蛍光分光定量法の開発とそのアミロイドーシス病態解明への応用
検査部 内 木 宏 延
 2. 細胞分化と中間径フィラメント
細胞生物学 都 留 秋 雄
 3. リンパ球分化に於ける前駆細胞—ストローマ細胞間の相互作用
分子病理学 喜 納 辰 夫
- シンポジウム「肺の炎症をめぐって」
座長 久 世 文 幸
1. Nd:YAG レーザー照射による気管支粘膜の炎症性変化と修復過程
胸部外科学 高 橋 豊
 2. ヒト好中球エラスターゼおよび緑膿菌由来の蛋白分解酵素による気道上皮傷害
感染・炎症学 網 谷 良 一
 3. 慢性気道感染症における感染防御と組織変化—動物モデルによる解析
第一内科 田 中 栄 作
 4. 病理学的にみたびまん性汎細気管支炎の問題点について
環境呼吸器病学 北 市 正 則
 5. 好酸球性気道炎症における気道反応（気管支喘息）のヒト疾患モデルとしての好酸球性肺炎
検査部 木 野 稔 也
 6. Endotoxin (ETX) 気道傷害に対する Methylprednisolone (MP) の効果—気管支肺胞洗滌液(BALF)の抗酸化酸素の変動から
理学呼吸器科 佐 藤 公 彦
 7. 肺の慢性炎症の場合でのTリンパ球の役割
臨床免疫学 長 井 苑 子
 8. 総合討論
- 閉会の辞
所長 大 島 駿 作

2. 講演抄録

1. チオフラビンTを用いたアミロイド線維蛍光分光定量法の開発とそのアミロイドーシス病態解明への応用

検査部 内 木 宏 延

近年種々のアミロイド前駆蛋白質が分離、同定された。個々のアミロイドーシスの病因を究明する上で、これらの前駆体がアミロイド線維を形成する過程を *in vitro* で動的に捉えうる系の開発は不可欠である。我々はその第一歩として、蛍光分光光度計を用いて、アミロイド線維を *in vitro* で定量する方法を開発した。(i)アミロイド線維が存在しない場合、チオフラビンTは、350nm で励起すると438nm に弱い蛍光を発した。(ii)アミロイド線維が存在した場合、チオフラビンTは450nm で励起すると482nm に強い蛍光を発した。(iii)チオフラビンT濃度が一定の場合、蛍光強度はアミロイド線維の濃度に比例した。従って個々のアミロイド線維の標準曲線を求めれば、それらを *in vitro* で定量する事が可能となる。(iv)アミロイド線維の濃度が一定の場合、チオフラビンT濃度が増加するにつれて蛍光強度はプラトーレベルに達した。これより、アミロイド線維上にチオフラビンTの特異的結合部位が存在している事が示唆される。(v)アミロイド前駆蛋白質は蛍光を発しなかった。我々の分析法は、前駆蛋白質がアミロイド線維構造をとった時にのみ、これを認識する系である事がわかる。

次に我々は上記方法を発展させて、マウス老化アミロイド線維 (fAS_{SAM}) 臓器含有量の定量法を確立した。(vi)チオフラビンT濃度250nm に於いて、17カ月齢 SAM-P/1より得られた fAS_{SAM}沈着肝ホモジェネートは明るい蛍光を発したが、正常肝ホモジェネートはほとんど蛍光を発しなかった。(vii)グアニジン塩酸処理によりアミロイド線維構造を破壊した場合、fAS_{SAM}沈着肝の蛍光は正常肝レベルにまで低下した。(viii)標準曲線より求めた fAS_{SAM}濃度 ($\mu\text{g}/\text{mg tissue}$) と、免疫組織化学及び形態計測により求めたアミロイド陽性領域 (%) との間には、有意な比例関係が得られた。(ix)fAS_{SAM}濃度測定下限は、 $1 \mu\text{g}/\text{mg tissue}$ であった。

以上の様に、我々は *in vitro*, *in vivo* における fAS_{SAM}の定量法を確立したが、さらに我々は、この測定系の特徴を駆使して、前駆蛋白質から fAS_{SAM}への重合過程を *in vitro* で反応速度論的に解析できる系を確立した。今後この系を用い、どんな factor(s)が fAS_{SAM}重合の引き金を引くのかを解析して行きたい。

2. 細胞分化と中間径フィラメント

細胞生物学 都 留 秋 雄

マウス骨髓性白血病細胞M1は、ラットやマウスの胎児線維芽細胞から得られる conditioned medium (CM) で処理することにより、マクロファージ様細胞へと分化する。この CM 中の分化誘導因子として LIF 及び IL-6 が同定されている。さて、この分化の過程で、細胞は運動能、貪食能を獲得すると同時に、核/細胞質比の減少、核の偏在等顕著な形態変化を示す。一方、核の局在等の細胞形態の維持には中間径フィラメントが関与していることが示唆されている。そこで今回我々はM1細胞の分化に伴う中間径フィラメント-ビメンチンの発現について検討を行った。

まず細胞を³⁵S-メチオニンでラベルし、2次元電気泳動によってビメンチン合成量の変動を調べた。未分化M1ではその合成量は痕跡程度であったが、CM 処理12~24時間後より増加しはじめ、96時間後まで高いレベルで維持されていた。M1の亜株である Mm1 (マクロファージ様株) ではさらに高いレベルに維持されていた。また、抗ビメンチン抗体を用いて Western blotting を行ったところ、CM 処理したM1では未分化M1に比べ細胞当たりで17倍のビメンチンが含まれていた。また Mm1では45倍量含まれていた。ビメンチンの cDNA を用いた Northern blotting の結果、未分化 M1に比べ、CM 処理したM1, Mm1では、ビメンチンの mRNA 量は顕著に増加していた。また、Nuclear run on assay を行ったところ、ビメンチンの mRNA 転写活性は、CM 処理したM1, Mm1では未分化M1に比べ非常に高レベルであった。

間接蛍光抗体法を用いた観察では、未分化M1はほとんど染色されなかったが、CM 処理したM1, Mm1では、核周辺が強く染色され、またフィラメント様染色もみられた。さらに電子顕微鏡による観察を行ったところ、未分化M1ではほとんどフィラメント構造が観察されなかったが、CM 処理したM1及び Mm1では、多量によく発達したフィラメント構造が多く観察された。

以上の結果より、M1の分化に伴う核の偏在にビメンチンが関与しており、mRNA レベルでの発現調節機構の存在が示唆された。

3. リンパ球分化に於ける前駆細胞-ストローマ細胞間の相互作用

分子病理学 喜 納 辰 夫

Tリンパ球分化増殖の場として、また MHC 拘束性・免疫トレランスの起こる場として、ブラックボックスとして残されてきた胸腺をその微小環境を構成する要素に分解してその個々の働きについて調べようという試みが精力的に進められている。一般に、株化した胸腺間質細胞と胸腺リンパ球とを in vitro で共同培養を行うと、リンパ球の間質細胞への接着及び間質細胞下へのもぐり込みがしばしば観察される。このもぐり込みという現象は以前から emperipolesis 現象として胸腺において知られてきたが、胸腺間質細胞のみならず骨髓間質細胞と preB 細胞、前脂肪細胞と顆粒球前駆細胞という血液系細胞の分化の系における細胞間相互作用の過程でも共通に認められる現象である。従って、血液系細胞の分化増殖に重要な相互作用の一ステップであろうと考えられるが、その分子のメカニズムは言うにおよばず、その果たす役割及び結果として起こる細胞生物学的変化についてもまったく解っていない。我々は、T及びBリンパ球の in vitro での分化を解析している過程で、この現象がリンパ球分化増殖の初期の段階で引き金を引く役割を果たしているのではないかと考え、この問題を追求中であり、以下に述べる。リンパ球によって様々な程度のもぐり込み活性を示すが、胸腺のみならず骨髓或いはリンパ節由来の間質細胞に対しても示される活性である。マクロファージ或いは典型的な繊維芽細胞に対しては低い。この活性は、培養後30分で認められ、約4時間でピークに達し、Mg²⁺の存在、温度・エネルギー代謝・細胞骨格系の機能に依存した active な過程である。この現象に関与する分子を探る目的で、様々なモノクローナル抗体を用いて活性阻害実験を行ってきたが、阻害効果は認められず、未知の細胞接着分子が関与した現象であると考えられたことから、抗血清レベルでもぐり込み活性を阻止する抗体を作成する事を試みた。ラットを胸腺間質細胞株 BA-2により過免疫後、その抗血清を胸腺リンパ球、各種のリンパ球株化細胞及び赤血球により徹底的に吸収

してリンパ球に対する反応性をのぞいた後、もぐり込み活性の阻害実験に用いた。これらの結果から、この抗血清が認識するストローマ細胞上の分子量107Kdの蛋白質がこのもぐり込み現象に関与していることが明らかとなった。この蛋白は約10%の糖鎖を含む糖蛋白であるが、ICAM-1, N-CAM, ヘパラン硫酸などの既知の分子とはその分子量及び分布が異なり、違う分子であると考えられる。これまで調べた限りでは、この分子はいわゆる間質系細胞及びある種の繊維芽細胞のみに発現し、上皮系細胞、Mφ及びリンパ球には認められていない。現在、この蛋白と既知の蛋白との異同について調べると共に、間質細胞と他の造血系細胞との相互作用におけるこの分子の果たす役割について詳しく解析中である。

シンポジウム「肺の炎症をめぐって」

座長 感染炎症学 久 世 文 幸

「炎症」という概念のとらえ方は、時代とともに幾多の変遷を経ているが、最近の研究の方向を概観してみると、大まかに次の諸点で特徴づけられると思われる。炎症の病態を病理形態学的所見でとらえていく姿勢は、基本的なものとして重要であるが、炎症をより微視的にとらえる方向、すなわち各種炎症細胞間の相互作用、あるいはそれに関わる活性物質である Cytokine, Chemical mediator, Chemotactic factor などの詳細な解析が盛んになっていることが挙げられよう。また、最近の研究成果として、生体を本来守るために備わっていると理解され、また事実生体防衛に必須のものである好中球、好酸球、マクロファージなどが、その分泌機能などの解析と共に、場合によっては炎症反応の増幅に働くことが明らかになりつつある一面もある。この機会に、当研究所の各領域での最近の成果を持ち寄り、「炎症」という病態を研究していく上での多面的なアプローチを概観してみたいのが、本シンポジウムの趣旨である。

1. Nd-YAG レーザー照射による気管支粘膜の炎症性変化と修復過程

胸部外科学 高 橋 豊

Nd-YAG レーザーはレーザーから発生する熱により気道内病変を焼灼する。同レーザーは高出力であるがゆえ、組織穿通力が強く、周囲の正常組織への影響も多大である。また、今後、レーザー治療後に肺切除術を施行する症例も増大すると思われる、レーザー治療後の気道組織変性及び、その修復過程は興味をもたれる。今回、我々は雑種成犬を用いてこれを検討した。

雑種成犬の気管支粘膜0.5cm²に GOF 麻酔下で、Nd-YAG レーザーを200J（白色変性）、400J（潰瘍形成）照射し、その修復過程を気管支鏡、組織学、細胞学的に検討した。400J 照射群では照射当日で組織欠損・炭化・蛋白変性が観察され、1日後に fibrin 析出、3日後に上皮の組織修復細胞（Tissue Repair Cell）が出現し、これは5日後に扁平上皮化生へと移行した。14日後には一部に線毛円柱細胞もみられた。粘膜下では5日後に大型の fibroblast がみられ、結合組織の再生が始まり、14日後には気管支腺の再生もみられた。200J 照射群では照射当日は蛋白変性のみで、1日目に組織修復細胞、3日後に扁平上皮化生、大型の fibroblast がみられ、細胞浸潤・浮腫などの炎症所見は軽度であった。

気道粘膜の器械的損傷後の組織修復過程は変性上皮の脱落、基底膜の再生、周囲より扁平上皮化細胞の伸展、細胞分裂、分化と進んでいく。レーザー照射後の組織修復も基本的にはこれと同様で、単に時間的な違いだけと考えられた。今回の実験で特に注目されたのは修復時に出現する組織修復細胞で、これは核・細胞質比が大きく、核小体も明瞭で腺癌・大細胞癌にも似た形状であるため、照射後の癌遺残との鑑別に注意を要すると思われる。

2. ヒト好中球エラスターゼおよび緑膿菌由来の蛋白分解酵素による気道上皮傷害

感染・炎症学 網谷良一

気道における最も重要な防御機構である粘液線毛クリアランス（以下 MCC と略す）が何らかの原因（先天的又は後天的）によって障害されると本来無菌的であるとされている下気道に侵入した微生物が長時間停滞しやすくなる。その際微生物側から粘液分泌を促す物質や上皮傷害性の物質が放出され、益々定着増殖しやすい環境を作る。一方生体側では MCC の障害を補うべく非特異的な炎症反応が惹起され、好中球が局所へ遊走集積し微生物の排除にあたる。しかしながら近年この炎症反応の際の好中球の作用（活性酸素、蛋白分解酵素の産生）が生体の気道上皮の傷害をもたらし、益々 MCC の障害を増強し次第に気道病変が進展していくという、いわゆる“悪循環仮説”が提唱されている。

今回はこの悪循環を構成する主要な要素であるヒト好中球と病原微生物から産生放出される蛋白分解酵素の気道粘膜上皮に対する傷害性について *in vitro* に検討した。

用いた蛋白分解酵素はヒト好中球エラスターゼ（HNE）、緑膿菌エラスターゼ（PaE）、緑膿菌アルカリプロテアーゼ（PaAP）の3種で、ヒト鼻粘膜より擦過採取した線毛上皮に対する傷害性を線毛ビート数の変化、上皮構築の破壊の程度（光顕、電顕の両方で判定）によって検討した。方法の詳細については〔化学療法の領域, 5:1479, 1989〕を参照のこと。

結果、考察：HNE, PaE, PaAP はいずれも線毛ビート数の低下と線毛細胞の著しい剝離脱落を生じた。剝離前の線毛細胞に関しても細胞間の間隙が目立ち、細胞間マトリックスが HNE, PaE, PaAP の主要な作用部位であると考えられる。なお上記の傷害性はいずれも患者の生体内で存在しうる濃度で認められた。

3. 慢性気道感染症における感染防御と組織変化—動物モデルによる解析

第一内科 田中栄作

びまん性汎細気管支炎（DPB）などの慢性気道感染症の病因・病態に関しては、不明の点が多く、特に緑膿菌に菌交代してからは、予後不良である。我々は、組織所見で病変が気道周囲に局限していること、起炎菌である緑膿菌の補体溶菌感受性が高いことから、慢性気道感染症の組織変化、及び検査所見は、緑膿菌による気道粘膜側からの慢性の感作の結果惹起された慢性炎症の結果ではないかと考え、健常マウスを使用して、その再現を試みた。臨床分離緑膿菌株を寒天ビーズに混入し、気管内に直接注入するという方法により、機械的に細気管支を閉塞し少なくとも4週に渡る人工的な colonization の状態を再現した。その結果、組織学的に気道上皮の破壊、杯細胞の増生、気道周囲のリンパ球・泡沫細胞の集積など人の病変に極めて類似した所見が再現された。血清中・肺洗浄液中の、IgG・IgA クラスの抗緑膿菌 LPS 抗体も、2週目より上昇が認められ、肺洗浄液中のリンパ球の T リンパ球サブセットでも、CD8優位であった。即ち、人の慢性気道感染症の病態のほとんどの部分が、細菌の気道内 colonization により惹起された慢性炎症の結果として説明されうると考えられる。我々は、日常生活の中で等しく、様々な病原体を吸入しているにも関わらず、一部の人にのみ慢性気道感染症が発症する。病原体の colonization を許した宿主要因の検討が重要と考えられる。

4. 病理学的にみたびまん性汎細気管支炎の問題点について

第二内科 北市正則

われわれは DPB16例を含めて10種類の炎症性気道疾患の開胸肺生検・剖検症例141例の病理学的検討をわが国と英米で行った成績に基づいて DPB の病理学的診断基準を以下の3項目、①両肺びまん性の慢性炎症性気道疾患であること、②細気管支（呼吸細気管支、膜性細気管支）、小葉中心部に慢性炎症の主体が存在すること、③呼吸細気管支壁を含んで、呼吸細気管支とこれと隣接した肺泡管、肺泡の間質に泡沫細胞が集積し、リンパ球系

細胞が浸潤する所見 (unit lesion of panbronchiolitis) が認められること、を満たすことと提案したい。

上記の診断基準を用いて、わが国の11施設でDPBが疑われて開胸肺生検が施行された37例を検討した。

DPBの臨床診断の手引き(厚生省特定疾患間質性肺疾患調査研究班 1982年12月)を満足した16例(clinical DPB)のうち病理学的にDPBと診断できた症例(pathological DPB)は7例(44%)であった。一方、病理学的にDPBと診断できた18例中、DPBの臨床診断の手引きを満足した症例は7例(39%)であった。症例群の背景因子として開胸肺生検時の年齢、発症から肺生検までの期間、慢性副鼻腔炎の罹患率を検討したが症例群間に有意差を認めなかった。この検討成績から現行のDPBの臨床診断の手引きは必ずしも病理組織学的所見を反映したものといえるものではないと考えられた。

従って、DPBの病態生理学的研究にあたってはclinical DPBとpathological DPBのあることを考慮すべきであることが指摘された。

5. 好酸球性気道炎症による気道反応(気管支喘息)のヒト疾患モデルとしての好酸球性肺炎

検査部 木野稔也

気管支喘息は、(1)気管支平滑筋の攣縮のほか、(2)好酸球を中心とする気道の炎症性変化の二つの要素からなるという仮説から、Chronic desquamating eosinophilic bronchitisと仮称されている。

この様な仮定は、種々の動物実験のほか、ヒト活性化好酸球の組織障害活性の証明から徐々に明らかになりつつあるが、共に、その証明力において各々不十分な点を含んでいる。それは、動物モデル実験においては研究目的を正しく設定すれば多くの利点を有しているが、一般的に炎症性メディエータに対する感受性は動物種差が顕著であるため、どの程度ヒトの疾患に帰納しうるかは不明であり、また、ヒトの疾患における病態研究は調査研究から得られた成績は病気の原因よりも単に結果を示すに過ぎない場合があるからである。

そこで、好酸球を中心とする気道の炎症が、ヒトの気道過敏性(気管支喘息)の成立に寄与しうるという仮説を立証するためには、ヒト疾患モデルの設定が必要と考え、好酸球性肺炎をモデルとして考察した結果、1)好酸球性肺炎は、肺胞隔壁のみならず気道上皮や粘膜下にも著明な好酸球の浸潤を認め、気管支肺洗浄(BAL)にて得た細胞組成には好酸球が著増し、BAL上清中に好酸球の特異顆粒に含まれる組織障害性蛋白;ECPを検出した結果、好酸球の活性化を確認した。2)この様な気道炎症を持つ好酸球性肺炎は、ステロイド治療にてCT上既存の肺構築を破壊せずに治癒したかに見えたが、予後を観察すると著明な気道過敏性と反応性の亢進が認められ、これは肺炎の広がりとは好酸球の多さにほぼ比例していた。

以上の成績から、気管支喘息に認められる好酸球性気道炎症は、単なる結果ではなく、確かに気道過敏性を招来し、ヒトにおける喘息の遷延化の原因になっていることが確認され、好酸球性肺炎は、そのメカニズムを研究するためのヒトモデル疾患として有用であることが示唆された。

6. Endotoxin (ETX) 気道傷害に対する Methylprednisolone (MP) の効果—気管支肺洗滌液 (BALF) の抗酸化酵素の変動から

理学呼吸器科 佐藤公彦

ETX7.5ng/kgをWister Ratに静注して肺傷害modelを作製した(ETX群)。ETX群の24時間後の死亡率は36.4%であった(N=99)。あらかじめ、MP30mg/kgを前投与しておく24時間後に斃死するものではなく明らかな死亡率の改善を見た(N=20)。そこで気道傷害を脂質過酸化から検討するためにBALFの抗酸化酵素を測定した。脂質過酸化の指標であるTBA反応物質はETX群で有意に増加し、MP群では対照群と差がなかった。Superoxide dismutase (SOD)は両群とも有意に増加した。一方、Glutathione peroxidase (GSH-PX)、Glutathione-S-Transferase (GST)、Glutathione reductase (GR)はETX群で有意に増加したが、MP群では変化がなかった。以上のことより、MPはSODのsuperoxide radicalの処理をたすけ、lipid peroxideの生成を抑制することが推測される。

ARDSの臨床像は肺水腫であるが、発症機序は過剰な炎症反応としてとらえられつつある。ARDSには有効

な治療がなく Steroid 治療の適否も未解決であるが、今回の検討から MP は superoxide radical の消却に貢献し脂質過酸化の悪循環を断つ作用を有することが示唆された。

7. 肺の慢性炎症の場合での T リンパ球の役割

臨床免疫学 長井苑子

間質性肺疾患、特にサルコイドーシス、過敏性肺臓炎、膠原病性間質性肺炎（BOOP を含む）では、組織標本および BALF 細胞所見で T リンパ球の増加が認められる。これらの T リンパ球は、さらにサブセットの差異が臨床的には鑑別診断の一助となっている。しかし、増加している T 細胞がそのサブセットも含めて病態成立過程でどのような役割をはたしているのかについては十分に明らかにされているわけではない。

特に、間質性肺炎では発症時期がはっきりしないばかりでなく、炎症の収束機序が速やかに進行せず、慢性化してしまうことが炎症論的な特徴である。慢性化の要因としては、抗原の問題、抗原提示細胞の多様性、病変の肺内限局、あるいは肺外病変による肺病変の修飾などの複雑な問題が想定される。

今回の検討では、BALF 細胞を用いて末梢血細胞との比較、健常人細胞との比較から、1. 表面形質の解析、2. 機能的検討から、肺内で増加している T リンパ球なかでも CD4 陽性細胞、CD8 陽性細胞が病態発生的にどのような役割を果たしているのかについて考察を加えた。

第一に、BALFCD8⁺DR⁺細胞が増加している BOOP、膠原病肺では、これらの細胞は自己 T 細胞増殖のアクセサリー細胞として働く可能性があり、局所的な自己免疫反応の発現の可能性があるのでないかとの考察をした。第二に、サルコイドーシスで増加している CD4⁺細胞は肉芽腫病変形成に関与するといわれてきたこと、BALFT リンパ球では B 細胞活性化は認められないことから、最近報告されている CD4 陽性細胞サブセットの中での同定を cytoflowmeter を用いて行い、CD4⁺CD45⁻細胞が有意に増加していることを明らかにした。

胸部研特別ゼミナール

148回 1990年1月26日 人遺伝子地図と遺伝病 三木哲郎（大阪大学 老年病学）

149回 1990年3月10日 マクロファージ系細胞群における組織因子の発現・生成 中村 伸（京都大学 霊長類研究所）

150回 1990年3月22日 ヒト水晶体蛋白の加齢変化について 上田泰次（東京理科大学 理工学部）

業 績 目 録

環境呼吸器病学分野／臨床免疫学分野（第2内科）・検査部

〔分 担 執 筆〕

柏崎禎夫，狩野庄吾編集：免疫・アレルギー・リウマチ病学，医学書院，1989. Lecture 6 アレルギー性疾患（3）肺アレルギー Lecture 7 アレルギー性疾患（4）アナフィラキシーとその他のアレルギー，p.70-95，（泉 孝英）

三上理一郎，山本正彦，泉 孝英編：新呼吸器病学，医学書院，1989，2. 免疫性呼吸器疾患 A. 肺と免疫 B. アレルギー性肺疾患 1. アレルギー反応のタイプからみたアレルギー性肺疾患 2. アレルギー性肺疾患における気管支肺泡洗浄液所見 p.122-124，5. Goodpasture 症候群 6. 過敏性肺臓炎 7. PIE 症候群 C. 免疫不全症候群に伴う肺感染症 p.138-160，5. 産業性呼吸器疾患 A. 概念と歴史 B. 職業性呼吸器疾患 1. じん（塵）肺 p.235-255 8. 全身性疾患に伴う呼吸器疾患 I. 膠原病，肺血管炎および類縁疾患 p.389-398，F. HLA と呼吸器疾患 10. 原因不明の肺疾患 A. サルコイドーシス B. 特発性間質性肺炎・肺線維症 概念・歴史 p.421-439，疫学，症状・徴候，検査所見，診断，鑑別診断，予後，治療 C. Bronchiolitis obliterans organizing pneumonia (BOOP) D. リンパ球浸潤性肺疾患群 E. 肺胞蛋白症 F. Histiocytosis X p.441-458，（泉 孝英）腫瘍性肺疾患 A. 肺癌 3d. 免疫療法 p.292-294（門 政男） 9. 遺伝的呼吸器疾患 C. びまん性過誤腫性肺脈管筋腫症 結節性硬化症 p.410-411，E. 系統的遺伝性肺疾患 7. Hermansky-Pudlak 症候群 p.418-419，（西村浩一，泉 孝英）

塩川優一，七川歆次，御巫清允，本間光夫監修，広畑和志，高久史麿，水島 裕，西岡久壽樹編集：リウマチ学，同文書院，1989 XV その他のリウマチ性疾患 14. サルコイドーシス，p.826-831，（泉 孝英）

清水直容総合監修：結核，ミクス，東京，1989，多剤併用療法の注意点，p.187-194，（泉 孝英）

奥田 稔編集：メディカル・ジャーナル社，東京：好酸球性肺炎における気道反応一気道過敏性亢進における好酸球の関与について，気道浸潤細胞の形態と機能（第1回気道病態シンポジウム），pp.53-58，1989，（木野稔也，佐竹範夫，安場広高，大島駿作）

池本秀雄企画・監修：協和企画通信，東京，アレルギー型アスペルギルス症の血清免疫学的診断，Aspergillosis アスペルギルス症とその周辺 pp.27-32，1989，（木野稔也）

高久史麿，水島 裕編集：「今日の処方」南江堂，1990，5. 呼吸器疾患 特発性間質性肺炎 p.199-201，慢性ペリリウム肺 p.213-214（泉 孝英），PIE 症候群 p.201-203（安場広高），サルコイドーシス p.203-204（長井苑子），ウェゲナー肉芽腫症 p.205-206（松井祐佐公）

中田 肇，高島 力，伊藤春海編：胸部CT 読影と診断のテキスト，秀潤社，1989，VI. びまん性肺病変 1. 特発性肺線維症 2. びまん性肺泡領域損傷，急性間質性肺炎 3. BOOP 4. LIP 5. 膠原病に伴う肺病変 6. 肺サルコイドーシス 7. 好酸球性肺肉芽腫症 8. 慢性ペリリウム肺 9. じん肺，p.118-136，（西村浩一）

土井 修，松本満臣，河野通雄，松山正也編集：メジカルビュー社，1989，胸部画像診断の要点 最適診断のための役割と注意点 I. びまん性肺疾患の画像診断 末梢気道疾患，p.72-86，（西村浩一，北市正則，泉 孝英，伊藤春海，金岡正樹，村田喜代史）

〔綜 説〕

泉 孝英，北市正則：細気管支病変，代謝，26（4）：365-372，1989

泉 孝英，長井苑子：特集「肺炎と肺臓炎」肺臓炎とアレルギー，臨床科学，25（4）：442-448，1989

- 泉 孝英：特集「結核」ツベルクリン反応。臨床と微生物，16(4)：408-412，1989
- 泉 孝英：閉塞性肺疾患をめぐる用語の混乱について。日本胸部臨床，48(9)：704-719，1989
- 泉 孝英：特集「結核をめぐる現状と問題点」結核の感染と免疫。Pharmacia Medica，7(10)：29-34，1989
- 泉 孝英：特集「慢性閉塞性肺疾患」COPDの周辺。クリニカ，11(11)：727-738，1989
- 泉 孝英：特集「閉塞性肺疾患1990」閉塞性肺疾患—研究の歴史・今後の課題—。最新医学，45(1)：5-16，1990
- 泉 孝英：特集「閉塞性肺疾患1990」閉塞性肺疾患治療の進歩—肺移植の適応と実際。最新医学，45(1)：112-113，1990
- 泉 孝英：間質性肺疾患の概念と分類。日本臨床，48(3)：474-479，1990
- 木野稔也：特集「アレルギー疾患」昆虫アレルギー……特に吸入性昆虫アレルギーの現況とその普遍性について。現代医療，21(4)：1217-1221，1989
- 木野稔也：特集「知っておきたい100ワード……現代医学理解のために」抗アレルギー剤。医学のあゆみ，150(1)：45-45，1989
- 木野稔也，大島駿作：特大号「話題の疾患—その診断と治療」PIE。現代医療，21(7)：1980-1987，1989
- 木野稔也：特集「ユスリカ・アレルギーと蚊刺症」大気中に浮遊する吸入性昆虫抗原。アレルギーの臨床，9(9)：(No.110)：645-648，1989
- 木野稔也：特集「気管支喘息—きめ細かい対応とベストの治療」気管支喘息の原因・発症機構とその対策，吸入性アレルギー—種類と重要度および濃度測定法。Medical Practice，6(11)：1781-1784，1989
- 木野稔也：「退院後の生活指導」PIEとABPA。臨床成人病，20(1)：113-116，1990
- 北市正則：BOOP (Bronchiolitis obliterans organizing pneumonia)。臨床成人病，12：2167-2172，1989
- 北市正則：特集「間質性肺疾患」図説，間質性肺疾患の病理学的分類，—とくに原因不明のびまん性間質性肺炎・肺線維症について—。日本臨床，48(3)：2-4，1990
- 北市正則：特集「間質性肺疾患」間質性肺疾患に関連する諸検査，肺バイオプシー，—経気管支肺生検と開胸肺生検について—。日本臨床，48(3)：63-67，1990
- 北市正則：びまん性肺疾患の病理，—特に開胸肺生検によって認められる UIP の病変所見について—。病院病理，7(2)：8-10，1989
- 長井苑子，泉 孝英：ベリリウム。アレルギーの臨床，9(12)：858-861，1989
- 長井苑子，竹内 実，泉 孝英：特集「喫煙の医学」喫煙の肺における炎症反応，免疫反応に及ぼす影響。最新医学，44(7)：1388-1393，1989
- 長井苑子，泉 孝英：サルコイドーシス。Medical Practice 6 (臨時増刊号)，820-823，1989
- 長井苑子：タバコ病としての肺気腫。最新医学，45(1)：72-79，1989
- 西村浩一，北市正則，泉 孝英，金岡正樹，伊藤春海：びまん性汎細気管支炎のX線 CT 像と伸展固定肺標本との比較検討。臨床放射線，34(7)：773-782，1989

〔原 著〕

- 泉 孝英，長井苑子，西村浩一，北市正則，江村正仁，三尾直士，渡辺和彦，竹内 実，大島駿作，大塚直紀，陳 和夫，久野健志，藤村直樹，田中 茂，川添隆司，中山昌彦，大野聖子，辻 重行，今井弘行，荏原順一：BOOP 症例における BALF 細胞所見—特に UIP 症例との比較—。日胸疾会誌，27(4)：474-484，1989
- 木野稔也，佐竹範夫，安場広高，川口英人，楠目 馨，大島駿作，浅本 仁，故倉 恵，大山口 渥，中山昌彦，中村 昇，辻 重行，中橋弥生，原 洋，中山泰三，杉本幾久雄：成人気管支喘息患者における定量噴霧式吸入器 (MDI) の吸入様式の調査と procaterol 吸入に対する吸入指導前後の気管支拡張効果の検討。呼吸，8(11)：1213-1221，1989
- 松井祐佐公，北市正則，泉 孝英，大島駿作，田中 茂，佐々木義行：孤立性形質細胞腫の摘出術後に再発・播種した骨の多発性形質細胞腫の1例。京大胸部研紀要 22(1, 2)：4-10，1989

長井苑子, 竹内 実, 泉 孝英: ヒト BALF マクロファージの IL-1 産生遊離とその制御—喫煙および間質性肺疾患にみられる制御の異常について—. 日臨免会誌, 12(5): 531-536, 1989

西村浩一: 慢性肺気腫患者の血清および尿中デスモンシン量の ELISA 法による測定の見解. 日胸疾会誌, 27(12): 1502-1507, 1989

江村正仁: 特発性肺線維症症例における B リンパ球活性化所見に関する検討. 日胸疾会誌, 27(10): 1184-1192, 1989

江村正仁: 特発性肺線維症における B cell growth factor, B cell differentiation factor 産生に関する検討. 日胸疾会誌, 27(12): 1467-1474, 1989

安場広高, 川口英人, 佐竹範夫, 福田康二, 松井祐佐公, 木野稔也, 大島駿作: 肺アスペルギス感染症から ARDS に陥り救命し得た 1 例. 日本胸部臨床, 48(7): 558-563

安場広高, 奥田 薫, 鰐田利恵子, 福田康二, 佐竹範夫, 松井祐佐公, 木野稔也, 大島駿作, 荏原順一: 宮崎肺吸虫感染を契機として発症したと考えられる HES (Hypereosinophilic syndrome) の 1 例. 日胸, 48(8): 651-655

Kawakatsu K, Nishimura K, Kawai M, Chikuma M: Separation and determination of theophylline from paraxanthine in human serum by reversed-phase high performance liquid chromatography. Journal of Pharmaceutical & Biomedical Analysis 7 (8): 965-973, 1989

福田康二, 安場広高, 佐竹範夫, 木野稔也, 大島駿作, 荏原順一: 気管支喘息患者の末梢血好中球のルミノール依存性化学発光についての検討. 日胸疾会誌, 27(2): 200-205, 1989

山根すま子, 黒住真史, 木野稔也, 陳 文熙, 北市正則, 藤田葉子, 鈴木康弘, 内木宏延, 細川晶則, 竹田俊男: 病理検査データ管理のシステム化と病理組織診断集計. 京大胸部研紀要 22(1, 2): 19-27, 1989

〔学会記録, 報告書, 会議録〕

泉 孝英: 原因不明のびまん性間質性肺炎・肺線維症に関する再検討. 結合組織, 21(1): 32-33, 1989

泉 孝英, 長井苑子, 北市正則, 西村浩一, 大島駿作: 喫煙の間質性肺疾患の成立, 進展に及ぼす影響に関する研究—IPF 症例における喫煙状況と喫煙の IPF 症例における臨床像におよぼす影響にかんする検討—. 昭和63年度喫煙科学研究財団研究年報, p.345-348, 1989

泉 孝英, 長井苑子, 北市正則, 江村正仁, 三尾直士, 渡辺和彦, 竹内 実, 大島駿作: 各種環境条件下における非喫煙者のたばこ煙吸用量とその生体に及ぼす影響に関する研究—受動喫煙の BALF 細胞に及ぼす影響について (第2報)—. 昭和63年度喫煙科学研究財団研究年報, p.593-596, 1989

泉 孝英: 第27回日本胸部疾患学会総会シンポジウム末梢気道・肺胞系の病態——気道と肺胞の接点をめぐって 4. 免疫. 日胸疾会誌, 27(5): 561-564, 1989

Izumi, T.: Diffuse panbronchitis. Atemw. -Lungenkrkh, 17 (7): S283-284, 1989

Izumi, T.: SP1, 4 Chronic beryllium disease. Proceedings of the 10th AsiaPacific Congress on the Diseases of the Chest. p.97-107, 1989

Izumi, T.: Comparison of clinical and pathological findings between asymptomatic individuals as detected by routine health examination and symptomatic patients in idiopathic UIP. Harasawa, M. ed. Interstitial Pneumonia of Unknown Etiology. P.353-359, University of Tokyo Press, Tokyo, 1989

泉 孝英: 線維化性間質性肺炎—特発性間質性肺炎・肺線維症を中心に—. 日胸疾会誌, 27(11): 1268-1273, 1989

Kino, T. and Oshima, S.: Determination of chironomid midge airborne allergen, in comparison with moth, butterfly and caddis fly allergens. In International Symposium on Mite and Midge Allergy., President: Miyamoto, T., A Meeting sponsored by The Ministry of Education, Science and Culture, The Japanese Government, pp.338-363, 1989

木野稔也: 昆虫による気管支喘息のアレルギー学的研究, 種々の交叉反応試験による蝶・蛾, トビケラ, ユス

リカアレルギーの独立性の検討と各々の昆虫に特有な感作抗原分画の分子レベルでの研究(63570162)。平成元年度科学研究費(一般研究C)研究成果報告書, 平成2年3月

木野稔也, 大野駿作: シンポジウム「アレルギーと呼吸器疾患」気管支喘息の発症に関連した環境要因。日本内科学会雑誌, 78(9): 1273-1276, 1989

Kino, T. and Oshima, S.: "Symposium on allergy and respiratory diseases.", Environmental factors effecting pathogenesis of bronchial asthma., Jpn. J. Med., 28 (4): 544-546, 1989

門 政男, 木村 丹, 坂谷光則, 鈴木 一, 永田忍彦, 重松信昭: 胸水の診断。呼吸, 8(5): 469~482, 1989

松井祐佐公, 門 政男, 大島駿作, 李 啓光: 肺小細胞癌における Etoposide と split dose CDDP and THP (PET 療法) の pilot study. 第3回進行肺癌治療懇話会 抄録集, p14, 1989

Kitaichi, M.: Alveolar septal inflammation: A comparative pathological study of IPF and BOOP. Interstitial Pneumonia of Unknown Etiology, edited by M. Harasawa, Y. Fukuchi and H. Morinari, University of Tokyo Press, 1989, p.189-199

北市正則: 話題提供: IPF/UIP 症例に関する Dr. Colby, DeRemee の討議の結果について—京大胸部研グループ症例と Mayo Clinic 症例の比較から—。第40回間質性肺疾患研究会討議録, p. 1-13, 1989

北市正則: Symposium: エリスロマイシンはなぜびまん性汎細気管支炎に効くのか。II. DPB とはどのような病気だろうか。1. Clinical DPB と Pathological DPB. Therapeutic Research, 11 (3): 937-940, 1990.

山本正彦, 伊奈康孝, 米田良蔵, 斎木茂樹, 北市正則, 岩井和郎, 河端美則, 岩田猛邦他: Bronchiolitis Obliterans Organizing Pneumonia (BOOP) の病態について。厚生省特定疾患びまん性肺疾患調査研究班昭和63年度研究報告書(班長, 田村昌士), p.72-73, 1989

Yamamoto, M., Ina, Y. and Kitaichi, M.: Bronchiolitis obliterans organizing pneumonia (BOOP): Profile in Japan. Interstitial Pneumonia of Unknown Etiology, edited by M. Harasawa, Y. Fukuchi and H. Morinari, University of Tokyo Press, 1989, p.61-71

長井苑子: 肺移植の適応となる症例と時期をめぐって。京都大学胸部疾患研究所紀要, 22(1, 2): 37-40, 1989

Nagai, S.: The value of BALF cell findings for differentiation of idiopathic UIP, BOOP, and Interstitial pneumonia associated with collagen vascular diseases. Interstitial Pneumonia of Unknown Etiology Eds. by M. Harasawa, Y. Fukuchi, H. Morinari, University of Tokyo Press, p131-136, 1989

Nagai, S., Takeuchi, M., Izumi, T.: The role of BALF macrophages on the pathogenesis of the epithelioid cell granuloma formation in pulmonary sarcoidosis Basic Mechanisms of granulomatous inflammation Eds by T. Yoshida, M. Torisu, Elsevier Science Publisher B. V., p.265-281, 1989

Nishimura, K. and Itoh, H.: Is CT useful in differentiating between BOOP and UIP? In: Harasawa M, Fukuchi Y, Morinari Heds. Interstitial Pneumonia of Unknown Etiology, p.317~325, University of Tokyo Press, 1989

西村浩一, 北市正則, 三尾直士, 江村正仁, 長井苑子, 泉 孝英, 金岡正樹, 伊藤春海, 川口英人: Pulmonary Lymphangiomyomatosis 2例における胸部X線・CT所見——特発性肺線維症および肺気腫との鑑別を中心に——。第40回間質性肺疾患研究会討議録, p.50~55

[学会, 研究会発表]

大島駿作: 免疫学からみた呼吸器疾患研究の進歩。第29回日本胸部疾患学会(会長講演)(1989. 4. 5)

大島駿作: びまん性肺疾患の臨床。第6回九州呼吸器疾患研究会(1989. 7. 1)

大島駿作: びまん性肺疾患の診断と治療。日本内科学会生涯教育講演会(近畿支部)(1990. 2. 28)

泉 孝英, 北市正則, 長井苑子, 西村浩一, 江村正仁, 三尾直士, 藤村直樹, 大島駿作: 特発性肺線維症(UIP)症例における病変進展機序に関する病理組織学会的検討。第86回日本内科学会講演会(1989. 4. 1)

泉 孝英: 特別講演『線維化性間質性肺炎』。第29回日本胸部疾患学会(1989. 4. 7)

泉 孝英: パネルディスカッション『我が国における慢性閉塞性肺疾患』3. 慢性気管支炎とその周辺。第

29回日本胸部疾患学会 (1989. 4. 7)

泉 孝英, 長井苑子, 北市正則, 江村正仁, 三尾直士, 渡辺和彦, 竹内 実, 大島駿作: 各種環境条件下における非喫煙者のたばこ煙吸入量とその生体に及ぼす影響に関する研究——受動喫煙の BALF 細胞に及ぼす影響について (第2報). 第4回昭和63年度助成研究発表会 (喫煙科学研究財団) (1989. 7. 14)

泉 孝英, 長井苑子, 北市正則, 西村浩一, 大島駿作: 喫煙の間質性肺疾患の成立, 進展に及ぼす影響に関する研究——IPF 症例における喫煙状況と喫煙の IPF 症例における臨床像におよぼす影響にかんする検討——. 第4回昭和63年度助成研究発表会 (喫煙科学研究財団) (1989. 7. 14)

Izumi, T., Nagai, S., Kitaichi, M.: A comparison of histopathological and bronchoalveolar lavage cell findings for UIP and BOOP. 8th Congress of Societas Europaea Pneumologica (1989. 9. 11., Freiburg)

Izumi, T., Nishimura, K., Tamura, M.: Recent clinical epidemiology of diffuse panbronchiolitis. 8th Congress of Societas Europaea Pneumologica (1989. 11., Freiburg)

Izumi, T., Nagai, S., Kitaichi, M., Nishimura, K., Oshima, S.: Can SACE and BALF cell findings be used as an indicator of activity and an indicator of prognosis sarcoidosis? 1st WASOG meeting (1989. 10. 23., Estoril)

泉 孝英司会: パネル・ディスカッション『慢性喘息の治療と管理』. 第64回日本結核病学会・第34回日本胸部疾患学会近畿地方会 (1989. 12. 9)

泉 孝英: 特別講演『肺移植をめぐる——どのような疾患のどのような時期に肺移植をお願いすべきか』. 第7回京都大学移植研究会 (1990. 1. 20)

木野稔也, 大島駿作: シンポジウム「アレルギーと呼吸器疾患」 A. 喘息発症の要因に関連して 3) 自然環境要因の立場から. 第86回日本内科学会総会, (1989. 4. 1)

木野稔也, 佐竹範夫, 安場広高, 川口英人, 楠目 馨, 福田康二, 大島駿作, 浅本 仁, 故倉 恵, 大山口渥, 中山昌彦, 中村 昇, 辻 重行, 中橋弥生, 原 洋: 成人気管支喘息患者における定量噴霧式吸入治療剤の吸入様式調査と吸入方法指導の効果. 第29回日本胸部疾患学会総会, (1989. 4. 5)

木野稔也, 佐竹範夫, 安場広高, 大島駿作: 気管支喘息患者におけるダニ, カイコ蛾翅, トビケラ翅, ユスリカ全虫体 IgE 抗体の検出頻度と抗体価から見た抗原間の相互関係. 第39回日本アレルギー学会総会, (1989. 9. 28)

木野稔也, 川城丈夫: シンポジウム「慢性閉塞性肺疾患と臨床検査」, 司会のことば: 慢性閉塞性肺疾患の成因と概念の変遷. 第36回日本臨床病理学会総会, (1989. 10. 5)

門 政男, 泉 孝英, 長井苑子, 大島駿作, 宮田 健, 甲斐広文, 小田嘉明: びまん性間質性肺疾患における BALF 中肺サーファクタントの検討. 第29回日本胸部疾患学会総会 (1989. 4. 6)

門 政男, 松井祐佐公, 安場広高, 大島駿作, 中島道郎, 橋本圭司, 浅本 仁, 小沢佳広, 藤村直樹, 田中 茂: 結核性胸膜炎の診断における臨床的検討. 第64回日本結核病学会総会 (1989. 4. 28)

門 政男, 松井祐佐公, 安場広高, 大島駿作, 浅本 仁, 小沢佳広, 今井弘行, 橋本圭司, 藤村直樹, 田中 茂: 癌性胸膜炎の臨床的検討. 第30回日本肺癌学会総会 (1989. 11. 10)

松井祐佐公, 門 政男, 大島駿作, 李 啓光: 肺小細胞癌における Etoposide と split dose CDDP and THP (PET 療法) の pilot study. 第3回進行肺癌治療懇話会 (1989. 7. 1)

松井祐佐公, 川谷暁夫, 佐竹範夫, 三尾直士, 安場広高, 西村浩一, 北市正則, 平田健雄, 門 政男, 木野稔也, 泉 孝英, 大島駿作: 肺小細胞癌における30ヶ月以上生存例の検討. 第30回日本肺癌学会総会 (1989. 11. 10)

松井祐佐公, 佐竹範夫, 安場広高, 安井一清, 門 政男, 木野稔也, 大島駿作: 肺癌における血清 NCC-ST-439 の臨床的検討—SLX との比較—. 第30回日本肺癌学会総会 (1989. 11. 10)

平田健雄, 安場広高, 福田康二, 佐竹範夫, 松井祐佐公, 門 政男, 木野稔也, 泉 孝英, 大島駿作, 松延政一: エリスロマイシンの好中球による化学遊走因子産生抑制活性の in vitro における検討. 第29回日本胸部疾患学会総会 (1989. 4)

平田健雄, 西村浩一, 安場広高, 福田康二, 佐竹範夫, 松井祐佐公, 門 政男, 木野稔也, 泉 孝英, 大島駿作, 松延政一: 好中球活性化酸素産生の抑制活性の in vitro における検討. 第29回日本胸部疾患学会総会 (1989. 4)

北市正則：話題提供, IPF/UIP 症例に関する Dr. Colby, DeRemee の討議の結果について—京大胸部研グループ症例と Mayo Clinic 症例の比較から—。第40回間質性肺疾患研究会 (1989. 5. 26)

北市正則：講演, びまん性肺疾患の病理, 一特に開胸肺生検について—。病院病理医協会関西支部・第33回関西支部交見会 (1989. 6. 10)

北市正則, Colby, T. V.: 開胸肺生検組織内に少数の肉芽腫性病変が認められたが, IPF/UIP と診断した症例について。第9回日本サルコイドーシス学会総会 (1989. 9. 22)

Kitaichi, M. and Colby, T. V.: Incidental small granulomas in three cases among 46 open lung biopsy cases of idiopathic pulmonary fibrosis/usual interstitial pneumonia (IPF/UIP). First WASOG (World Association of Sarcoidosis and Other Granulomatous Disorders) Meeting (1989. 10. 29 Estriol)

北市正則, 江村正仁, 西村浩一, 長井苑子, 大島駿作, 泉 孝英：特発性肺線維症 (IPF) における肺癌の合併について—開胸肺生検例と剖検例の検討から—。第30回日本肺癌学会総会 (1989. 11. 10)

北市正則：特発性肺線維症 (IPF/UIP) 症例の急性増悪例の肺病変について。第41回間質性肺疾患研究会 (1989. 11. 17)

北市正則：Clinical DPB と Pathological DPB. シンポジウム：エリスロマイシンは何故びまん性汎細気管支炎に効くのか。 (1989. 11. 25)

北市正則, 長井苑子, 泉 孝英：膠原病症例における肺病変について, 一開胸肺生検症例の検討から—。厚生省特定疾患びまん性肺疾患調査研究班平成元年度第2回班会議, (1989. 1. 26)

北市正則：病理学的にみたびまん性汎細気管支炎の問題点について, シンポジウム「肺の炎症をめぐって」, 平成元年度京都大学胸部疾患研究所学術講演会, (1990. 1. 27)

長井苑子：シンポジウム「サルコイドーシス」診断：活動度。第29回日本胸部疾患学会総会 (1989. 4. 6)

長井苑子, 竹内 実, テインオン, 三尾直士, 江村正仁, 北市正則, 大島駿作, 泉 孝英, 藤村直樹：サルコイドーシス BALF マクロファージ培養上清の β -インターフェロン活性とコロニー形成能。第29回日本胸部疾患学会総会 (1989. 4. 5)

長井苑子, 蔡熒煌, 富田由美子, 竹内 実, 三尾直士, 江村正仁, 北市正則, 大島駿作, 泉 孝英, 藤村直樹：間質性肺疾患における OKT8+細胞増加と OKT8+細胞上の HLA・DR 抗原発現についての検討。第29回日本胸部疾患学会総会 (1989. 4. 6)

長井苑子, 竹内 実, 泉 孝英：シンポジウム マクロファージの基礎と臨床：ヒト BALF マクロファージの IL-1 産生遊離とその制御。第17回日本臨床免疫学会総会 (1989. 6. 7)

長井苑子：特別講演「サルコイドーシスの BALF 細胞からみた病態」。第9回日本サルコイドーシス学会総会 (1989. 9. 21)

長井苑子, 竹内 実, テインオン, 渡辺和彦, 泉 孝英：慢性炎症性肺疾患における BALF マクロファージより産生される IL-1 および IL-1 抑制物質の意義。第17回免疫カンファレンス (1989. 9. 2)

長井苑子：DPB に対するエリスロマイシンの有効性の検討をめぐって 肺の細胞・肺の炎症細胞, シンポジウム エリスロマイシンは何故びまん性汎細気管支炎に効くのか (1989. 11. 25)

長井苑子：シンポジウム「肺の炎症をめぐって」, 肺の慢性炎症の場での T リンパ球の役割。平成元年度京都大学胸部疾患研究所学術講演会 (1990. 1. 27)

長井苑子, 泉 孝英：サルコイドーシス症例における CD4+T リンパ球の多様性について。厚生省特定疾患びまん性肺疾患調査研究班 平成元年度第2回班会議 (1990. 1. 26)

西村浩一, 泉 孝英, 三尾直士, 江村正仁, 長井苑子, 北市正則, 大島駿作, 金岡正樹, 伊藤春海：特発性 UIP 症例における胸部 X 線所見の経過についての検討。第29回日本胸部疾患学会総会 (1989. 4. 5)

Nishimura, K., Nagai, S., Kitaichi, M., Izumi, T., Oshima, S., Kanaoka, M., Itoh, H.: Centrilobular nodules and bronchiole ectasis revealed on high resolution computed tomography of diffuse panbronchiolitis in Japan. 1989 Annual Meeting of American Thoracic Society. (1989. 5. 17. Cincinnati)

西村浩一, 北市正則, 三尾直士, 江村正仁, 長井苑子, 泉 孝英, 金岡正樹, 伊藤春海, 川口英人：Pulmonary lymphangiomyomatosis 2 例における胸部 X 線・CT 所見—特発性肺線維症および肺気腫との鑑別を中心に—。第40回間質性肺疾患研究会 (1989. 5. 26)

Nishimura, K., Nagai, S., Kitaichi, M., Izumi, T., Oshima, S., Kanaoka, M. and Itoh, H. : Chronic beryllium disease and pulmonary sarcoidosis. Differential diagnosis with high resolution computed tomography. 1st WASOG Meeting. (1989. 10. 24. Estoril)

西村浩一：III. DPB に対するエリスロマイシンの有効性の検討をめぐって 1. 効果の判定方法をめぐって、シンポジウム エリスロマイシンは何故びまん性汎細気管支炎に効くのか (1989.11.15)

西村浩一，北市正則，泉 孝英：びまん性汎細気管支炎における開胸肺生検と X 線 CT 像の比較検討。厚生省特定疾患びまん性肺疾患調査研究班平成元年度第 2 回班会議 (1990. 1. 26)

西村浩一，三尾直士，江村正仁，松井祐佐公，門 政男，大島駿作，泉 孝英：気管支造影によって気管支拡張所見が認められた自験症例の検討 (1990. 1. 28)

楠目 馨，長井苑子，富田由美子，竹内 実，大島駿作，泉 孝英：サルコイドーシス症例における BALF・T リンパ球の CD 3 抗原および T 細胞抗原レセプター (TCR) の発現状況の Two color analysis による解析。第 29 回日本胸部疾患学会総会 (1989. 4)

楠目 馨，長井苑子，北市正則，川谷暁夫，三尾直士，江村正仁，西村浩一，大島駿作，泉 孝英：IPF (UIP) の死亡症例の生存期間の解析。第 29 回日本胸部疾患学会総会 (1989. 4)

楠目 馨，長井苑子，北市正則，川谷暁夫，三尾直士，江村正仁，大島駿作，泉 孝英：RA に伴った Follicular Bronchiolitis (FB) の一例。第 33 回日本胸部疾患学会近畿地方会 (1989. 6. 17)

楠目 馨，長井苑子，北市正則，泉 孝英，大島駿作，佐坂徳浩，千原幸司：両側自然気胸と両肺野のびまん性陰影を呈し，開胸肺生検にて，Lymphocytic interstitial pneumonia (LIP) と診断した 1 例。第 128 回日本内科学会近畿地方会 (1989. 6. 24)

安井一清，北市正則，千原幸司，花岡伸治，原 一郎：石綿曝露の既往のある鉄工業者にみられた間質性肺炎を合併した肺癌の手術例。第 33 回日本胸部疾患学会近畿地方会，京都市 (1989. 6. 17)

江村正仁，長井苑子，三尾直士，竹内 実，北市正則，大島駿作，泉 孝英：IPF (Idiopathic UIP) 症例における BALF・T リンパ球の BCGF, BCDF 産生能の検討。第 29 回日本胸部疾患学会総会 (1989. 4)

江村正仁，長井苑子，北市正則，西村浩一，三尾直士，大島駿作，泉 孝英：IPF (UIP)，BOOP，膠原病性間質性肺炎の BALF 細胞所見と開胸肺生検像における肺胞胞隔の細胞浸潤像との比較検討。第 29 回日本胸部疾患学会総会 (1989. 4)

江村正仁：Heerfordt 症候群にて発症，失明に至り呼吸困難に対してステロイド剤投与を行わざるをえなかった 12 年経過観察中のサルコイドーシスの 1 例。第 9 回日本サルコイドーシス学会総会 (1989. 9)

安場広高：気管支喘息における血小板，好酸球の相互作用について。第 21 回京滋臨床アレルギー懇話会 (1989. 9. 9)

安場広高，木野稔也，佐竹範夫，平田健雄，大島駿作，茆原順一，福田康二：血小板による，好中球および好酸球の Chemiluminescence に及ぼす影響。第 39 回日本アレルギー学会総会 (1989. 9. 28)

三尾直士，長井苑子，竹内 実，北市正則，江村正仁，大島駿作，泉 孝英：IPF (UIP) 症例開胸肺生検肺由来の肺線維芽細胞の増殖速度に関する検討。第 29 回日本胸部疾患学会 (1989. 4. 6)

三尾直士，西村浩一，大島駿作，泉 孝英：びまん性汎細気管支炎と慢性肺気腫症例のドジメータ法による気道過敏性の検討。第 29 回日本胸部疾患学会 (1989. 4. 6)

Mio, T., Nagai, S., Izumi, T. : proliferative ability of fibroblast cellines derived from open lung biopsy specimens of patients with ipf (UIP). 第 21 回日本結合組織学会総会 (1989. 7. 11)

三尾直士，西村浩一，泉 孝英：慢性肺気腫とびまん性汎細気管支炎症例のドジメータ法による気道過敏性の検討。第 39 回閉塞性肺疾患研究会 (1989. 7. 30)

三尾直士，長井苑子，泉 孝英：IPF (UIP) 症例開胸肺生検肺由来の肺線維芽細胞の PDGF, FGF, PGE₂ に対する反応性に関する検討。第 34 回 FLD シンポジウム (1990. 3. 10)

佐竹範夫，木野稔也，安場広高，福田康二，川口英人，大島駿作：8 年間毎年秋に発症するムコール類似真菌によるアレルギー性気管支肺真菌症 (ABPF) の一例。第 1 回日本アレルギー学会春季臨床集会 (1989. 4. 15)

佐竹範夫，松井祐佐公，安場広高，門 政男，木野稔也，泉 孝英，大島駿作：Castleman's disease (hyaline-vascular type) の 1 手術例。第 33 回日本胸部疾患学会近畿地方会 (1989. 6. 17)

佐竹範夫, 松井祐佐公, 北市正則, 泉 孝英, 大島駿作: 検診にて発見された BOOP の一例. 第34回日本胸部疾患学会近畿地方会 (1989.12.9)

佐竹範夫, 木野稔也, 安場広高, 大島駿作: 気管支喘息患者における真菌沈降抗体の臨床学的検討. 第16回臨床アレルギー研究会 (1990.3.17)

Htin Aung, 長井苑子, 渡辺和彦, 竹内 実, 大島駿作, 藤村直樹, 泉 孝英: サルコイドーシス症例Tリンパ球の IL-1 に対する遊走能の検討. 第29回日本胸部疾患学会総会 (1989.4.5)

Htin Aung, 長井苑子, 竹内 実, 藤村直樹, 泉 孝英: サルコイドーシス症例Tリンパ球のアンギオテンシン 2 に対する遊走性の検討. 第9回日本サルコイドーシス学会総会 (1989.9.21)

Htin Aung, 長井苑子, 渡辺和彦, 竹内 実, 三尾直士, 江村正仁, 北市正則, 大島駿作, 藤村直樹, 泉 孝英: 間質性肺疾患における IL-1抑制活性の出現状況とその意義についての検討. 第29回日本胸部疾患学会総会 (1989.4.6)

Htin Aung, 長井苑子, 竹内 実, 泉 孝英: IL-1のTリンパ球に対する chemotactic activity の検討. 第31回京大臨床免疫研究会 (1989.11.25)

川谷暁夫, 長井苑子, 北市正則, 江村正仁, 三尾直士, 大島駿作, 泉 孝英, 藤村直樹: BALF 細胞所見上類似所見を示す過敏性肺臓炎, 膠原病性間質性肺炎, BOOP の BALF・Tリンパ球上の CD 3 抗原強度に関する検討. 第29回日本胸部疾患学会総会 (1989.4.7)

川谷暁夫, 西村浩一, 長井苑子, 北市正則, 泉 孝英, 大島駿作, 小泉 聡, 濱本康平: 急速な原因不明の呼吸不全で死亡し, Diffuse Alveolar Damage が主病変であった1剖検例. 第63回日本胸部疾患学会近畿地方会 (1989.6.17)

川谷暁夫, 長井苑子, 北市正則, 泉 孝英, 大島駿作, 杉之下俊彦, 馬庭 燕: Sjogren 症候群に BOOP の特徴を有する間質性肺炎の合併が開胸肺生検で認められ, 肺生検後に多発性筋炎を発症した1例. 第128回日本内科学会近畿地方会 (1989.6.24)

川谷暁夫, 北市正則, 長井苑子, 大島駿作, 泉 孝英, 酒井秀朗: 慢性間質性肺炎の臨床像・病理像を呈したが, 10数年の経過をもつサルコイドーシスと考えられる開胸肺生検の1例. 第9回日本サルコイドーシス学会総会 (1989.9.21)

竹内 実, 長井苑子, 渡辺和彦, Htin Aung, 大島駿作, 泉 孝英: 健常人 BALF マクロファージから産生される IL-1活性阻害因子の性状に関する検討. 第29回日本胸部疾患学会総会 (1989.4.5)

浅見則夫, 楠目 馨, 長井苑子, 北市正則, 松井祐佐公, 泉 孝英, 大島駿作: 胃癌切除の16ヵ月後, BHL で発見されたサルコイドーシスの1例. 第34回日本胸部疾患学会近畿地方会 (1989.12.9)

益崎裕章, 楠目 馨, 長井苑子, 北市正則, 大島駿作, 泉 孝英, 西田直生志, 福田善広: 胸部X線上の BHL が自然寛解した5年後に両肺野びまん性陰影の出現と肝病変を示したサルコイドーシスの1例. 第129回日本内科学会近畿地方会 (1989.9.16)

森田浩嗣, 北市正則, 泉 孝英, 大島駿作, 森澤みゆき, 水野 浩: 1ヵ月来の関節症状を訴え, 検診で両下肺野の異常影を指摘された BOOP の1例. 第34回日本胸部疾患学会近畿地方会 (1989.12.9)

〔そ の 他〕

泉 孝英: すきなことをしながら, なおかつ長生きするにはどうしたらよいか——という新しい健康学が必要. ベストコレクション, 3(3):107-108, 1989

泉 孝英: 肺線維症の分類と臨床. 第1回岐阜大学第2内科関連病院呼吸器疾患研究会 (1989.7.1)

泉 孝英: 貴方も名医. Clinic Magazine (195), 7:30-31, 1989

泉 孝英: アレルギーと免疫. 第19回臨床アレルギー講習会, 日本アレルギー協会東海支部(浜松). 1989.7.22)

泉 孝英: ドイツの学会・パリの病院・イギリスの学会. 呼吸, 8(7):778-779, 1989

泉 孝英: 本邦における閉塞性肺疾患. 第16回胸部レ線読影カンファレンス講演会, 高槻赤十字病院(1989.8.9)

- 泉 孝英：閉塞性肺疾患の臨床。香川県内科医会呼吸器疾患談話会特別講演会（1989. 8. 24）
- 泉 孝英：びまん性肺疾患の診断と治療。新香里病院第43回集談会（1989. 8. 25）
- 泉 孝英：Mayo Clinic と京大胸部研における特発性肺線維症症例の比較。呼吸，8（8）893-896，1989
- 泉 孝英：どのような病気の患者にどのような時期に肺移植は行われるべきか。治療学，23（2）：162，1989
- 泉 孝英（座長）：シンポジウム『喘息の治療をめぐる』。第5回肺と免疫研究会（1989. 9. 2）
- 泉 孝英：タバコと肺疾患。京都府医師会・京都胸部医会学術講習会（1989. 9. 26）
- 泉 孝英：特別講演「閉塞性肺疾患の定義・概念をめぐる」。筑波市学術講演会（1989. 10. 6）
- 泉 孝英：特別講演「肺線維症の分類と臨床」。第34回滋賀呼吸器疾患談話会（1989. 10. 14）
- 泉 孝英：サルコイドーシス—最近の話題—。滋賀県医師会湖南ブロック県内科医会学術講演会（1989. 11. 18）
- 泉 孝英：特別講演「喘息治療の新しい動向」。福井県医師会・福井県胸部疾患研究会学術講演会（1989. 11. 26）
- Spector, S. L., インタビュアー 泉 孝英：米国における喘息の現状 誘因と治療法。Medical English, 6（12）：8—16，1989
- 泉 孝英：呼吸器診療ワンポイント No. 4 Q 2 最近，非定型抗酸菌症が増えているようですが，本症の診断のポイントと肺結核との鑑別についてご教示ください。また治療についてもお願いいたします。
- 泉 孝英（司会），三上理一郎，小林節雄，滝沢敬夫，横山哲朗：特集「閉塞性肺疾患 1990」座談会。最新医学，45（1）：115-135，1990
- 泉 孝英：6. サルコイドーシス 7. 特発性間質性肺炎（肺線維症） 西谷 裕編。現代難病事典，p. 169-184，東山書房，1990
- 泉 孝英：びまん性汎細気管支炎—研究の歴史と現況—。福井医科大学第3内科セミナー（1990. 1. 22）
- 泉 孝英：衛生学公衆衛生学ワークショップ『コア・カリキュラムと国試ガイドライン』特別報告 今後の課題 ③臨床医学の立場から。主催 衛生学公衆衛生学教育協議会（1990. 1. 28）
- 泉 孝英，長井苑子：慢性閉塞性肺疾患とは。臨牀看護，16（2）：177-180，1990
- 泉 孝英：特別講演「肺線維症の臨床」。第31回松山呼吸器疾患談話会（1990. 2. 7）
- 泉 孝英：特集『90年代の病理 I I』病理診断学に危機を傍観してはならない。臨床と病理，8（2）：180，1990
- 泉 孝英：びまん性肺疾患 診断と治療。姫路市医師会肺疾患研究会（1990. 2. 22）
- 泉 孝英：テーマ「原因不明の間質性肺炎」原因不明の間質性肺炎にはどのような疾患が含まれどのように分類されるであろうか。第4回近畿呼吸器疾患談話会（1990. 2. 24）
- 泉 孝英：ちょっと拝見「京都大学胸部疾患研究所・付属病院」。アレルギーの臨床（118）：グラビア頁，1990
- 泉 孝英：特別講演「慢性気道感染症の診療と治療」。南大阪地区学術講演会（1990. 3. 3）
- Izumi, T.: Special Lecture "Duffuse Panbronchiolitis in Japan. Monthly Meeting of the Korean Academy of Tuberculosis and Respiratory Diseases. (Seoul, 1990. 3. 18)
- 泉 孝英：日本の結核—その歴史と現状と将来—。湖北医連学術講演会（1990. 3. 22）
- 木野稔也：「教育講演」気管支喘息の成因と病態。第8回湖北医連合同学術集会（1989. 6. 15）
- 木野稔也：長期喘息治療共同研究中間報告。第2回京滋喘息長期治療研究会（1989. 9. 2）
- 木野稔也，川城丈夫：シンポジウムの焦点「慢性閉塞性肺疾患と臨床検査」。薬事日報臨床検査新聞，第388号，（1989. 9. 25）
- 木野稔也：特別講演「気管支喘息・アレルギー性鼻炎における昆虫アレルゲンの重要性について」。第21回大阪耳鼻咽喉科アレルギー同好会（1989. 10. 14）
- 木野稔也：特別講演「気管支喘息のアレルゲンと病態」。大阪府臨床衛生検査技師会講演会，（1989. 12. 2）
- 木野稔也，大島駿作：アレルギー性気管支肺真菌症（ABPF）における気管支粘液栓子の形成と中心性気管支拡張。第2回気道病態シンポジウム（1990. 1. 20）
- 木野稔也：シンポジウム「肺の炎症をめぐる」。好酸球性気道炎症における気道反応（気管支喘息）のヒト疾患モデルとしての好酸球性肺炎。平成元年度京都大学胸部疾患研究所学術講演会（1990. 1. 27）
- 木野稔也：成人気管支喘息におけるアレルゲン検索と治療。関西医学セミナー（1990. 2. 24）
- 木野稔也：特別講演「好酸球と気道過敏性」。第6回炎症とアレルギー研究会（1990. 3. 15）

- 木野稔也：特別講演「吸入性昆虫アレルギー研究の動機と問題点」，第16回臨床アレルギー研究会(1990. 3. 17)
- 北市正則，長井苑子：汎発性強皮症+多発性筋炎が疑われ，UIP型間質性肺炎の認められた症例。Rheumatology Case Studies, 2: 6—7, 1989
- 北市正則，長井苑子，川谷暁夫：Sjogren症候群と多発性筋炎の経過中に発症したBOOP型間質性肺炎症例。Rheumatology Case Studies, 2: 8—9, 1989
- 北市正則，長井苑子：LIP型間質性肺炎像の認められたSjogren症候群症例。Rheumatology Case Studies, 2: 10—11, 1989
- 北市正則，長井苑子，楠目 馨：Follicular bronchiolitis (濾胞性細気管支炎)の肺病変を示したRA例。Rheumatology Case Studies, 2: 12—13, 1989
- 北市正則：講演「IPF(特発性肺線維症)について」，第40回神奈川胸部疾患研究会(1989. 5. 26)
- 北市正則：講演「胸部X線写真に現れるいろいろな疾病について，特に両側肺をおかす疾患について」，社団法人京都府放射線技師会，中・北地区合同勉強会(1989. 5. 27)
- 北市正則：講演「びまん性肺疾患の病理」，聖隷三方原病院・県西部浜松医療センター・静岡県立総合病院・三院合同呼吸器疾患勉強会(1989. 8. 19)
- 北市正則：「びまん性肺疾患の病理所見について—UIP, DAD, BOOPを中心に—」，札幌医科大学第三内科講演会(1990. 2. 22)
- 北市正則，加藤誠也：Slide conference, 開胸肺生検例と肺手術例を中心に，札幌医科大学第三内科医局(1990. 2. 23)
- 北市正則，小場弘之：Slide conference, 肺手術例と間質性肺炎の剖検例を中心に，札幌医科大学第三内科医局(1990. 2. 25)
- Kitaichi, M.: Special lecture: The clinicopathologic classification of diffuse interstitial disease of the lung. —Pathologic features of interstitial pneumonia of unknown etiology—. Seoul Paik Hospital, College of Medicine, Inje University, Seoul, Korea. (March 19, 1990)
- Kitaichi, M. and Khang, S. K.: Slide conference on open lung biopsy and autopsy cases. Department of Pathology, Seoul Paik Hospital, Inje University, Seoul, Korea. (March 19, 1990)
- 北市正則：講演，びまん性肺疾患の画像所見と病理所見—DAD, UIP, BOOPの鑑別診断を中心に—，呼吸器勉強会(済生会下関総合病院呼吸器内科，山口大学放射線科，産業医科大学呼吸器内科)，(1990. 3. 24)
- 長井苑子：間質性肺疾患の診断におけるBALの有用性について，広島大学第2内科講演会(1989. 6. 9)
- Sonoko Nagai: Special Lecture: The significance of IL-1 and IL-1 inhibitory factor in patients with interstitial lung diseases. 68th Monthly Meeting of the Korean Academy of Tuberculosis and Respiratory Diseases(1990. 3. 19.)
- 西村浩一，北市正則：DPB症例検討，症例呈示，厚生省特定疾患びまん性肺疾患調査研究班八幡平ワークショップ(1989. 7. 29)
- 西村浩一：間質性肺疾患のCT診断，済生会下関総合病院呼吸器内科カンファレンス(1990. 1. 10)
- 西村浩一，北市正則：肺好酸球性肉芽腫症について，症例呈示，第1回京滋呼吸器疾患研究会(1989. 11. 4)

〔臨床免疫学分野主催講演会〕

- 岡部哲郎：肺小細胞癌の新しい治療法の開発について(1989. 6. 1)
- 太田 健：間質性肺疾患研究の現状——デンバーでの留学報告——(1989. 10. 5)
- Yu, S. Y. (St. Louis University): Proteins, neutrophil elastase, and proteases in bronchoalveolar pulmonary lavage fluids of subjects with idiopathic pulmonary fibrosis. (1990. 3. 1)

環境呼吸器病学分野・臨床免疫学分野関連施設

〔綜 説〕

藤村直樹, 泉 孝英: 高齢者疾病の特異病態と問題点, 閉塞性肺疾患. 最新医学, 44: 1156-1160, 1989

藤村直樹, 泉 孝英: 好酸球性肺浸潤症候群. 医学と薬学, 21: 855-862, 1989

〔原 著〕

杉本幾久雄: 長浜赤十字病院に於るパラクオート中毒症の検討. 滋賀医学, 11(1): 21-28, 1989

中島道郎: 原発性肺真菌症に対する Fuluconazole の臨床的研究 肺クリプトコックス症並びに肺アスペルギルス症に対する本剤の効果とその血中動態について. The Japanese Journal of Antibiotics, 42(1): 127-137, 1989

中山昌彦, 辻 重行, 三宅清雄他: 第 5 回 CPC 白血球増多を伴い胸部に異常陰影を示した症例……Colony Stimulating Factor (CSF) 産生悪性腫瘍について……. 京都医学会雑誌, 35 (Suppl.): 117-139, 1989

今井弘行, 北市正則: Bronchiolitis Obliterans Organizing Pneumonia (BOOP) の自然寛解例の 1 例. 日胸疾会誌, 27(7): 829-836, 1989

斎藤 厚, 大島駿作, 泉 孝英, 中山昌彦, 浅本 仁, 中島道郎ほか133名: Cefotiam hexetil の細菌性肺炎に対する臨床評価—Cefaclor を対照薬とした二重盲検比較試験—. Chemotherapy, 37(1): 59-83, 1989

Takeyama, M., Kino, T., Guo, L. L., Otaka, A., Fujii, N., and Yajima, H.: Immuno-affinity purification of specific antibodies against human gastrin releasing peptide (h-GRP) by the h-GRP (1-8)-linked polydimethylacrylamide resin., Int. J. Peptide Protein Res., 33 (6): 457-462, 1989

浅本 仁, 故倉 恵, 楠木秀和, 糸山光磨, 安部隆二, 東日出夫, 宮城征四郎, 国島睦意, 北市正則, 難波紘二: 肺, 胸膜原発性悪性リンパ腫の臨床像と病理像, 一自験 5 症例とわが国における報告例に関する考察—. 日胸, 49(1): 20-31, 1990

Shirakawa, T., Kusaka, Y., Fujimura, N., Goto, S., Kato, M., Heki, S., Morimoto, K.: Occupational asthma from cobalt sensitivity in workers exposed to hard metal dust. Chest 95 (1): 29-37, 1989

Shirakawa, T., Kusaka, Y., Fujimura, N., Goto, S., Morimoto, K.: The existence of specific antibodies to cobalt in hard metal asthma. Clin. Allergy 18: 451-460, 1989

瀬戸口純子, 沢田 学, 小野寺秀記, 繁田正子, 中井雅彦, 中埜幸治, 金網隆弘, 近藤元治, 堀田忠弘, 林 英夫, 大沢 旭, 中山昌彦: 非小細胞肺癌に対する MVP 療法, —CDDP 減量による副作用の軽減—. 癌と化学療法, 16(7): 2399-2403, 1989

〔学会・研究会記録〕

Endo, K., Hirata, K., Takahashi, J., Matsubayashi, K., Szaito, A. and Nakashima, M.: The Movement Related Potentials and Visual Evoked Potentials in the Human Brain at High Altitude, Sutton, J. R., Coates, G., Remmers, J. E. ed., Hypoxia The Adaptation, p. 295, B. C. Decker Inc. • Tronto • Philadelphia 1990

中島道郎: 肺真菌症に対するアンコチルの使用経験. アンコチル発売10周年記念講演会, p. 4, 1989. (株)ファーマインタナショナル, 東京

〔学会・研究会発表〕

杉本幾久雄：著明な高 CP 下血症（横紋筋溶解）を始め多彩な臓器障害を併発した熱射病の一救命例。第19回滋賀県臨床神経研究会（1989. 2. 4）

杉本幾久雄：SLADH を呈した小細胞癌の一症例。第38回滋賀県呼吸器疾患談話会（1989. 2. 25）

杉本幾久雄：呼吸管理を要した重症喘息の二症例。第10回滋賀救急医療研究会（1989. 10. 14）

杉本幾久雄：長浜赤十字病院に於るパラクオート中毒症の検討。第25回日本赤十字社医学会總會（1989. 10. 19）

杉本幾久雄：長浜赤十字病院に於る体外衝撃波結石破碎法（ESWL）の統計。第25回日本赤十字社医学總會（1989. 10. 19）

杉本幾久雄：The study of 19 cases of Paraquat poisoning. XI APCDC（1989. 11. 20. Bangkok）

杉本幾久雄：死亡率第一位「ガン」とは何か、どうすればよいか。滋賀県赤十字県民大学（1989. 5. 9）

中島道郎，浜本康平，岡田英彦，橋本圭司，谷口隆司，河原崎茂孝，公文正仁：経口金剤「オーラノフィン」の気管支喘息に対する臨床応用（第2報）。第29回日本胸部疾患学会總會（1989. 4. 6）

中山昌彦，浅妻茂生，辻 重行，中村 昇，栗山卓也：Rifampicin の局所投与が有効であった結核性膿胸気管支瘻の2例。第33回日本胸部疾患学会近畿地方会（1989. 6. 17）

今井弘行：副鼻腔気管支症候群の1例。第8回βラクタム系抗生剤臨床研究講演会（1989. 10. 7）

藤村直樹：パネルディスカッション・慢性喘息の治療と管理。第64回日本結核病学会，第34回日本胸部疾患学会近畿地方会（1989. 12. 9）

藤村直樹：シンポジウム・喘息の治療をめぐる。第5回肺と免疫研究会（1989. 9. 2）

藤村直樹：急性気管支喘息の治療管理。第2回姫路喘息研究会（1989. 6. 21）

藤村直樹，北市正則，長井苑子，泉 孝英：BOOP21例の臨床経過。厚生省特定疾患 びまん性肺疾患調査研究班・平成元年度第2回班会議（1990. 1. 26—27）

Endo, K., Hirata, K., Takahashi, J., Matsubayashi, K., Szaito, A. and Nakashima, M.: The Movement Related Potentials and Visual Evoked Potentials in the Human Brain at High Altitude, The 6th International Hypoxia Symposium（1989. 2. 21—25, Lake Louise, Canada）

石田智子，中山昌彦：特異な胸膜病変を呈した2症例。第5回呼吸器疾患研究会（1989. 8. 26）

石田智子，中山昌彦：肺胞蛋白症の一症例。第28回伏見医師学術集談会（1989. 11. 25）

中沢敦子，石田智子，浅妻茂生，辻 重行，中村 昇，中山昌彦：検診で発見された成人肺動静脈瘻の1例。第34回日本胸部疾患学会近畿地方会（1989. 12. 9）

李 啓充，小西淳二，松井祐佐公，宇佐美一政：インビトロの知見に基づいたシスプラチン併用化学療法の試み。第29回京大癌研究会（1990. 3. 12）

野口哲男，中村吉法，陳 和夫，大井元晴，久野健志，木野稔也：慢性壊死性肺アスペルギルス症の1例。第130回日本内科学会近畿地方会（1989. 11. 25）

能勢真人，村上一宏，京極方久，北市正則：BOOP で発症し，DAD で死亡した Sjogren+PM/DM の一例。第33回日本リウマチ学会總會（1989. 5. 25）

蔡 熒煌，龐 柳川，北市正則：開胸肺生検でびまん性汎細気管支炎（DPB）と診断された非日本人症例（台湾）の報告。第33回日本胸部疾患学会近畿地方会（1989. 6. 17）

西村尚志，縄田隆平，福本敦子，熊谷直和，黒田直明，坂東憲司，脇田 昇，千原久幸，泉 春暁，網谷良一，北市正則：自然気胸で発症し，TBLB で診断し得た Pulmonary lymphangiomyomatosis の1例。第33回日本胸部疾患学会近畿地方会（1989. 6. 17）

蔡 熒煌，龐 柳川，北市正則：開胸肺生検で診断され，中国人（台湾）に見られたびまん性汎細気管支炎の1例。第11回びまん性汎細気管支炎をめぐる研究会（1989. 7. 1）

小森清和，平谷一人，千住玲子，門田淳一，崎戸 修，渡辺 尚，広田正毅，原 耕平，北市正則：臨床的にBO（BBO）を疑った3症例の開胸肺生検所見。第11回びまん性汎細気管支炎をめぐる研究会（1989. 7. 1）

千住玲子，平谷一人，門田淳一，崎戸 修，小森清和，広田正毅，原 耕平，北市正則：臨床的にDPBを疑った6症例の開胸肺生検所見。第11回びまん性汎細気管支炎をめぐる研究会（1989. 7. 1）

中原祥文, 藤田幸久, 木田隆雄, 後藤武近, 中村泰三, 中川雅夫, 白方秀二, 中田哲夫, 北市正則: Wegener 肉芽腫症の 1 例. 第34回日本胸部疾患学会近畿地方会 (1989.12. 9)

石田 直, 松村栄久, 三宅淳史, 川野真子, 小西明美, 中山朝夫, 網谷良一, 北市正則: 発熱, 胸痛を主訴とし, 胸部多発性結節影を呈したインドネシア人女性の 1 例. 第48回びまん性肺疾患研究会 (1990. 2. 2)

合田美佐子, 林 英明, 白川太郎, 森本兼囊, 藤村直樹: 肺結核発病と生活背景因子に関する調査. 第63回日本結核病学会, 第33回日本胸部疾患学会近畿地方会 (1989. 6. 17)

田中 茂, 巖西真規, 川添隆司, 梅宮正志, 水野 浩, 藤村直樹, 加藤幹夫, 日置辰一郎: 縦隔腫瘍を疑い, 開胸術にて心膜嚢胞と診断された 1 例. 第63回日本結核病学会, 第33回日本胸部疾患学会近畿地方会 (1989. 6. 17)

巖西真規, 藤村直樹, 阪本勝彦, 田中 茂, 梅宮正志, 美崎幸平, 加藤幹夫, 日置辰一郎: 収縮性心膜炎の 1 例. 第129回日本内科学会近畿地方会 (1989. 9. 16)

阪本勝彦, 梅宮正志, 巖西真規, 田中 茂, 美崎幸平, 藤村直樹, 加藤幹夫, 日置辰一郎, 福田春樹, 森 浩志: 肺出血, 急性腎不全急性増悪を呈した結節性動脈炎 (PN) 62歳女性 1 剖検例. 第130回日本内科学会近畿地方会 (1989.11.25)

美崎幸平, 梅宮正志, 田中 茂, 巖西真規, 阪本勝彦, 藤村直樹, 加藤幹夫, 日置辰一郎: 最近開胸された肺結核症例. 第25回日本赤十字社医学会総会 (1989.10.20)

田中 茂, 川添隆司, 藤村直樹, 阪本勝彦, 巖西真規, 美崎幸平, 梅宮正志, 加藤幹夫, 日置辰一郎, 北市正則, 長井苑子, 泉 孝英: 開胸肺生検にて診断された BOOP 6 例の臨床および病理学的検討. 第25回日本赤十字社医学会総会 (1989.10.20)

田中 茂, 梅宮正志: 慢性膿胸に合併した繰り返す aspiration pneumonia の 1 症例. 北摂地区感染症例検討会 (1989.10.28)

田中 茂, 川添隆司, 藤村直樹, 阪本勝彦, 巖西真規, 美崎幸平, 梅宮正志, 加藤幹夫, 日置辰一郎, 北市正則, 長井苑子, 泉 孝英: 当院に於ける最近 5 年間の開胸肺生検例の検討. 第64回日本結核病学会, 第34回日本胸部疾患学会近畿地方会 (1989.12. 9)

〔そ の 他〕

中島道郎: 積雪期登山と衣服. 登山医学, 9 (1): 75-81, 1989

中島道郎: 第六回国際低酸素症シンポジウムに参加して. 登山医学, 9 (1): 139-142, 1989

中山昌彦: [医界寸言] 専門医・認定医制度について. 京都医報 第1269号, 7: 1989

伴 敏彦, 水谷孝昭, 依田純三, 中山昌彦: 循環器疾患の診断と治療 (座談会). 京都新聞 (1989.10.30)

中山昌彦: [医界寸言] 医師の事務作業. 京都医報 第1283号, 10: 1989

今井弘行: X線写真上の解剖学的重要性について. 京都市南保健所 (1989. 3. 3)

老 化 生 物 学 分 野

〔学 会 発 表〕

細川昌則：実験動物モデルの利用，東洋医学の科学的解明に関する調査ワークショップ（1989. 1）

細川昌則：老化促進モデルマウス（SAM）の開発と現状，招待講演，第5回日本ビフィズス菌研修会（1989. 2）

米津智徳，戸田雅昭，山岸秀夫，樋口京一，細川昌則，竹田俊男：老化促進モデルマウス（SAM）に関する実験的研究XXXX. マウス老化アミロイド蛋白遺伝子の構造解析，第78回日本病理学会総会（1989. 3）

樋口京一，米津智徳，内木宏延，細川昌則，竹田俊男：老化促進モデルマウス（SAM）に関する実験的研究XXXXI. マウス老化アミロイド遺伝子（apoA-II）の変異と沈着程度との関連，第78回日本病理学会総会（1989. 3）

細川昌則，芦田 靖，松下隆寿，馬場満男，黒住真史，竹田俊男：老化促進モデルマウス（SAM）に関する実験的研究XXXXII. SAMに自然発症する老年性白内障の組織学的特性について，第78回日本病理学会総会（1989. 3）

芦田 靖，細川昌則，樋口京一，竹田俊男：老化促進モデルマウス（SAM）に関する実験的研究XXXXIII. SAMに自然発症する老年性白内障水晶体の生化学的特性について，第78回日本病理学会総会（1989. 3）

陳 文熙，飯塚忠彦，細川昌則，竹田俊男：老化促進モデルマウス（SAM）に関する実験的研究XXXXIV. SAM-P/3の自然発症変形性顎関節症について（下顎骨形状と発症との関連），第78回日本病理学会総会（1989. 3）

坪山直生，高橋健志郎，奥村秀雄，山室隆夫，梅沢真樹子，花田敬吾，竹田俊男：老化促進モデルマウス（SAM）に関する実験的研究XXXXV. 自然発症骨粗鬆症系 SAM-P/6における皮質骨モデリングの解析，第78回日本病理学会総会（1989. 3）

八木秀雄，秋口一郎，細川昌則，竹田俊男：老化促進モデルマウス（SAM）に関する実験的研究XXXXVI. SAM-P/8系の学習・記憶障害と脳幹における海綿状変性，第78回日本病理学会総会（1989. 3）

川又敏男，上野正樹，田中静吾，中村慎一，八木秀雄，杉山 博，秋口一郎，樋口京一，細川昌則，竹田俊男：老化促進モデルマウス（SAM）に関する実験的研究XXXXVII. 延髄後索核の加齢変化に関する組織化学的検討，第78回日本病理学会総会（1989. 3）

島田厚良，八木秀雄，上野正樹，秋口一郎，陳 文熙，樋口京一，細川昌則，竹田俊男：老化促進モデルマウス（SAM）に関する実験的研究XXXXVIII. SAM-R/1系より新たに分離されつつある学習・記憶障害モデルマウスについて，第78回日本病理学会総会（1989. 3）

内木宏延，樋口京一，細川昌則，竹田俊男：老化促進モデルマウス（SAM）に関する実験的研究XXXIX. チオフラビンTを用いた，アミロイド線維 in vitro 蛍光分光定量法の開発，第78回日本病理学会総会（1989. 3）

八木秀雄，秋口一郎，竹田俊男：老化促進モデルマウス SAM-P/8の海綿状変性モデルとしての意義と遺伝形式，第30回日本神経学会総会（1989. 5）

川又敏男，中村慎一，秋口一郎，木村 淳，亀山正邦，樋口京一，細川昌則，竹田俊男，杉山 博：マウス脊髄後索系の加齢変化に関する NADPH-diaphorase 組織化学による検討，第30回日本神経学会総会（1989. 5）

上野正樹，内木宏延，秋口一郎，木村 淳，竹田俊男：血液脳関門透過性の加齢による変化—老化促進モデルマウス（SAM）を用いた検討—，第30回日本神経学会総会（1989. 5）

秋口一郎，川又敏男，秋山治彦，八木秀雄，杉山 博，上野正樹，入野美香，竹田俊男：加齢とともに学習障害を示す老化促進モデルマウス（SAM-P/8）の脳病理所見（シンポジウム）第30回日本神経病理学会総会学術研究会（1989. 6）

川又敏男，中村慎一，上野正樹，秋口一郎，木村 淳，亀山正邦，竹田俊男，三好功峰：NADPH-diaphorase 陽性神経細胞・突起・終末の加齢変化—マウス前脳・脳幹に関する検討—，第30回日本神経病理学会総会学術研究会（1989. 6）

秋口一郎，川又敏男，秋山治彦，杉山 博，八木秀雄，上野正樹，竹田俊男，入野美香：加齢とともに学習障害を示す老化促進モデルマウス（SAM-P/8）の脳病理所見，第30回日本神経病理学会総会学術研究会（1989. 6）

陳 文熙, 飯塚忠彦, 細川昌則, 竹田俊男: 自然発症変形性顎関節モデルマウス SAM-P/3の開発(2)病理組織学的変化について, 第2回日本顎関節学会総会(1989. 7)

細川昌則: 老化研究とモデル動物; 老化促進モデルマウス (SAM) を例として, 招待講演「21世紀に向けた老化研究の最前線」第1回バイオメディシンセミナー(1989. 8)

樋口京一: 老化基本機構の解明に向けて—老化促進モデルマウス (SAM) を用いて—, 招待講演, 日本耳鼻咽喉科学会専門部会講習会(1989. 8)

細川昌則: Grading Score System の加齢のバイオマーカーとしての意義(シンポジウム)「老化のメカニズムと臨床検査」第36回日本臨床病理学会総会(1989. 10)

上野正樹, 内木宏延, 秋口一郎, 島田厚良, 竹村 学, 田中静吾, 木村 淳, 竹田俊男: SAM および DDD マウスに於ける血液脳関門の加齢による変化, 第13回日本基礎老化学会総会(1989. 11)

光岡明夫, 花田敬吾, 細野正道, 細川友秀, 松下隆寿, 小岸久美子, 馬場満男, 細川昌則, 竹田俊男: 老化促進モデルマウス (SAM) の in vivo 免疫応答能: 加齢に伴う急速な免疫機能低下の細胞レベルでの解析, 第13回日本基礎老化学会総会(1989. 11)

内木宏延, 樋口京一, 松島香織, 島田厚良, 陳 文熙, 細川昌則, 竹田俊男: チオフラビン T を用いたマウス老化アミロイド線維臓器含有量の定量, 第13回日本基礎老化学会総会(1989. 11)

樋口京一, 内木宏延, 松島香織, 米津智徳, 花田敬吾, 芦田 靖, 石川伸太郎, 細川昌則, 竹田俊男: マウス老化アミロイドーシスの分子遺伝学的解析: アミロイド前駆蛋白 (apoA-II) 遺伝子の RFLP 分析, 第13回日本基礎老化学会総会(1989. 11)

陳 文熙, 細川昌則, 高橋健志郎, 飯塚忠彦, 竹田俊男: 老化促進モデルマウス SAM-P/3における自然発症変形性顎関節症の病理組織学的検索, 第13回日本基礎老化学会総会(1989. 11)

芦田 靖, 細川昌則, 樋口京一, 李 美於, 黒住眞史, 竹田俊男: 老化促進モデルマウス (SAM) に自然発症する老年性白内障について(IV)SAM-R/3にみられる老年性白内障水晶体蛋白の生化学的検討, 第13回日本基礎老化学会総会(1989. 11)

梅沢真樹子, 河野篤子, 速井佐智子, 細川昌則, 竹田俊男: 大豆たんぱくによる促進老化抑制効果—老化促進モデルマウスによる実験的研究, 第13回日本基礎老化学会総会(1989. 11)

樋口京一, 米津智徳, 内木宏延, 松島香織, 花田敬吾, 細川昌則, 竹田俊男: マウス老化アミロイドーシス; apoA-II 遺伝子の変異と沈着程度との関連, 第12回日本分子生物学会総会(1989. 11)

秋口一郎, 竹田俊男: 自然発症老年期脳障害モデル動物としての SAM, 第5回 Wako ワークショップ, 高次神経機能, 細胞・分子より探る(1989. 11)

樋口京一, 米津智徳, 内木宏延, 松島香織, 花田敬吾, 細川昌則, 竹田俊男: マウス老化アミロイドーシス; apoA-II 遺伝子の変異と沈着程度との関連, 第3回分子病理学研究会(1989. 12)

竹田俊男: 老化促進モデルマウス (SAM) の開発, 特別講演: 第49回老化研究委員会(1989. 12)

Yoshioka, H., Yoshida, H., Muso, E., Doi, T., Ohshio, G., Higuchi, K., Inada, M., Kita, T. and Takeda, T.: Antioimmune abnormalities in a murine model of accelerated senescence. XIV International Congress of Gerontology, (Acapulco, 1989. 6. 19)

Hosokawa, M., Takeda, T., Higuchi, K. and Naiki, H.: Senescence Accelerated Mouse, a Novel Murine Model of Accelerated Senescence. XIV International Congress of Gerontology, (Acapulco, 1989. 6. 22)

Hosokawa, M., Ashida, Y. and Matsushita, T.: Cataract in Senescence Accelerated Mouse (SAM). XIV International Congress of Gerontology, (Acapulco, 1989. 6. 22)

Hosokawa, M.: Cell biological aspects of accelerated senescence. Invited Symposium B. Cell Biology of Aging. XIV International Congress of Gerontology, (Acapulco, 1989. 6. 21)

Tsuboyama, T., Tabuchi, C., Okumura, H., Yamamuro, T. and Takeda, T.: Modification of femoral bone density by marrow chimerism in osteoporotic mice (SAM-P/6). X International Conference on Calcium Regulating Hormones, (Montreal, 1989. 9. 10)

Akiguchi, I., Kawamata, T., Yagi, H., Akiyama, H., Sugiyama, H., Ueno, M., Takemura, M., Tanaka, M., Irino, M. and Takeda, T.: Morphological changes of the brain in Senescence Accelerated Mouse (SAM-P/8). A newly developed memory-deficient strain. The 2nd International Conference on Alzheimer's and Parkinson's diseases, (Kyoto, 1989. 11. 8)

Ueno, M., Naiki, H., Akiguchi, I., Kawamata, T., Fujibayashi, Y., Kimura, J., Kameyama, M. and Takeda, T.: Blood-brain barrier (BBB) change with aging in Senescence Accelerated Mouse and DDD mouse. The 2nd International Conference on Alzheimer's and Parkinson's diseases, (Kyoto, 1989. 11. 8)

Kawamata, T., Nakamura, S., Akiguchi, I., Kimura, J., Kameyama, M., Kimura, H. and Takeda, T.: Effect of aging on NADPH-diaphorase neurons in laterodorsal tegmental nucleus and striatum of Senescence Accelerated Mouse (SAM). The 2nd International Conference on Alzheimer's and Parkinson's diseases, (Kyoto, 1989. 11. 8)

Yagi, H., Akiguchi, I. and Takeda, T.: Senescence Accelerated Mouse SAM-P/8 shows spontaneous age-related impairment of ability of acquisition in learning and memory: An animal model of disturbances in recent memory with aging. The 2nd International Conference on Alzheimer's and Parkinson's diseases, (Kyoto, 1989. 11. 8)

〔誌 上 発 表〕

竹田俊男：老化促進モデルマウス (SAM) の開発—その経緯と老化病態の諸特性—日本疾患モデル動物研究会記録5: 1-6 (1989)

Yoshioka, H., Yoshida, H., Doi, T., Muso, E., Ohshio, G., Higuchi, K., Inada, M., Miyake, T., Kita, T., Hamashima, Y., Takeda, T.: Autoimmune abnormalities in a murine model of accelerated senescence, Clin. Exp. Immunol. 75: 129-135 (1989)

Naiki, H., Higuchi, K., Hosokawa, M., Takeda, T.: Fluorometric determination of amyloid fibrils in vitro using the fluorescent dye, Thioflavine T, Anal. Biochem. 177: 244-249 (1989)

Yagi, H., Irino, M., Matsushita, T., Katoh, S., Umezawa, M., Tsuboyama, T., Hosokawa, M., Akiguchi, I., Tokunaga, R., Takeda, T.: Spontaneous spongiform degeneration of the brain stem in SAM-P/8 mice, a newly developed memory-deficient strain, J. Neuropathol. Exp. Neurol. 48: 577-590 (1989)

Tsuboyama, T., Matsushita, M., Okumura, H., Yamamuro, T., Hanada, K., Takeda, T.: Modification of strain-specific femoral bone density by bone marrow chimerism in mice. A study on spontaneously osteoporotic mouse (SAM-P/6), Bone 10: 269-277 (1989)

Tsuboyama, T., Takahashi, K., Matsushita, M., Okumura, H., Yamamuro, T., Umezawa, M., Takeda, T.: Decreased endosteal formation during cortical bone modeling in SAM-P/6 mice with a low peak bone mass, Bone and Mineral 7: 1-12 (1989)

Chen, W. H., Hosokawa, M., Tsuboyama, T., Ono, T., Iizuka, T., Takeda, T.: Age-related changes in the temporomandibular joint of the Senescence Accelerated Mouse (SAM): SAM-P/3 as a new murine model of degenerative joint disease, Am. J. Pathol. 135: 379-385 (1989)

Yonezu, T., Toda, M., Yamagishi, H., Higuchi, K., Takeda, T.: Structural organization of the senile amyloid protein gene in a strain of Senescence Accelerated Mouse (SAM), Gene 84: 187-191 (1989)

Ohta, A., Hirano, T., Yagi, H., Tanaka, S., Hosokawa, M., Takeda, T.: Behavioral Characteristics of the SAM-P/8 strain in sidman active avoidance task, Brain Res. 498: 195-198 (1989)

Hanada, K., Hosono, M., Hosokawa, T., Chen, W. H., Tsuboyama, T., Takeda, T.: Immune responses in newly developed short-lived SAM mice III. Genetic control of defective helper T cell activity

in *in vitro* primary antibody response, Immunology, 68: 540-546 (1989)

Kinashi, T., Tashiro, K., Inaba, K., Takeda, T., Paiaios, P., Honjo, T.: An interleukin-4-dependent precursor clone is an intermediate of the differentiation pathway from an interleukin-3-dependent precursor clone into myeloid cell as well as B lymphocytes, International Immunology 1: 11-19 (1989)

Ogawa, K., Shima, N., Ohshio, G., Kudo, H., Nakashima, Y., Yamabe, H., Takeda, T.: Distribution of Vitamine B₁₂ R-binder in lung tumors implications for cell differentiation, Path. Res. Pract. 184: 234-241 (1989)

Tennysor, G. E., Sabatos, C. A., Higuchi, K., Meglin, N., Brewer, H. B. Jr.: Expression of apolipoprotein B mRNAs encoding heigher-and lower-molecular weight isoproteins in rat liver and intestine. Proc. Natl. Acad. Sci, USA 86: 500-504 (1989)

Ross, R. S, Hoeg, J. M., Higuchi, K., Schumacker, U. K., Fojo S., Gregg, R. E., Brewer H. B. Jr.: Homozygous hypobetalipoproteinemia: transcriptional regulation and 5'-flanking sequence analysis in an apolipoprotein B deficiency state. Biochim Biophys. Acta. 1004: 29-35 (1989)

山根すま子, 黒住眞史, 木野稔也, 陳 文熙, 北市正則, 藤田葉子, 鈴木康弘, 内木宏延, 細川昌則, 竹田俊男: 病理検査データ管理のシステム化と病理組織診断集計, 京大胸部研紀要, 22: 19-27 (1989)

鈴木衣子先生を迎えての歓迎セミナー

日時 1989年6月29日 午後2時45分より

場所 胸部研大会議室

SAM-P/8およびDDD系後索核の加齢変化について—組織化学的研究を中心にして—

医学部神経内科 川 又 敏 男

血液脳関門の加齢変化について—SAM-P/8およびDDD系についての検討—

医学部神経内科 上 野 正 樹

新しい老年期脳障害モデル系の確立にむけて

胸部研老化生物 島 田 厚 良

休 憩

特別講演: Krabbe 病 mouse の実験病理学的研究

ノースカロライナ大・医学部病理学教室 教授 鈴 木 衣 子

主催 京大胸部研老化生物学分野

感染・炎症学分野

〔学 会 発 表〕

1. 結核・非定型抗酸菌症

倉澤卓也, 加藤元一, 鈴木克洋, 村山尚子, 網谷良一, 川合 満, 久世文幸, 橋本 徹, 武藤 真, 長谷光雄, 新実彰男, 鈴木雄二郎, 西山秀樹, 前川暢夫, 多田公英, 富岡洋海, 桜井信男, 石井昌生: 粟粒結核症の臨床的検討. 第29回日本胸部疾患学会総会 (1989.4.7.京都)

倉澤卓也: シンポジウムIII, 「結核診断法の進歩」6. ツベルクリン反応の最近の知見. 第64回日本結核病学会総会 (1989.4.28.大阪)

村山尚子, 加藤元一, 鈴木克洋, 網谷良一, 倉澤卓也, 川合 満, 久世文幸, 橋本 徹, 武藤 真, 長谷光雄,

新実彰男, 鈴木雄二郎, 西山秀樹, 前川暢夫, 多田公英, 富岡洋海, 桜井信男, 石井昌生: 粟粒結核症の臨床的検討, 第64回日本結核病学会総会 (1989.4.26.大阪)

倉澤卓也, 松井保憲, 佐藤敦夫, 加藤元一, 鈴木克洋, 田中栄作, 村山尚子, 網谷良一, 川合 満, 久世文幸, 縄田隆平, 黒田直明, 坂東憲司: 要望演題II. 気管支の結核性病変の診断と治療. 10. 気管支結核症の新重症度分類 (同上)

鈴木克洋, 加藤元一, 村山尚子, 倉澤卓也, 久世文幸: *Mycobacterium intracellulare* 感染に対する感受性ならびに抵抗性マウスの脾臓内マクロファージの機能と脾臓内リンパ球表面抗原発現の比較検討 (同上)

加藤元一, 鈴木克洋, 田中栄作, 倉澤卓也, 川合 満, 久世文幸: 実験的マウス *Mycobacterium avium complex* 症に及ぼす各種 BRM の影響・モノクローナル抗体による解析 (同上)

村山尚子, 加藤元一, 鈴木克洋, 網谷良一, 倉澤卓也, 川合 満, 久世文幸, 多田公英, 富岡洋海, 桜井信男, 石井昌生, 橋本 徹, 武藤 真, 長谷光雄, 新実彰男, 鈴木雄二郎, 西山秀樹, 前川暢夫: 粟粒結核症の臨床的検討 (同上)

K. Suzuki, M. Kato, T. Murayama, F. Kuze: Comparison of Prostaglandin E_2 , Leukotriene C_4 , and O_2 secretion from peritoneal macrophages between two mouse strains that differ in susceptibility to *M. avium* infection. , 85th Annual Meeting of American Thoracic Society, (1989. 5. 14 Cincinnati Ohio U. S. A.)

M. Kato, K. Suzuki, E. Tanaka, & F. Kuze. The effect of BRMs to the inflammatory cell dynamics of experimental *Mycobacterium avium complex* infection. (同上)

F. Kuze: Experimental chemotherapy in chronic *Mycobacterium complex* infection. (同上)

T. Kurasawa, Y. Matsui, T. Murayama, R. Amitani, M. Kawai, F. Kuze, N. Kuroda, K. Bando, K. Oida, T. Iwata.: Diagnosis and Management of Endobronchial Tuberculosis: The 6th World Congress for Bronchology. (1989.10.22.Kyoto)

2. 腫 瘍

倉澤卓也, 佐藤敦夫, 加藤元一, 松井保憲, 鈴木克洋, 田中栄作, 村山尚子, 網谷良一, 川合 満, 久世文幸: 同時多発肺癌の臨床的検討. 第50回日本肺癌学会関西支部会 (1989.2.18.京都)

佐藤敦夫, 加藤元一, 松井保憲, 鈴木克洋, 田中栄作, 村山尚子, 網谷良一, 倉澤卓也, 川合 満, 久世文幸: 胸部レントゲン上著明な石灰化像を示した直腸癌肺転移の一例 (同上)

三宅淳史, 佐藤敦夫, 加藤元一, 松井保憲, 鈴木克洋, 田中栄作, 村山尚子, 網谷良一, 倉澤卓也, 川合 満, 久世文幸: 抗女性ホルモン剤療法で著効をえた乳癌胸膜転移の一例 (同上)

有田真知子, 佐藤敦夫, 加藤元一, 松井保憲, 鈴木克洋, 田中栄作, 村山尚子, 網谷良一, 倉澤卓也, 川合 満, 久世文幸, 佐坂徳浩, 青木 稔, 田村康一: 高 CEA 血症と胸部 CT において発見された早期肺腺癌の一例 (同上)

千葉 秀, 佐藤敦夫, 加藤元一, 松井保憲, 鈴木克洋, 田中栄作, 村山尚子, 網谷良一, 倉澤卓也, 川合 満, 久世文幸: 特異な経過を示した肺重複扁平上皮癌の一例 (同上)

倉澤卓也, 鈴木克洋, 村山尚子, 佐藤敦夫, 松井保憲, 高橋正治, 久世文幸: 胸部 X-P 陰性の肺門部肺癌の臨床的検討. 第12回日本気管支学会総会 (1989.7.7.東京)

倉澤卓也, 鈴木克洋, 田中栄作, 村山尚子, 網谷良一, 川合 満, 高橋正治, 久世文幸, 渡部 智, 人見滋樹, 細川昌則, 竹田俊男. 第51回日本肺癌学会関西支部会 (1989.7.22.大阪)

新実彰男, 東 義人, 小林秀机, 杉田孝和, 南方良章, 堀川禎夫, 鈴木雄二郎, 西山秀樹, 前川暢夫: UFT 投与により癌性リンパ管症が著明に改善した肺癌の1例 (同上)

倉澤卓也, 久保嘉朗, 佐藤敦夫, 田中栄作, 高橋正治, 久世文幸, 鈴木雄二郎, 西山秀樹, 前川暢夫, 西村尚志, 黒田直明, 坂東憲司, 望月吉郎, 富岡洋海, 岡崎美樹, 中井 準: 肺癌患者の PPD 皮内反応の臨床的検討. 第30回日本肺癌学会総会 (1989.11.10.岡山)

倉澤卓也, 松井保憲, 加藤元一, 鈴木克洋, 村山尚子, 網谷良一, 川合 満, 高橋正治, 久世文幸, 富岡洋海, 岡崎美樹, 岩崎博信, 中井 準, 縄田隆平, 黒田直明, 坂東憲司: 多発肺癌の臨床的検討 (同上)

3. 感染症・炎症

R. Amitaini, R. Wilson, R. Read, A. Rutman, C. Ward, D. Burnett, R. A. Stockley, P. J. Cole : Effects of Human Neutrophil Elastase and Bacterial Proteolytic Enzymes on Human Ciliated Epithelium in vitro., 1989 Annual Meeting of American Thoracic Society, (1989. 5. 17 Cincinnati Ohio U. S. A.)

網谷良一：特別講演。「粘液線毛輸送系と呼吸器疾患」，第33回日本胸部疾患学会近畿地方会(1989.6.17.京都)
新実彰男，東 義人，小林秀机，杉田孝和，南方良章，堀川禎夫，鈴木雄二郎，西山秀樹，前川暢夫：マイコプラズマ肺炎31例の検討(同上)

田中栄作，佐藤敦夫，久世文幸：緑膿菌による慢性気道直感染症マウスモデルにおける抗菌抗体価の経時変化，第32回日本感染症学会中日本地方会総会(1989.10.21.富山)

新実彰男，田中栄作，網谷良一，倉澤卓也，川合 満，久世文幸：当科で経験した呼吸器アスペルギルス症の検討，第37回日本化学療法学会西日本支部総会(1989.12.8.和歌山)

4. 気管支喘息・アレルギー

川勝一雄，中島英一，澤岡平和，井狩 節，川合 満：徐放性テオフィリン製剤の生物学的同等性に関する検討，第10回近畿病薬学術大会(1989. 1 .29.滋賀)

T. Shimizu, J. Mizuta, K. Ogino, H. Yamamura, S. Kohno, K. Ohata, M. Kawai, T. Shindo, S. Hitomi : Effects of amlexanox on the release of chemical mediators from human lung fragments and leukocytes. 第62回日本薬理学会総会(1989. 3 .25.京都)

川勝一雄，井狩 節，川合 満：テオフィリンの体内動態に及ぼす塩酸クロロピジンの影響，日本薬学会第109年会(1989. 4 . 5 .名古屋)

松井保憲，加藤元一，倉澤卓也，川合 満，久世文幸，新実彰男：ABPF 加療中に発症した Churg-Strauss 症候群の一例，第一回日本アレルギー学会春季臨床集会(1989. 4 .15.東京)

川合 満，松井保憲，加藤元一，倉澤卓也，久世文幸，川勝一雄：テオフィリンの代謝系に及ぼす塩酸クロロピジンの選択的阻害作用，第39回日本アレルギー学会総会(1989. 9 .28.東京)

新実彰男，小林秀机，杉田孝和，南方良章，堀川禎夫，鈴木雄二郎，西山秀樹，前川暢夫：Cough variant asthma 10例の検討，第39回日本アレルギー学会総会(1989. 9 .30.東京)

5. そ の 他

網谷良一，久世文幸，黒住真史，鈴木康弘，田口善夫，郡 義明，岩田猛邦，小橋陽一郎，西坂泰夫：びまん性汎細気管支炎における泡沫細胞集簇の免疫組織化学的検討，第29回日本胸部疾患学会総会(1989. 4 . 6 .京都)

網谷良一，佐藤敦夫，加藤元一，松井保憲，鈴木克洋，田中栄作，村山尚子，倉澤卓也，川合満，久世文幸，佐藤宏昭，中村 一，松田公志，富岡洋海：気管支拡張症の成因に関する検討，第29回日本胸部疾患学会総会(1989. 4 . 7 .京都)

村山尚子，鈴木克洋，山本孝吉，久世文幸：ヒト肺胞マクロファージの活性酸素生成に及ぼす GM-CSF の効果，第17回日本臨床免疫学会総会(1989.6.8.広島)

R. Amitani, M. Kurozumi, Y. Suzuki, Y. Taguchi, Y. Kohri, T. Iwata, Y. Kobashi, F. Kuze : Immunohistochemical Study on Pulmonary surfactant in diffuse pan-bronchiolitis (a unique disease in Japan), 24th Annual Meeting of the European Society for Clinical Respiratory physiology (1989. 6. 28. Lausanne, Switzerland)

松井保憲，網谷良一，佐藤敦夫，加藤元一，村山尚子，田中栄作，倉澤卓也，久世文幸，伊藤春海：気管支拡張症に於ける粘液線毛輸送能の検討，第12回日本気管支学会総会(1989. 7 . 8 .東京)

網谷良一，久世文幸：ワークショップ：難治性呼吸器疾患に対する抗炎症療法—アンチエラスターゼ療法を中心に—，ヒト気道線毛上皮に対するヒト好中球エラスターゼと細菌由来の蛋白分解酵素の影響，第10回日本炎症

学会 (1989. 7. 21. 東京)

〔研究会・講演会〕

1. 結核・非定型抗酸菌症

久世文幸：非定型抗酸菌症。WHO 国際研修コース講義 (1989. 1. 10. 東京)

久世文幸：ツベルクリン・BCG と抗酸菌感染症。近畿大学における医師会講演 (1989. 1. 14. 大阪)

久世文幸，加藤元一，鈴木克洋：実験的マウス抗酸菌を対象とした肺洗浄細胞の動態。第1回結核・非定型抗酸菌症治療研究会 (1989. 3. 3. 東京)

久世文幸：非定型抗酸菌症の病態と治療，教育講演「内科診療の進歩」。第86回日本内科学会講演会 (1989. 4. 1. 京都)

久世文幸：結核・非定型抗酸菌症「主題。呼吸器感染症のすべて」。第10回日本胸部疾患学会卒後研修セミナー (1989. 4. 5. 京都)

加藤元一，久世文幸：ニューキノロン系薬物 AT-4140 の試験管内制菌力及び結核菌感染マウスに対する効果。第12回臨床抗酸菌研究会 (1989. 4. 26. 大阪)

加藤元一，久世文幸：実験的マウス抗酸菌症における肺洗浄細胞の動態—モノクローナル抗体による細胞表面抗原の解析。第59回実験結核研究会総会 (1989. 4. 26. 大阪)

F. Kuze: Experimental infection of Mycobacterium intracellulare in mice., (1989, 5, 11, National Jewish Center for Immunology and Respiratory Medicine, Denver, Colorado, U. S. A.) 招請講演

F. Kuze: Experimental chemotherapy in chronic Mycobacterium avium complex infections, 89th Annual Meeting of the American Society for Microbiology, (1989. 5. 14, New Orleans (convention Center), La., U. S. A.)

久世文幸：結核をめぐる現状と問題点 (特別講演)。第21回秋田県感染症研究会 (1989. 9. 12. 秋田)

久世文幸：非定型抗酸菌症の病態と治療 (特別講演)。ムコソルバン発売5周年記念学術講演会 (日本医師会生涯教育講座) (1989. 11. 17. 札幌)

久世文幸，加藤元一：実験的マウス抗酸菌症を対象とした肺洗浄細胞の動態 (IV)，M. avium complex (MAC) 感染における肺炎細胞動態・静注感染と吸入感染の相違。第2回抗酸菌治療研究会 (1989. 12. 2. 東京)

2. 腫瘍

新実彰男，東 義人，小林秀机，杉田孝和，南方良章，堀川禎夫，鈴木雄二郎，西山秀樹，前川暢夫：気管支鏡下に鉗除し得た気管支内過誤腫の1例。第36回近畿気管支鏡懇話会 (1989. 3. 23. 大阪)

橋本尚子，新実彰男，網谷良一，倉澤卓也，久世文幸，乾 健二，中谷光一，池田宣昭，井上修平，高橋憲太郎：腺様嚢胞癌の一例。第38回近畿気管支鏡懇話会 (1989. 12. 8. 大阪)

3. 感染症・炎症

倉澤卓也，久世文幸，鈴木克洋，加藤元一，松原恒雄，池田宣昭，坂東憲司，鍵岡 朗，牛田伸一，中原保治，池上裕美子，鈴木雄二郎，西山秀樹：新薬シンポジウム，BMY-28100 各種呼吸器感染症に対する BMY-28100 の臨床的検討。第37回日本化学療法学会総会 (1989. 5. 18. 東京)

網谷良一：慢性気道感染症と粘液線毛輸送系。伏見医師会呼吸器研究会講演会 (1989. 7. 15. 京都)

網谷良一，松井保憲，佐藤敦夫，加藤元一，田中栄作，久世文幸：慢性気道感染症の発症要因の検討—粘液線毛輸送系との関連—。第3回京都感染症研究会 (1989. 7. 22. 京都)

新実彰男，東 義人，小林秀机，杉田孝和，南方良章，堀川禎夫，鈴木雄二郎，西山秀樹，前川暢夫：マイコ

プラズマ肺炎軽快後に呼吸困難が出現した一例。第46回びまん性肺疾患研究会（1989. 9. 9. 大阪）
 久世文幸：慢性呼吸器感染症の現状と問題点。滋賀県シプロキサン学術講演会（1989.12.23. 大津）

4. 気管支喘息・アレルギー

佐川弥之助, 川合 満, 木野稔也：気管支喘息に対するアゼブチンの長期投与における有用性の検討—近畿地区呼吸器科領域共同臨床研究—。第2回アゼブチン研究会（1989. 1. 21. 東京）

川合 満：抗アレルギー剤の使い方について。第20回京滋臨床アレルギー懇話会（1989. 3. 18. 京都）

川合 満：気管支喘息の治療—特に抗アレルギー薬の使い方—。杉並内科医会学術講演会（1989. 4. 14. 東京）

川合 満：気管支喘息の診断と治療。浅口郡医師会第87回研修会（1989. 5. 17. 金光）

川合 満：気管支喘息と抗アレルギー薬。ケタス学術講演会（1989. 5. 18. 京都）

川合 満：気管支喘息と抗アレルギー薬。ケタス学術講演会（1989. 6. 9. 近江八幡）

川合 満：教育講演 2・気管支喘息の治療。第8回湖北医連合同学術研究会（1989. 6. 15. 長浜）

岸本 進, 川合 満（座長）：気管支喘息治療へのあらたなる展開。ケタス新発売記念シンポジウム（1989. 6. 16. 大阪）

川合 満：気管支喘息と漢方。美作医会漢方学術講演会（1989. 6. 22. 津山）

川合 満：気管支喘息の治療—特に吸入療法を中心として—。第6回九州気管支喘息シンポジウム（1989. 6. 25. 福岡）

川合 満：ぜんそくの治療。横須賀共済病院内講演会（1989. 6. 30. 横須賀）

川合 満：気管支喘息に対する治療。第1回老人病と漢方研究会学術集会（1989. 7. 1. 京都）

川合 満：気管支喘息に対する柴朴湯の効果。第1回老人病と漢方研究会学術集会（1989. 7. 1. 京都）

久世文幸：マクロファージ。第10回六甲カンファレンス（1989. 7. 15. 神戸）

川合 満：気管支喘息の和漢薬治療。第6回臨床和漢薬研究会（1989. 8. 18. 岐阜）

川合 満：気管支喘息に対するアゼブチンの長期投与における有用性の検討。アゼブチン学術講演会（1989. 9. 2. 京都）

川合 満：気管支喘息の治療—和漢薬の治療も含めて—。亀岡・船井医師会学術講演会（1989. 9. 16. 亀岡）

川合 満：喘息治療—特に吸入療法を中心として—。第5回岐阜免疫・アレルギー薬物療法研究会（1989. 12. 9. 岐阜）

5. そ の 他

倉澤卓也：シンポジウム「肺移植の臨床への道」3. 慢性呼吸不全の3症例。昭和63年度京都大学胸部疾患研究所学術講演会（1989. 1. 28. 京都）

網谷良一, 久世文幸：慢性気道疾患における Primary Ciliary Dyskinesia の病因論的意義。第86回日本内科学会講演会（1989. 4. 2. 京都）

川合 満：慢性閉塞性肺疾患の治療—最近の進歩—。滋賀県内科医会（1989. 6. 17. 彦根）

川合 満：医薬品による呼吸器系障害について・医薬品の安全性・有効性に関する講習会（1989. 7. 20. 大阪）

川合 満：老人性慢性呼吸器疾患の急性増悪期における診断と治療。日医生涯教育講座認定学術講演会（1989. 7. 27. 姫路）

川合 満：薬剤による呼吸器障害。第2回京滋喘息長期治療研究会（1989. 9. 2. 京都）

加藤元一, 川合 満, 村上元庸：各種病態における合併症としての胃粘膜病変—胃粘膜血流を中心として—4・呼吸器疾患。第6回消化器血流研究会（1989. 10. 7. 旭川）

網谷良一：最近話題の呼吸器疾患について 1. 慢性気道感染症の臨床, 2. 慢性間質性肺炎の臨床。京都・下京西部医師会生涯教育（1989. 12. 14. 京都）

〔誌 上 発 表〕

1. 結 核

H. Saito, H. Tomioka, K. Sato, H. Tasaka, M. Tsukamura, F. Kuze, K. Asano: Identification and partial characterization of *Mycobacterium avium* and *Mycobacterium intracellulare* by using DNA probe, *J. clin. microbiology* 27 (5): 994-997

久世文幸：結核化学療法の理論（特集結核）臨床と微生物，16(4)：418-424，1989

加藤元一，久世文幸：AIDS の日和見感染—非定型抗酸菌—。臨床と微生物，16(3)：338-342，1989

倉澤卓也：気管・気管支結核の現状。Pharma Medica, 7 (10)：49-54，1989

倉澤卓也：特発性血小板減少性紫斑病を合併した肺結核の治療。日本医事新報，3392：125-126，1989

新実彰男，山本孝吉，倉澤卓也，網谷良一，川合 満，久世文幸，秋口一郎：抗結核化学療法開始後の頭蓋内結核腫の悪化について—自験例および本邦報告例の検討と考察。日胸疾会誌，27(11)：1300-1308，1989

加藤元一，久世文幸：ニューキノロン系薬物 AT-4140 の試験管内制菌力及び結核菌感染マウスに対する効果。第12回臨床抗酸菌研究会講演内容：42-49，1989

3. 感染症・炎症

新実彰男，倉澤卓也：[老年者における診断基準] 肺炎。実験治療 617：168-169，1989

榊野富弥，津谷康夫，中川 勝，網谷良一，横田総一郎，李 龍植，板谷光則，太田勝康，螺良英郎：呼吸器感染症の難治化因子の検討。呼吸，8(6)：653-659，1989

鈴木克洋，久世文幸：ノカルジア症，呼吸，8(10)：1042-1047，1989

網谷良一，久世文幸：ヒト気道線毛上皮に対するヒト好中球エラスターゼと細菌由来の蛋白分解酵素の影響。化学療法の領域，5(8)：37-42，1989

網谷良一，久世文幸：Immotile cilia syndrome と primary ciliary dyskinesia；臨床医，15(2)：220-222，1989

Y. Ishikawa, M. Kawano, I. Honjo, R. Amitani, The cause of Nasal Sinusites in Patients with Cleft Palate, *Arch Otolaryngol Head Neck Surg* 115(4)：442-446，1989

西山秀樹，小林秀机，杉田孝和，南方良章，新実彰男，堀川禎夫，鈴木雄二郎，前川暢夫，池田紀男，三木央吉：和歌山赤十字病院におけるメチシリン耐性黄色ブドウ球菌臨床分離株の検討。和歌山赤十字病院医学雑誌，7：96-101，1989

田中栄作・久世文幸：難治感染症一局所面から 1. 気道（動物実験より学ぶ）Pharma Medica, 7：19-23，1989

新実彰男，小林秀机，杉田孝和，南方良章，堀川禎夫，鈴木雄二郎，西山秀樹，前川暢夫：マイコプラズマ肺炎31例の臨床的検討。和歌山赤十字病院医学雑誌（和赤医誌），7(2)：212-223，1989

網谷良一，久世文幸，田口善夫，岩田猛邦：ブドウ球菌肺炎。現代医療，21(9)：2666-2669，1989

久世文幸，倉澤卓也，村山尚子，田中栄作，杉田孝和，その他：呼吸器疾患に対する T-3262 (fosufloxacin fosilate) と ofloxacin との薬効比較試験成績。Chemotherapy, 37(8)：1086-1118，1989

久世文幸，倉澤卓也，鈴木克洋，加藤元一，他9名：各種呼吸器感染症に対する BMV-28100 の臨床的検討。Chemotherapy, 37(12)：355-360，1989

網谷良一，佐藤敦夫，加藤元一，松井保憲，鈴木克洋，田中栄作，村山尚子，倉澤卓也，川合 満，久世文幸，黒住真史，鈴木康弘，田口善夫，郡 義明，岩田猛邦，小橋陽一郎：びまん性汎細気管支炎における泡末細胞集簇の免疫組織化学的検討。Therapeutic Research, 10(10)：4372-4378，1989

4. 気管支喘息・アレルギー疾患

田中健一, 川合 満: 2, 4-TDI によるアレルギー性疾患モデル. *Therapeutic Research*, 10(10): 4354-4362, 1989

川合 満, 網谷良一: 気管支喘息—病期・病態よりみた薬剤の選択と投与法—. *医学と薬学*, 21(5): 833-840, 1989

川合 満, 鈴木克洋, 川勝一雄: テオフィリン製剤—最近の喘息治療薬の機序と役割—. *医薬ジャーナル*, 25(8): 53-59, 1989

川合 満: 減感作療法と変調療法を喘息治療にどう用いるか—内科の立場から—. *Asthma*, 2(3): 16-21, 1989

加藤元一, 川合 満: 職業性喘息. *現代医療*, 21(8): 2533-2536, 1989

川合 満, 村山尚子: 抗コリン剤の進歩. *Modern Physician*, 9(10): 1368-1370, 1989

河野茂勝, 清水達丈, 水田淳子, 荻野桂子, 山村秀樹, 大幡勝也, 川合 満, 神頭 徹, 和田洋己, 人見滋樹: Amlexanox (AA-673) の免疫学のおよび非免疫学的 Histamine もしくは Leukotriene 遊離抑制作用. *アレルギー*, 38(11): 1236-1245, 1989

由井泰夫, 安枝 浩, 宮本昭正, 我妻義則, 佐野靖之, 宮本康文, 川合 満, 倉澤卓也, 高橋昭三, 西片 光, 根本俊彦, 長野 準, 柴田瑠美子: 花粉アレルギーにおけるファルマシア RAST RIA の臨床的有用性の検討. *アレルギーの臨床*, 9(2): 63-69, 1989

川合 満, 加藤元一: 気管支喘息: 治療—気管支拡張薬, 図説内科診断治療講座14, 気管支喘息, 慢性気管支炎 高橋昭三編 124-129, メジカルビュー社1989

川合 満, 鈴木克洋: 難治性喘息の治療. *アレルギーの臨床*, 9(1): 33-37, 1989

川合 満, 江部康二: 気管支喘息の漢方治療. *Clinic magazine*, No 196, 75-78, 1989. 8

中島重徳, 川合 満, 山田栄一, 他: 気管支喘息に対するカネボウ柴朴湯エキス細粒の有用性の検討. *Progress in Medicine*, 9(12): 3138~3151, 1989

5. そ の 他

鈴木克洋, 村山尚子, 山本孝吉, 久世文幸: ヒト肺胞マクロファージのロイコトリエン, プロスタグランジン分泌能—喫煙と大腸菌由来内毒素前処理の影響—. *炎症*, 9(4): 311-316, 1989

石川保之, 大森孝一, 庄司和彦, 網谷良一: 喉頭摘出者の鼻腔粘液線毛機能及び線毛打数. *耳鼻臨床*, 82(3): 381~384, 1989

網谷良一, 佐藤敦夫, 加藤元一, 松井保憲, 鈴木克洋, 田中栄作, 村山尚子, 倉澤卓也, 川合 満, 久世文幸, 黒住真史, 鈴木康弘, 田口善夫, 郡 義明, 岩田猛邦, 小橋陽一郎: びまん性汎細気管支炎における泡沫細胞集簇の免疫組織化学的検討. *Therapeutic Research*, 10(10): 4372-4378, 1989

倉澤卓也: 慢性呼吸不全の3症例. *京大胸部研紀要*, 22(1, 2): 43-49, 1989

坂本邦彦, 清田隆二, 大山 勝, 溝井一敏, 加藤元一, 川合 満: 干渉低周波療法の頭頸部領域への応用—第一報: 基礎的検討—. *Therapeutic Research*, 10(10): 4415-4419, 1989

K. Kawakatsu, K. Nishimura, M. Kawai, M. Chikuma: Separation and determination of theophylline from paraxanthine in human serum by reversed-phase high-performance liquid chromatography, *Journal of pharmaceutical & Biochemical Analysis* 7(8): 965-973, 1989

川合 満, 加藤元一: 干渉低周波と去痰. *肺と心*, 36(3): 235-242, 1989

加藤元一, 川合 満, 村上元康, 田中健一: 特集: 急性胃粘膜病変 (AGML) とその周辺—呼吸器疾患—気管支喘息を中心に. *最新医学*, 44(10): 2070-2074, 1989

加藤元一, 川合 満: 慢性気管支炎: 治療—気管支拡張薬, 図説内科診断治療講座14, 気管支喘息・慢性気管支炎 高橋昭三編 234-237 メジカルビュー社, 1989

川合 満, 加藤元一: 合併症の処置: 呼吸器疾患, 老年消化器病学 三宅健夫編 233-239 金芳堂, 1989

加藤元一, 川合 満, 村上元康, 愈正根, 寺村早苗, 北 徹, 三宅健夫: 呼吸器疾患における胃粘膜病変, 消化器血流の研究一, 5: 65-75, 1989

川合 満・監修: 呼吸器疾患治療薬便覧改訂1989年度版. 第日本製薬株式会社, 1989

〔第5回京都大学胸部疾患研究所第一内科合同研究発表会〕(1989.12.16.京都)

近畿地区国療胸部疾患研究会: (¹)国立療養所南京都病院呼吸器科, ²内科, ³胸部外科, 中谷光一¹, 池田宣昭¹, 中江一郎², 井上修平³, 高橋憲太郎³ 他9施設, 近畿地区国療における抗酸菌症の現状(昭和63年新入院患者についての総括)

近畿地区国療胸部疾患研究会: (¹)国立療養所南京都病院呼吸器科, ²内科, ³胸部外科, ⁴京大胸部疾患研究所第一内科, 中谷光一¹, 池田宣昭¹, 中江一郎², 井上修平³, 高橋憲太郎³ 他9施設, 久世文幸⁴, 難治肺結核症例に対する Ofloxacin の臨床効果及び耐性獲得について

神戸市立玉津病院内科: 多田公英, 長谷川幹, 桜井信男, 石井昌生, 胃切除既往を有する肺結核症の検討

倉敷中央病院内科: 三宅淳史, 横井 徹, 松村栄久, 石田 直, 脾膿瘍を初発症状とした全身播種型 M. Kansaii 症の1例

神戸市立中央市民病院呼吸器内科: 岡崎美樹, 富岡洋海, 長谷川幹, 片上信之, 坂本廣子, 石原享介, 岩崎博信, 梅田文一, 中井 準, 肺クリプトコッカス症6例の臨床像について

神戸市立中央市民病院呼吸器内科: 長谷川幹, 富岡洋海, 岡崎美樹, 片上信之, 坂本廣子, 石原享介, 岩崎博信, 梅田文一, 中井 準, 中葉症候群の臨床像および気管支鏡, 気管支造影所見の検討

大阪府済生会中津病院呼吸器内科: 西村尚志, 柴田美弥, 小柳津竜樹, 縄田隆平, 黒田直明, 坂東憲司, 当院におけるアストグラフの臨床的検討—気管支喘息と肺気腫との比較を中心に—

福岡赤十字病院呼吸器科: 武藤 真, 橋本 徹, 長谷光雄, 山中 晃, 清谷哲也, 磯和理貴, Swyer-James 症候群の1例

倉敷中央病院¹内科, ²検査部: 石田 直¹, 三宅淳史¹, 松村栄久¹, 小谷満寿美², PIE 症候群の BALF 中好酸球の超微形態学的検討

¹国立姫路病院内科, ²研究検査科: 池上裕美子¹, 河村哲治¹, 河南里江子¹, 中原由紀子¹, 中原保治¹, 望月吉郎¹, 桂 栄孝², 国立姫路病院における好酸球性肺炎症例(開胸肺生検例)の検討

倉敷中央病院内科: 松村栄久, 三宅淳史, 石田 直, 過敏性肺臓炎における気管支肺胞洗浄液と臨床経過についての検討

大阪赤十字病院呼吸器内科: 西坂泰夫, 小田芳郎, 肺病変より Sjogren 症候群の合併が考えられた SLE の1例
京大胸部研感染, 炎症学: 山本 誉, 新 Rifamycin 誘導体の Mycobacteria に対する抗菌作用

京大胸部研第一内科: 松井保憲, 吸入肺シンチグラフィーによる粘液線毛輸送能の評価

京大胸部研第一内科: 川合 満, 干渉低周波による去痰

和歌山赤十字病院呼吸器科: 小林秀机, 西本由佳, 杉田孝和, 堀川禎夫, 鈴木雄二郎, 西山秀樹, 前川暢夫, 当科における肺癌骨転移例の検討

天理よろづ相談所病院呼吸器内科: 富井啓介, 柚木由浩, 三野真里, 弓場吉哲, 南部静洋, 田口善夫, 郡 義明, 種田和清, 岩田猛邦, 突然致死的な出血を来した肺癌副腎転移(出血性副腎転移)の2例

和歌山赤十字病院呼吸器科: 西山秀樹, 西本由佳, 小林秀机, 堀川禎夫, 杉田孝和, 鈴木雄二郎, 前川暢夫, 切除不能非小細胞肺癌の化学療法における放射線局所照射併用の検討

神戸市立中央市民病院呼吸器内科: 富岡洋海, 長谷川幹, 岡崎美樹, 片上信之, 坂本廣子, 石原享介, 岩崎博信, 梅田文一, 中井 準, 縦隔腫瘍の MRI

シンポジウム〈肺癌の bed-side epidemiology〉

座長 高橋正治(京大胸部研腫瘍学)

シンポジスト

坂東憲司 済生会中津病院

長谷光雄 福井赤十字病院
 鈴木雄二郎 和歌山赤十字病院
 岩崎博信 神戸市立中央市民病院
 郡 義明 天理よろづ相談所病院
 中原保治 国立姫路病院
 長谷川吉則 医仁会武田総合病院
 倉澤卓也 京大胸部研 (順不同)

感染・炎症学分野関連施設

〔学 会 発 表〕

1. 結 核

中江一郎, 池田宣昭, 井上修平, 高橋憲太郎: 最近の新入院抗酸菌症患者の検討. 第63回日本結核病学会近畿地方会 (1989. 6 .17.)

多田公英, 桜井信男, 石井昌生: 胃切除既往を有する肺結核症例の検討. (同上)

坂本廣子, 富岡洋海, 長谷川幹, 岡崎美樹, 片上信之, 石原享介, 岩崎博信, 梅田文一, 中井 準, 多田公英, 桜井信男, 石井昌生: 気管支結核症例の臨床的検討. 第12回日本気管支学会総会 (1989. 7 . 7 .東京)

西坂泰夫, 稲葉宣雄, 山本 明, 壺内 豊, 今岡 工, 杉山正美, 吉川郁子, 野井美親, 福谷拓也, 松本善雄, 佐々木正道, 嶋森純史: 癌を疑わせた結核性潰瘍の 1 例. 第25回日本赤十字社医学会総会 (1989.10.19.秋田)

山鳥英世, 池田宣昭, 伊藤 公: 排菌患者のマスク着用とその意義について. 第44回国立病院療養所総合医学会 (1989.10.26.仙台)

中谷光一, 池田宣昭, 千葉 秀, 有田真知子, 新実彰男, 加藤元一, 鈴木克洋, 網谷良一, 倉澤卓也, 川合満, 久世文幸: 早期診断に髄液 ADA 測定が有用であった結核性髄膜炎の 1 症例. 第64回日本結核病学会近畿地方会 (1989.12. 9 .京都)

2. 腫 瘍

坂本廣子, 富岡洋海, 長谷川幹, 岡崎美樹, 片上信之, 石原享介, 岩崎博信, 梅田文一, 中井 準: 異所性 ACTH 産性肺小細胞癌の治療経過と予後について. 第50回日本肺癌学会関西支部会 (1989. 2 .18.京都)

高蓋壽朗, 岡崎美樹, 富岡洋海, 長谷川幹, 片上信之, 坂本廣子, 石原享介, 岩崎博信, 梅田文一, 中井 準: 肺小細胞癌に Eaton-Lambert 症候群および SIADH をともなった一症例. (同上)

岩崎博信, 富岡洋海, 長谷川幹, 岡崎美樹, 片上信之, 坂本廣子, 石原享介, 梅田文一, 中井 準: 肺癌の予後からみた性差の意義. (同上)

長谷川幹, 富岡洋海, 岡崎美樹, 片上信之, 坂本廣子, 石原享介, 岩崎博信, 梅田文一, 中井 準: MMC+VDS+DDP 無効の肺非小細胞癌に対する IFO+ADR+VP16 の Pilot study. (同上)

岡崎美樹, 富岡洋海, 長谷川幹, 片上信之, 坂本廣子, 石原享介, 岩崎博信, 梅田文一, 中井 準: 肺小細胞癌に対する CDDP, Etoposide 5 日間持続点滴療法の試み. (同上)

岩崎博信, 富岡洋海, 岡崎美樹, 長谷川幹, 片上信之, 坂本廣子, 石原享介, 梅田文一, 中井 準: IV期非小細胞肺癌の予後因子. 第29回日本胸部疾患学会総会 (1989. 4 . 5 .京都)

井上修平, 高橋憲太郎, 中江一郎, 池田宣昭, 藤野昇三: SLX を中心とする血清中腫瘍マーカーの検討. 第29回日本胸部疾患学会総会 (1989. 4 . 7 .)

南部静洋, 岩田猛邦, 種田和清, 郡 義明, 田口善夫, 富井啓介, 久保嘉朗, 弓場吉哲, 三野真里, 市島国雄, 小橋陽一郎, 相原雅典, 高橋 浩: 肺癌剖検時肺細菌培養結果からみた肺癌における終末呼吸器感染症の検討. 第63回日本感染症学会総会 (1989. 4 .20.盛岡)

井野隆光, 沢幡 正, 丸井昭吾, 田中健一: N, N'ジアセチルベンジジンの発癌性について. 第62回日本産業衛生学会 (1989. 4. 30. 青森)

長谷川吉則, 柴田安宅, 中西通泰: 特異な経過をとった肺腺癌の1例. 第25回京都病院学会 (1989. 6. 11. 京都)

中原保治, 中原由紀子, 松山榮一, 西園寺正士, 木下晴希, 桂 栄孝: 塗抹標本と洗浄検体との比較検討—肺癌症例について—. 日本臨床細胞学会第30回総会 (1989. 6. 16. 東京)

三村 純, 長谷川幹, 富岡洋海, 岡崎美樹, 片上信之, 坂本廣子, 石原享介, 岩崎博信, 梅田文一, 中井 準, 那須通寛, 庄村東洋, 内田博也: 縦隔に発生した Pleomorphic lipoma の1手術例. 第63回日本結核病学会近畿地方会, 第33回日本胸部疾患学会近畿地方会 (1989. 6. 17. 京都)

長谷川幹, 富岡洋海, 岡崎美樹, 片上信之, 坂本廣子, 石原享介, 岩崎博信, 梅田文一, 中井 準, 那須通寛, 庄村東洋, 内田博也: 軟骨原発軟骨肉腫の1手術例. (同上)

南方良章, 小林秀机, 杉田孝和, 新実彰男, 堀川禎夫, 鈴木雄二郎, 西山秀樹, 前川暢夫: 小腸大腸転移を来した肺癌の1例. (同上)

南部静洋, 三野真里, 弓場吉哲, 富井啓介, 田口善夫, 郡 義明, 種田和清, 岩田猛邦, 小橋陽一郎, 市島国雄: 間質性肺炎を先行し, 全身性進行性硬化症に合併した肺癌の一剖検例. (同上)

清谷哲也, 磯和理貴, 橋本 徹, 武藤 真, 長谷光雄, 山中晃: 嚢胞壁に発生した肺がんの1例. 第23回日本肺癌学会北陸地方会 (1989. 7. 1. 富山)

長谷川幹, 富岡洋海, 岡崎美樹, 片上信之, 坂本廣子, 石原享介, 岩崎博信, 梅田文一, 中井 準: ACTH, Cortisol 異常高値を呈し多臓器にクリプトコッカス感染症を合併した肺小細胞癌の1例. 第51回日本肺癌学会関西支部会 (1989. 7. 22. 大阪)

富岡洋海, 長谷川幹, 岡崎美樹, 片上信之, 坂本廣子, 石原享介, 岩崎博信, 梅田文一, 中井 準: 切除不能非小細胞肺癌に対する IFOS+VDS+CDDP 併用療法の PILOT STUDY. (同上)

岩崎博信, 富岡洋海, 岡崎美樹, 長谷川幹, 片上信之, 坂本廣子, 石原享介, 梅田文一, 中井 準: 進行非小細胞肺癌に対するシスプラチン併用群と非併用群の治療成績の比較検討. (同上)

長谷川幹, 富岡洋海, 岡崎美樹, 片上信之, 坂本廣子, 石原享介, 岩崎博信, 梅田文一, 中井 準, 庄村東洋: 縦隔に発生した巨大な Desmoid Tumor の1手術例. (同上)

岡崎美樹, 富岡洋海, 長谷川幹, 片上信之, 坂本廣子, 石原享介, 岩崎博信, 梅田文一, 中井 準, 幸 茂男, 宮本 武: 癌性髄膜炎を来し, Gd-DTPA enhanced brain MRI で特徴的な所見を示した肺腺癌の1例. (同上)

富井啓介, 三野真里, 弓場吉哲, 南部静洋, 田口善夫, 郡 義明, 種田和清, 岩田猛邦, 桑田陽一郎, 左野明, 黒田康正: 突然致死的な出血を来した肺癌副腎転移 (出血性副腎転移) の1例. (同上)

南部静洋, 柚木由浩, 三野真里, 弓場吉哲, 富井啓介, 田口善夫, 郡 義明, 種田和清, 岩田猛邦, 小橋陽一郎, 市島国雄: 肺癌剖検例における特発性間質性合併例の臨床病理学的検討. 第30回日本肺癌学会総会 (1989. 11. 10. 岡山)

富井啓介, 柚木由浩, 三野真里, 弓場吉哲, 南部静洋, 田口善夫, 郡 義明, 種田和清, 岩田猛邦: 肺癌に伴う心タンポナーデ (癌性心嚢炎) 治療の検討. (同上)

岡崎美樹, 富岡洋海, 長谷川幹, 片上信之, 坂本廣子, 石原享介, 岩崎博信, 梅田文一, 中井 準: 肺小細胞癌に対する CDDP, etoposide, 5日間持続点滴療法の pilot study (同上)

長谷川幹, 片上信之, 富岡洋海, 岡崎美樹, 坂本廣子, 石原享介, 岩崎博信, 梅田文一, 中井 準: 肺非小細胞癌脳転移例の予後と放射線脳照射の臨床的意義. (同上)

富岡洋海, 岡崎美樹, 片上信之, 坂本廣子, 石原享介, 岩崎博信, 梅田文一, 中井 準, 長谷川幹: 肺癌肝転移例の臨床的検討. (同上)

岩崎博信, 富岡洋海, 長谷川幹, 岡崎美樹, 坂本廣子, 片上信之, 石原享介, 梅田文一, 中井 準: 進行非小細胞肺癌の予後に対するシスプラチン併用療法の意義. (同上) (1989. 11. 11)

坂本廣子, 富岡洋海, 長谷川幹, 岡崎美樹, 片上信之, 石原享介, 岩崎博信, 梅田文一, 中井 準, 西内 素, 庄村東洋: 肺非小細胞癌手術例に対する術後 adjuvant therapy の randomized trial. (同上)

南方良章, 小林秀机, 杉田孝和, 新実彰男, 堀川禎夫, 鈴木雄二郎, 西山秀樹, 前川暢夫: 当科における肺癌症例の検討—和歌山地方の肺癌の特徴と問題点に関する考察—. (同上)

西山秀樹, 小林秀机, 杉田孝和, 南方良章, 新実彰男, 堀川禎夫, 鈴木雄二郎, 前川暢夫, 倉澤卓也, 久世文幸, 他 5 施設: 切除不能非小細胞癌に対する MVC 療法 (MMC, VDS, CDDP) と放射線併用療法の比較試験。(同上)

石田 直, 松村栄久, 中村聡人, 清谷哲也, 小阪真二, 和澤 仁, 福瀬達朗, 玉田二郎: びまん性悪性中皮腫様の臨床像を呈した腎癌肺胸膜転移の 1 例。(同上)

中原保治, 中原由紀子, 望月吉郎, 河村哲治, 池上裕美子, 松山榮一, 宮本好博, 桂 栄孝: 経皮穿刺細胞診における検体採取法の検討。(同上)

中原保治, 中原由紀子, 松山榮一, 西園寺正士, 木下晴希, 桂 栄孝: 肝原発悪性線維性組織球腫と考えられる 1 例。日本臨床細胞学会第28回秋期大会, 1989.11.17.横浜 (示説)

縄田隆平, 小柳津竜樹, 柴田美弥, 西村尚志, 黒田直明, 坂東憲司: 悪性胸膜中皮腫 5 例の臨床的検討。第64回日本結核病学会・第34回日本胸部疾患学会近畿地方会 (1989.12.9.京都)

平田教至, 河村哲治, 池上裕美子, 河南里江子, 中原由紀子, 中原保治, 望月吉郎, 松山榮一, 田村忠雄, 宮本好博, 桂 栄孝, 大川二郎: アミラーゼ産生肺癌の 1 例。(同上)

岩崎博信, 富岡洋海, 長谷川幹, 岡崎美樹, 坂本廣子, 片上信之, 石原享介, 梅田文一, 中井 準: 肺小細胞癌の治療成績 (予後からの検討)。(同上)

柚木由浩, 岩田猛邦, 種田和清, 郡 義明, 田口善夫, 富井啓介, 南部静洋, 弓場吉哲, 三野真里, 久須美房子, 市島国雄: 子宮癌の腫瘍性微小肺塞栓による呼吸不全を呈した 2 症例。(同上)

中西通泰, 長谷川吉則, 柴田安宅: Lambert-Eaton 症候群をきたした肺小細胞癌の 1 例。(同上)

3. 感染症・炎症

石原享介, 富岡洋海, 長谷川幹, 岡崎美樹, 片上信之, 坂本廣子, 岩崎博信, 梅田文一, 中井 準: 経年的気管支肺胞洗浄 (BAL) 及び肺機能所見からみた夏型過敏性肺炎例の肺障害。第29回日本胸部疾患学会総会 (1989.4.5.京都)

田口善夫, 岩田猛邦, 種田和清, 郡 義明, 南部静洋, 富井啓介, 久保嘉朗, 弓場吉哲, 三野真里: 本院外来における慢性下気道感染症症例の検討。(同上)

田口善夫, 岩田猛邦, 種田和清, 郡 義明, 南部静洋, 富井啓介, 久保嘉朗, 弓場吉哲, 三野真里, 市島国雄, 小橋陽一郎, 相原雅典: 本院における Legionella 症の検討。(同上)

西坂泰夫, 網谷良一, 久世文幸, 黒住真史, 鈴木康弘, 田口善夫, 郡 義明, 岩田猛邦, 小橋陽一郎: びまん性汎細気管支炎における泡沫細胞集簇の免疫組織化学的検討。(同上)

田口善夫, 岩田猛邦, 種田和清, 郡 義明, 南部静洋, 富井啓介, 久保嘉朗, 弓場吉哲, 三野真里, 市島国雄, 小橋陽一郎, 相原雅典, 唐橋 浩, 上野秀雄: 剖検肺におけるレジオネラ症の retrospective study。第63回日本感染症学会総会 (1989.4.20.盛岡)

中西通泰, 長谷川吉則, 柴田安宅: 老年者の肺炎。第25回京都病院学会 (1989.6.11.京都)

富岡洋海, 長谷川幹, 岡崎美樹, 片上信之, 坂本廣子, 石原享介, 岩崎博信, 梅田文一, 中井 準, 石川稔晃: 当院救急病棟における肺炎症例の検討。第63回日本結核病学会近畿地方会・第33回日本胸部疾患学会近畿地方会 (1989.6.17.京都)

岡崎美樹, 富岡洋海, 長谷川幹, 片上信之, 坂本廣子, 石原享介, 岩崎博信, 梅田文一, 中井 準, 池田貞雄: 両側多発性小結節影を呈した肺クリプトコッカス症の 1 例。(同上)

富井啓介, 大花正也, 三野真里, 弓場吉哲, 南部静洋, 田口善夫, 郡 義明, 種田和清, 岩田猛邦: マイコプラズマによる急性細気管支炎の 1 例。(同上)

富井啓介, 三野真里, 弓場吉哲, 南部静洋, 田口善夫, 郡 義明, 種田和清, 岩田猛邦, 小橋陽一郎, 市島国雄: 急性ループス肺臓炎の 1 例, 特にその肺 HRCT の経過と病理所見についての考察。(同上)

杉田孝和, 小林秀机, 南方良章, 新実彰男, 堀川禎夫, 鈴木雄二郎, 西山秀樹, 前川暢夫: 当科における膿胸症例の臨床的検討—胸水中 ADA 値, CEA 値に関する検討を中心に—。(同上)

富岡洋海, 長谷川幹, 岡崎美樹, 片上信之, 坂本廣子, 石原享介, 岩崎博信, 梅田文一, 中井 準, 小出道夫:

蛍光抗体法によって BALF 中の菌体を証明しえたレジオネラ肺炎の1例. 第12回日本気管支学会総会(1989. 7. 7. 東京)

国部伸也, 西田典数, 平田数至, 森田基之, 河村哲治, 河南昌樹, 池上裕美子, 望月吉郎, 松山榮一, 田村忠雄: マイコプラズマ肺炎に合併した髄膜脳炎の1例. 第129回日本内科学会近畿地方会第 (1989. 9. 16. 神戸)

国部伸也, 西田典数, 平田数至, 森田基之, 河村哲治, 河南昌樹, 池上裕美子, 望月吉郎, 松山榮一, 田村忠雄: マイコプラズマ肺炎に合併した髄膜脳炎の1例. 第32回日本感染症学会中日本地方会 (1989. 10. 21. 富山)

南部静洋, 柚木由浩, 三野真里, 弓場吉哲, 富井啓介, 田口善夫, 郡 義明, 種田和清, 岩田猛邦, 小橋陽一郎, 市島国雄, 相原雅典: 剖検症例における肺微生物培養結果からみた呼吸器黄色ブドウ球菌感染症の検討. (同上)

田口善夫, 岩田猛邦, 種田和清, 郡 義明, 南部静洋, 富井啓介, 弓場吉哲, 三野真里, 柚木由浩: 慢性下気道感染症におけるエリスロマイシン (EM) 少量療法—長期投与例の検討. (同上)

国部伸也, 福岡貫造, 中原保治, 望月吉郎: マイコプラズマ肺炎に合併した髄膜脳炎の1例. 第44回国立病院療養所総合医学会 (1989. 10. 27. 仙台)

久須美房子, 柚木由浩, 三野真里, 弓場吉哲, 富井啓介, 南部静洋, 田口善夫, 郡 義明, 種田和清, 岩田猛邦, 高橋 豊: 自己免疫性溶血性貧血に合併した肺クリプトコッカス症の一例. 第130回日本内科学会近畿地方会 (1989. 11. 25. 京都)

永野 純, 坂本廣子, 大村 崇, 富岡洋海, 岡崎美樹, 石原享介, 岩崎博信, 梅田文一, 中井 準: 集検で発見された原発性肺クリプトコッカス症の1例. 第64回日本結核病学会近畿地方会・第34回日本胸部疾患学会近畿地方会 (1989. 12. 9. 京都)

三野真里, 岩田猛邦, 郡 義明, 田口善夫, 富井啓介, 南部静洋, 弓場吉哲, 久須美房子, 柚木由浩: ARDS を呈したマイコプラズマ肺炎の1例. (同上)

西坂泰夫, 小田芳郎, 稲葉宣雄, 小味渕智雄, 留守信興: 食道—気管支癌による肺膿瘍の1例. (同上)

4. 気管支喘息・アレルギー

岡崎美樹, 富岡洋海, 長谷川幹, 片上信之, 坂本廣子, 石原享介, 岩崎博信, 梅田文一, 中井 準: ステロイド依存性喘息患者に対する Troleandomycin (TAO) 少量投与の臨床的検討. 第29回日本胸部疾患学会総会(1989. 4. 6. 京都)

石原享介, 富岡洋海, 長谷川幹, 岡崎美樹, 片上信之, 坂本廣子, 岩崎博信, 梅田文一, 中井 準: 外来通院患者における β_2 刺激剤定期吸入の処方変更. 第63回日本結核病学会近畿地方会・第33回日本胸部疾患学会近畿地方会 (1989. 6. 17. 京都)

河南里江子, 河村哲治, 池上裕美子, 国部伸也, 平田数至, 中原保治, 中原由紀子, 望月吉郎, 松山榮一, 田村忠雄: 興味ある経過を示したアレルギー性気管支肺アスペルギルス症の一例. 日本胸部疾患学会第33回近畿地方会 (1989. 6. 17. 京都)

坂本廣子, 大村 崇, 永野 純, 富岡洋海, 長谷川幹, 岡崎美樹, 片上信之, 石原享介, 岩崎博信, 梅田文一, 中井 準: 当科におけるアスピリン喘息症例の臨床像について. 第64回日本結核病学会近畿地方会・第34回日本胸部疾患学会近畿地方会 (1989. 12. 9. 京都)

津谷泰夫, 石原享介, 藤村直樹, 中島明雄, 川崎美栄子: パネル・ディスカッション「慢性喘息の治療と管理」. (同上)

5. その他

田中健一, 朝枝哲也, 尾池達也, 藤村敬子, 竹本由利子, 平松智之, 井上みあき, 山田親久, 吉田克己: 集団健診で観察された血清総コレステロール値の母集団による変化. 日本総合健診医学会第17回大会(1989. 2. 4. 岐阜市)

坂本廣子, 富岡洋海, 長谷川幹, 岡崎美樹, 片上信之, 石原享介, 岩崎博信, 梅田文一, 中井 準, 多田公英,

桜井信男, 石井晶生: 在宅酸素療法施行患者の心理的背景に関する検討. 第29回日本胸部疾患学会総会(1989. 4. 6. 京都)

南部静洋, 弓場吉哲, 三野真里, 久保嘉朗, 富井啓介, 田口善夫, 郡 義明, 種田和清, 岩田猛邦, 高橋 豊, 小橋陽一郎, 市島国雄: 剖検症例からみた転移性肺胞石灰化症の臨床的背景と病理組織学的病変の検討. (同上)

富井啓介, 三野真里, 弓場吉哲, 久保嘉朗, 南部静洋, 田口善夫, 郡 義明, 種田和清, 岩田猛邦, 高北晋一: レ線上慢性副鼻腔炎所見を認めない気管支拡張症の検討. (同上)

郡 義明, 三野真里, 弓場吉哲, 久保嘉朗, 南部静洋, 富井啓介, 田口善夫, 種田和清, 岩田猛邦, 小橋陽一郎, 市島国雄: BOOP 自験 5 例の臨床的検討. (同上)

朝枝哲也, 田中健一, 今井敏明, 尾池達也, 高島秀樹, 吉田克己, 乾 修然: HDL コレステロールと肥満(第2報) 企業規模による変動について. 第62回日本産業衛生学会(1989. 4. 29. 青森市)

尾池達也, 西川正明, 佐野元一, 朝枝哲也, 田中健一, 吉田克己, 乾 修然: 企業規模による血清コレステロール値の変動について. (同上)

田中健一, 朝枝哲也, 佐藤良夫, 橘 宏, 山田親久, 吉田克己, 乾 修然: 主婦健康診断において観察された血清脂質の変化について. (同上)

千原久幸, 黒田直明, 坂東憲司: 気管支結石症の3手術例. 第5回日本呼吸器外科学会(1989. 5. 25. 大津)

田村忠雄, 河南昌樹, 河村哲治, 嶋崎洋一, 森田基之, 西田典数, 国部伸也, 平田教至: 糖尿病性腎症における24時間血圧値の変動と降圧治療の意義. 日本腎臓学会第19回西部部会(1989. 6. 2. 大津)

河南昌樹, 森田基之, 嶋崎洋一, 中原由紀子, 中原保治, 望月吉郎, 門屋 誠, 松山榮一, 田村忠雄: 睡眠時無呼吸の改善と共に軽快した多彩な不整脈の1例. 第67回日本循環器学会近畿地方会(1989. 6. 3. 大阪)

西村尚志, 福本敦子, 熊谷直和, 縄田隆平, 黒田直明, 坂東憲司, 脇田 昇, 千原久幸, 泉春暁, 網谷良一, 北市正則: 自然気胸で発症し, TBLB で診断しえた Pulmonary Lymphangiomyomatosis の一例. 第33回日本胸部疾患学会近畿地方会(1989. 6. 17. 京都)

望月吉郎, 平田教至, 国部伸也, 嶋崎洋一, 河村哲治, 森田基之, 池上裕美子, 河南里江子, 中原由紀子, 中原保治, 松山榮一, 田村忠雄, 桂 栄孝: ステロイドが著効したびまん性肺疾患の1例. (同上)

中西通泰, 長谷川吉則, 柴田安宅: 肺炎部から全肺野にひろがった気管支拡張症の2例, その長期観察. (同上)

西坂泰夫, 小田芳郎, 稲葉宣雄, 大谷友子, 田辺正博, 佐々木正道: 上咽頭粘膜にも浸潤を認めた腫瘍型筋 Sarcoidosis の1例. (同上)

河村哲治, 平田教至, 国部伸也, 嶋崎洋一, 森田基之, 池上裕美子, 河南里江子, 河南昌樹, 中原由紀子, 中原保治, 望月吉郎, 門屋 誠, 松山榮一, 田村忠雄: 睡眠時無呼吸の改善と共に不整脈の改善をみた睡眠時無呼吸症候群の1例. (同上)

嶋崎洋一, 平田教至, 国部伸也, 河村哲治, 森田基之, 池上裕美子, 河南里江子, 河南昌樹, 中原由紀子, 中原保治, 望月吉郎, 門屋 誠, 松山榮一, 田村忠雄: 咳嗽失神の1例. (同上)

池上裕美子, 河村哲治, 河南里江子, 中原由紀子, 中原保治, 望月吉郎, 松山榮一, 桂 栄孝, 網谷良一, 鈴木康弘: 頻回の肺洗浄に対し, 再発・難治化傾向を示した肺胞蛋白症の1例. (同上)

小柳津竜樹, 西村尚志, 縄田隆平, 黒田直明, 坂東憲司: 肺野異常陰影で発見された原発性マクログロブリン血症の一例. 第128回日本内科学会近畿地方会(1989. 6. 24. 大阪)

中原由紀子, 森田基之, 河南昌樹, 池上裕美子, 中原保治, 福岡貫造, 久保嘉朗, 松山榮一, 田村忠雄, 桂 栄孝: 骨髓線維症経過中に気づかれた遊走脾の1例. (同上)

黒田直明, 縄田隆平, 坂東憲司, 千原久幸, 倉澤卓也: 気管支結石症の臨床的検討. 第12回日本気管支学会総会(1989. 7. 7. 東京)

長谷川幹, 富岡洋海, 岡崎美樹, 片上信之, 坂本廣子, 石原享介, 岩崎博信, 梅田文一, 中井 準: 中葉症候群の臨床像および気管支鏡所見の検討. (同上)

久保明美, 池上裕美子, 松山榮一, 田村忠雄: Stevens-Johnson 症候群に発症した巨赤芽球性貧血. 第51回日本血液学会近畿地方会(1989. 7. 8. 天理)

石田 直, 中村聡人, 清谷哲也, 福瀬達朗, 和澤 仁, 玉田二郎: Heerfordt 症候群の1例. 第24回日本胸部疾患学会中国四国地方会(1989. 7. 14)

石田 直, 西本 弘, 中村聡人, 清谷哲也, 福瀬達朗, 和澤 仁, 玉田二郎: 敗血症, 脾臓瘍の合併が疑われた多発性肺動静脈瘻の1例。(同上)

河村哲治, 中原保治, 望月吉郎, 桂 栄孝: 最近3年間に施行された経皮的肺針生検細胞診165例の検討。第44回国立病院療養所総合医学会(1989.10.27.仙台)

森田基之, 河南昌樹, 中原保治, 門屋 誠, 松山榮一, 田村忠雄: Verapamil, propranolol 併用が有効であった運動で誘発される速遅型 PSVT の1例。(同上)

池上裕美子, 河村哲治, 望月吉郎, 桂 栄孝: 国立姫路病院における好酸球性肺炎症例(開胸肺生検例)の検討。(同上)

望月吉郎, 嶋崎洋一, 河南昌樹, 松山榮一, 田村忠雄: 咳嗽失神の1例。(同上)

平田教至, 久保明美, 望月吉郎, 松山榮一, 田村忠雄: 不明熱12例の臨床的検討。(同上)

佐野元一, 藤村敬子, 山崎実世, 朝枝哲也, 山田親久, 田中健一: 専業主婦に観察された血清脂質の変化。第30回日本人間ドック学会(1989.8.24.東京)

磯和理貴, 清谷哲也, 橋本 徹, 武藤 真, 山中 晃, 長谷光雄: Castleman's disease の1例。第36回日本結核病学会・第25回日本胸部疾患学会・第10回日本気管支学会 合同北陸地方会(1989.11.4.新潟)

橋本 徹, 磯和理貴, 清谷哲也, 武藤 真, 山中 晃, 長谷光雄: 好酸球性肺炎の4例。(同上)

清谷哲也, 磯和理貴, 橋本 徹, 武藤 真, 山中 晃, 長谷光雄: 肺文画症を伴わない左肺底動脈体動脈起始症の1例。(同上)

武藤 真, 磯和理貴, 清谷哲也, 橋本 徹, 山中 晃, 長谷光雄: Swyer-James 症候群の1例。(同上)

山根英之, 朝枝哲也, 田中健一: 風景描画法を用いた新入社員教育。第29回近畿産業衛生学会(1989.11.11.京都)

中谷光一, 池田宣昭, 橋本尚子, 山口理世, 加藤元一, 網谷良一, 倉澤卓也, 川合 満, 久世文幸: 肝硬変症における異常肺血管チャンネルの存在が原因と考えられた低酵素血症の2例。第130回日本内科学会近畿地方会(1989.11.25)

石田 直, 松村栄久, 福島正樹, 日下昌平: 縦隔内進展を呈した慢性甲状腺炎の2例。第61回日本内科学会中国四国合同地方会(1989.11.26)

河南昌樹, 森田基之, 平井謙造, 吉本健朗, 河村哲治, 河南里江子, 中原由紀子, 中原保治, 門屋 誠, 松山榮一, 田村忠雄, 松森 昭: 家族内発症を示した左室拡張と心収縮力低下を伴う肥大型心筋症の二症例。第68回日本循環器学会近畿地方会(1989.12.9.京都)

河南昌樹, 森田基之, 平井謙造, 吉本健朗, 河南里江子, 久保明美, 中原保治, 門屋 誠, 松山榮一, 田村忠雄, 松森 昭: ARVD を呈した PSS の一例。(同上)

富岡洋海, 長谷川幹, 岡崎美樹, 片上信之, 坂本廣子, 石原享介, 岩崎博信, 梅田文一, 中井 準, 藺 潤, 庄村東洋: 術前診断に MRI が有用であった気管支嚢胞の1例。第64回日本結核病学会近畿地方会・第34回日本胸部疾患学会近畿地方会(1989.12.9.京都)

鈴木雄二郎, 小林秀机, 杉田孝和, 南方良章, 堀川禎夫, 西山秀樹, 前川暢夫: 基礎肺疾患をもたない喀血症例の検討。(同上)

南方良章, 小林秀机, 杉田孝和, 堀川禎夫, 鈴木雄二郎, 西山秀樹, 前川暢夫: 心停止で発見された睡眠時無呼吸症候群の一例。(同上)

富井啓介, 柚木由浩, 久須美房子, 三野真里, 弓場吉哲, 南部静洋, 田口善夫, 郡 義明, 種田和清, 岩田猛邦, 八田和大: 長期酸素投与が肺高血圧を著明に改善したと考えられる MCTD の1例。(同上)

弓場吉哲, 柚木由浩, 久須美房子, 三野真里, 富井啓介, 南部静洋, 田口善夫, 郡 義明, 種田和清, 岩田猛邦, 黄青龍, 北野司久: 心膜気腫にて発症した心嚢欠損の1例。(同上)

郡 義明, 柚木由浩, 三野真里, 弓場吉哲, 富井啓介, 南部静洋, 田口善夫, 種田和清, 岩田猛邦, 小橋陽一郎, 市島国雄, 網谷良一, 望月吉郎: 発症後22年の経過で呼吸不全, 肝不全にて死亡した好酸球性肉芽腫の1例

〔研究会・講演会〕

2. 腫瘍

西山秀樹, 小林秀机, 杉田孝和, 南方良章, 新実彰男, 堀川禎夫, 鈴木雄二郎, 前川暢夫: Adjuvant surgery を施行した肺小細胞癌の1例. 和歌山肺癌研究会 (1989. 1. 和歌山)

南部静洋, 三野真里, 弓場吉哲, 久保嘉朗, 富井啓介, 田口善夫, 郡 義明, 種田和清, 岩田猛邦, 相原雅典, 高橋 浩, 小橋陽一郎, 市島国雄: 肺癌剖検例における肺細菌培養症例の検出菌と臨床的背景について. 第4回奈良県感染症研究会 (1989. 2. 4. 奈良)

長谷川幹, 富岡洋海, 岡崎美樹, 片上信之, 坂本廣子, 石原享介, 岩崎博信, 梅田文一, 中井 準: 当科における原発性肺癌に対する非観血的治療の臨床研究について. 神戸市中央区医師会第100回記念学術集談会 (1989. 3. 25. 神戸)

多田公英, 桜井稔泰, 桜井信男, 石井晶生, 富岡洋海, 坂本廣子, 石原享介, 中井 準: 肺腺癌経過中に生じた気管支炎症性ポリープの1例. 第36回近畿気管支鏡懇話会 (1989. 3. 30. 大阪)

富岡洋海, 有田大作, 長谷川幹, 岡崎美樹, 片上信之, 坂本廣子, 石原享介, 岩崎博信, 梅田文一, 中井 準, 那須通寛, 岡田行功, 庄村東洋: 骨シンチグラムにて集積を認めた巨大過誤腫の1例. 第44回兵庫県肺癌懇話会 (1989. 6. 21. 神戸)

岡崎美樹, 富岡洋海, 長谷川幹, 片上信之, 坂本廣子, 石原享介, 岩崎博信, 梅田文一, 中井 準: 職業性石棉暴露との関連が示唆された悪性胸膜中皮腫の3例. 第12回京阪神呼吸器疾患勉強会 (1989. 7. 13. 大阪)

鈴木雄二郎, 東 義人, 後藤喜美子, 杉田孝和, 小林秀机, 南方良章, 新実彰男, 堀川禎夫, 西山秀樹, 前川暢夫: BAGにて「メロンの皮の網目状」の血管増生を認めた転移性肺癌の1例. 第37回近畿気管支鏡懇話会 (1989. 7. 27. 大阪)

鈴木雄二郎, 東 義人, 小林秀机, 杉田孝和, 南方良章, 新実彰男, 堀川禎夫, 西山秀樹, 前川暢夫: 肺癌脳転移症例の検討. 和歌山肺癌研究会 (1989. 7. 29. 和歌山)

中原保治, 松山榮一, 田村忠雄, 糸氏英一郎, 前田一憲, 桂 栄孝: 肝癌術後AFP上昇とともに胸レ上多発性結節影がみられ, UFT投与後一時的に改善した1例. 第二回西播地区経口抗癌剤研究会 (1989. 9. 30. 姫路)

磯和理貴, 橋本 徹, 清谷哲也, 武藤 真, 山口 晃, 長谷光雄: 小腫瘤状陰影を呈した肺癌の5例. 福井県胸部疾患研究会 (1989. 11. 26. 福井)

小澤 睦, 富岡洋海, 岡崎美樹, 坂本廣子, 石原享介, 岩崎博信, 梅田文一, 中井 準, 宮本 寛, 庄村東洋: 胸部単純X線写真上多発性塊状陰影を認め化学療法が奏功し, 腫瘍摘出術を施行した転移性肺癌の一例. 第45回兵庫県肺癌懇話会 (1989. 11. 29. 神戸)

縄田隆平, 小柳津竜樹, 柴田美弥, 西村尚志, 黒田直明, 坂東憲司: 気管及び気管支内に多発性の結節を認めた悪性リンパ腫の一例. 第38回近畿気管支鏡懇話会 (1989. 12. 8. 大阪)

富岡洋海, 長谷川幹, 岡崎美樹, 片上信之, 坂本廣子, 石原享介, 岩崎博信, 梅田文一, 中井 準: 縦隔腫瘍のMRI. 第13回京阪神呼吸器疾患勉強会 (1989. 12. 14. 大阪)

3. 感染症・炎症

杉田孝和, 小林秀机, 南方良章, 新実彰男, 堀川禎夫, 鈴木雄二郎, 西山秀樹, 前川暢夫: 当科における膿胸症例の検討. 和歌山感染症研究会 (1989. 2. . 和歌山)

岩田猛邦: 慢性下気道疾患の病態と治療. 大阪市福島区医師会 (1989. 2. 16. 大阪)

岩田猛邦: 慢性下気道疾患の病態と治療. 橿原市医師会 (1989. 5. 25. 橿原市)

岩田猛邦: 慢性下気道疾患の病態と治療. 姫路市医師会 (1989. 6. 29. 姫路市)

岩田猛邦: 慢性下気道疾患の病態と治療. 岸和田市医師会 (1989. 7. 6. 岸和田市)

古川元庸, 松尾孝彦, 坂東憲司: フロリド F 注400mgに反応せず2000mgにて著効を示した, 右腎癌免疫・化学療法後に併発した肺真菌症の一例. MRC 関西地区大会フロリド F 注研究会 (1989. 7. 22. 大阪)

岩田猛邦：びまん性汎細気管支炎の開胸生検例の検討。厚生省特定疾患びまん性肺疾患研究調査班ワークショップ（1989. 7. 26. 岩手県松尾村）

東 義人，後藤喜美子，小林秀机，杉田孝和，南方良章，新実彰男，堀川禎夫，鈴木雄二郎，西山秀樹，前川暢夫：BAI 後，気管支結核類似の潰瘍形成を認めた 1 症例。第37回近畿気管支鏡懇話会（1989. 7. 27. 大阪）

岩田猛邦：慢性下気道疾患の病態と治療。宇治市医師会（1989. 9. 6. 宇治市）

富岡洋海，長谷川幹，岡崎美樹，片上信之，坂本廣子，石原享介，岩崎博信，梅田文一，中井 準：当院における IIP 入院からみた急性増悪と予後。第41回間質性肺疾患研究会（1989. 11. 17. 東京）

三野真里，郡 義明，岩田猛邦，種田和清，田口善夫，富井啓介，南部静洋，弓場吉哲，柚木由浩，小橋陽一郎，市島国雄：flu-like symptom より急性増悪を呈した UIP の一例。（同上）

田口善夫，岩田猛邦，種田和清，郡 義明，南部静洋，富井啓介，弓場吉哲，三野真里，柚木由浩：慢性下気道感染症の EM 療法—長期投与例の検討。第21回奈良呼吸器疾患研究会（1989. 11. 18. 奈良）

岩田猛邦：びまん性汎細気管支炎と気管支拡張症 シンポジウム「エリスロマイシンは何故 DPB に効くのか、」（1989. 11. 25. 京都）

田口善夫，岩田猛邦，種田和清，郡 義明，南部静洋，富井啓介，久保嘉朗，弓場吉哲，三野真里：慢性下気道感染症の EM 療法。厚生省びまん性肺疾患研究班班会議（1989. 1. 27. 東京）

富井啓介，岩田猛邦，種田和清，郡 義明，田口善夫，南部静洋，久保嘉朗，弓場吉哲，三野真里：慢性副鼻腔炎のない気管支拡張症の検討。第10回びまん性汎細気管支炎をめぐる研究会（1989. 1. 28. 東京）

岩田猛邦：慢性下気道疾患の病態と治療。大阪市生野区医師会（1989. 12. 6. 大阪）

杉田孝和，小林秀机，南方良章，堀川禎夫，鈴木雄二郎，西山秀樹，前川暢夫：気管支鏡にて可視範囲に真菌球を認めた二症例。第38回近畿気管支鏡懇話会（1989. 12. 8. 大阪）

4. 気管支喘息・アレルギー

田中健一，川合 満：2-4TDI によるアレルギー性疾患モデル。第9回気道分泌研究会（1989. 2. 25. 京都）

田中健一：TDI による鼻アレルギーモデル。第62回日本産業衛生学会職業アレルギー研究会（1989. 4. 28. 青森）

河南里江子，平田教至，国部伸也，河村哲治，池上裕美子，河南昌樹，中原由紀子，中原保治，望月吉郎，松山榮一，田村忠雄：エリスロマイシンが奏功した難治性アレルギー性気管支肺アスペルギルス症の一例，第4回兵庫・免疫アレルギー研究会（1989. 10. 7. 神戸）

石原享介，中井 準：難治性気管支喘息例の標準的治療法としての β_2 刺激剤（+BDI）定期吸入療法の可能性。（同上）

5. その他

田中健一：職場のメンタルヘルス。京都市職員局安全衛生研修会（1989. 2. 13. 京都）

山田勝彦，西村尚志，縄田隆平，黒田直明，坂東憲司：数年の胸部びまん性陰影を呈した後，呼吸困難と湿性咳嗽が出現した一例。第44回びまん性肺疾患研究会（1989. 2. 18. 大阪）

石田 直，西本 弘，中村聡人，清谷哲也，福瀬達郎，和澤 仁，玉田二郎：発熱を主訴とし多発性の陰影を呈した 1 例。第33回岡山胸部疾患懇話会（1989. 2. 21）

田中健一：労働者の健康保持増進対策について。京都市上産業保健連絡協議会（1989. 2. 23. 京都）

縄田隆平，西村尚志，熊谷直和，川島敦子，黒田直明，坂東憲司：最近経験した気管支結石症の 3 例—気管支鏡下結石摘出を施行した 1 例を中心として—。第36回近畿気管支鏡懇話会（1989. 3. 30. 大阪）

岩田猛邦：胸部 X-P の読影。宇陀郡医師会胸部 X 線読影会（1989. 5. 13. 宇陀郡榛原町）

望月吉郎：びまん性肺疾患について。第69回姫路臨床懇話会（1989. 5. 16. 姫路）

橋本 徹，磯和理貴，清谷哲也，武藤 真，山中 晃，長谷光雄：好酸性肺炎の 3 例。北陸呼吸器疾患懇話会（1989. 5. 20. 福井）

弓場吉哲, 三野真里, 久保嘉朗, 富井啓介, 南部静洋, 田口善夫, 郡 義明, 種田和清, 岩田猛邦, 小橋陽一郎, 市島国雄: ステロイドに反応したびまん性肺疾患の一例. 第45回びまん性肺疾患研究会 (1989. 6. 3. 大阪)

中村聡人, 石田 直, 松村栄久, 清谷哲也, 福瀬達郎, 小阪真二, 玉田二郎: CT 上比較的境界鮮明な多発性浸潤影を呈した1症例. 第34回岡山胸部疾患懇話会 (1989. 8. 29)

有田大作, 石原享介, 前田健司, 富岡洋海, 長谷川幹, 岡崎美樹, 坂本廣子, 岩崎博信, 梅田文一, 中井 準: 比較的無症状でびまん性肺陰影を呈した中年の一症例. 第46回びまん性肺疾患研究会 (1989. 9. 9. 大阪)

中原由紀子, 河南昌樹, 中原保治, 松山榮一, 田村忠雄, 西平友彦, 大西 慧, 石井一成, 桂 栄孝: 大腸癌検索中に発見された偽性バーター症候群の1例. 第20回国立病院・療養所内分泌代謝同好会 (1989. 10. 25. 仙台)

三野真里, 郡 義明, 岩田猛邦, 種田和清, 田口善夫, 富井啓介, 南部静洋, 弓場吉哲, 柚木由浩, 小橋陽一郎, 市島国雄: 本院における肺好酸球肉芽腫症5例の検討. 第1回京滋呼吸器懇話会 (1989. 11. 4. 京都)

長谷光雄: 当科における最近の呼吸器症疾患. 大野・勝山医師会勉強会 (1989. 11. 15. 大野市)

坂本廣子, 富岡洋海, 長谷川幹, 岡崎美樹, 片上信之, 石原享介, 岩崎博信, 梅田文一, 中井 準, 多田公英, 桜井信男, 石井晶生: 在宅酸素療法施行患者の心理的背景に関する検討. 第1回兵庫県呼吸不全懇話会 (1989. 11. 24. 神戸)

富岡洋海, 長谷川幹, 岡崎美樹, 片上信之, 坂本廣子, 石原享介, 岩崎博信, 梅田文一, 中井 準: 労作時呼吸困難で発症し, CEA の異常高値を認めたびまん性肺疾患の1例. 第47回びまん性肺疾患研究会 (1989. 12. 2. 大阪)

南部静洋, 柚木由浩, 三野真里, 弓場吉哲, 富井啓介, 田口善夫, 郡 義明, 種田和清, 岩田猛邦, 小橋陽一郎, 市島国雄: 労作時呼吸困難, 関節痛を主訴とし胸部レ線上異常陰影を認めた一例. (同上)

田中健一: 今成人病について考える, 中小企業同友会カレッジ. (1989. 12. 13. 京都)

〔誌 上 発 表〕

1. 結 核

富井啓介, 岩田猛邦, 種田和清, 郡 義明, 田口善夫, 南部静洋, 久保嘉朗, 弓場吉哲, 三野真里, 黒田康正: 非定型抗酸菌症を初発症状とした Williams-Campbell 症候群の成人例と考えられる1例. 日本胸部疾患学会雑誌, 27(4): 518~522, 1989

池田宣昭: 肺結核の現状 Pharma Medica. 7(10): 41-47, 1989

2. 腫 瘍

南方良章, 小林秀机, 杉田孝和, 新実彰男, 堀川禎夫, 鈴木雄二郎, 西山秀樹, 前川暢夫, 太田安英: 小腸大腸転移をきたした肺癌の1例—自検例および本邦報告例の検討—. 和歌山医学, 40(4)

種田和清: 原発性肺癌剖検例の組織学的検討第一部肺癌の組織型別転移傾向. 京大胸部研紀要, 21(1, 2. 合併号): 17~28, 1989

種田和清: 原発性肺癌剖検例の組織学的検討第二部臨床的組織診断の適合性. 同上, 21(1, 2): 29-32, 1988

3. 感染症・炎症

久世文幸, 倉澤卓也, 坂東憲司: 各種呼吸器感染症に対する BMY-28100 の臨床的検討. Chemotherapy, 37(S-3): 355-360, 1989

石原享介, 富岡洋海, 長谷川幹, 岡崎美樹, 片上信之, 坂本廣子, 岩崎博信, 梅田文一, 中井 準: 慢性呼吸不全に陥った夏型過敏性肺炎例. 日本胸部疾患学会雑誌, 27(11): 1355~1361, 1989

小出道夫, 宮田 勉, 貫名正文, 寺本忠司, 仲西寿男, 神木照雄, 梅田文一, 中井 準: シャワーホースから

分離された *Legionella* の増殖を支持する *Pseudomonas vesicularis* の1菌株. 感染症学雑誌, 63(10): 1160~1164, 1989

望月吉郎: ニューモシスチス・カリニ肺炎 今日の治療指針1989年版. 医学書院 東京, p277, 1989

望月吉郎, 岩田猛邦, 種田和清, 郡 義明, 田口善夫, 南部静洋, 富井啓介, 久保嘉朗, 弓場吉哲, 市島国雄, 小橋陽一郎, 相原雅典, 高橋 浩: いわゆる末期肺炎の剖検肺における検討. 日本胸部疾患学会雑誌, 27(3): 310-316, 1989

岩田猛邦, 郡 義明: 院内感染 サイトメガロウイルス・カリニ肺炎の発症要因と治療. 臨床医, 15(2): 40~43, 1989

田口善夫, 岩田猛邦, 種田和清, 郡 義明, 南部静洋, 富井啓介, 久保嘉朗, 弓場吉哲, 三野真里: 慢性下気道感染症の EM 療法——長期投与例の検討—— 厚生省特定疾患びまん性肺疾患調査研究班. 昭和63年度報告書, p148~150, 1989. 3.

田口善夫, 郡 義明, 岩田猛邦, 相原雅典: レジオネラ症. 現代医療, 21(9): 2692~2697, 1989

田口善夫, 岩田猛邦, 種田和清, 南部静洋, 久保嘉朗, 相原雅典, 市島国雄, 小橋陽一郎, Seminar: 症例(65) *Legionella bozemanii* 激症肺炎の1例. 感染症, 19(2): 80~83, 1989 藤沢薬品刊

池田宣昭, 山島英世, 森 一彌, 松本鉄也, 中江一郎, 鈴木 元, 藤野昇三, 井上修平, 末広 豊, 永井 寛, 伊藤公一: 呼吸器感染症に対する Ceftazidime (CAZ) の臨床的検討 *Amtibiotics and Chemotherapy* (化学療法の領域). 5(3): 107-116, 1989

5. そ の 他

石原享介, 長谷川幹, 坂本廣子, 中井 準, 石井晶生: 在宅酸素療法施行例の心理的精神医学的背景と, その予後からみた肺移植の可能性. 京大胸部研紀要, 22(1, 2): 58~64, 1989

富岡洋海, 田中栄作, 網谷良一, 久世文幸, 佐藤宏昭, 中村 一, 高橋晴雄: 耳鼻科的アプローチをも含めた慢性気道疾患の臨床的検討. 日本胸部臨床, 48(12): 987~993, 1989

中井 準: 気胸・今日の治療指針. 1989, 分担執筆298頁 医学書院, 1989. 2. 15発行

石田 直, 森田基之, 河南昌樹, 中原由紀子, 中原保治, 田中 昌, 牛田伸一, 門屋 誠, 松山榮一, 田村忠雄, 藤原久義: 好酸球性心筋炎等多彩な症状を呈した *hypereosinophilic syndrome* の1例. 呼吸と循環, 37(8): 909-913, 1989

田村忠雄, 石田 直 他1名(清水澄太): 急性腎炎症候を呈した IgA 腎症の1症例. 姫路市医師会報, No. 225, 1989. 11

松山榮一, 河南昌樹, 森田基之, 河南理江子, 池上裕美子, 中原由紀子, 田村忠雄, 高田充隆, 山本雅彦: TDX Aprindine の臨床的有用性. *Progress in Medicine*, 9(1): 219-224, 1989

田中健一, 朝枝哲也, 尾池達也, 竹本由利子, 平松智之, 井上みあき, 山田親久, 吉田克己: 集団検診で観察された血清総コレステロール値の母集団による変化. 日本総合健診医学会誌, 16(2): 142, 1989

田口善夫, 岩田猛邦, 種田和清, 望月吉郎, 郡 義明, 南部静洋, 久保嘉朗, 北野司久, 辰己利明, 市島国雄, 小橋陽一郎: *Sarcoidosis* 発症10年後 *mycetoma* 形成に伴う大咯血を外科療法にて救命し得た1例. 日本胸部臨床, 47(5): 439-443

岩田猛邦: 内科治療ガイド——呼吸器疾患 気管支拡張症. *Medical Practice*, Vol. 6臨時増刊号, 190~192

岩田猛邦: 呼吸器内科 医学生のための卒後進路ガイダンス. 金芳堂, 1989, p92-93

郡 義明: 一般内科 医学生のため卒後進路ガイダンス. 金芳堂, 1989, p86-87

郡 義明, 岩田猛邦: びまん性肺疾患の画像診断 臨床診断の進め方. 胸部画像診断の要点 メジカルビュー社, p24-32, 1989

免疫学分野

〔学会発表〕

Katsura, Y., Gytoku, J., Watanabe, Y.: A thymic stromal cell line which supports the generation of helper T cell subset. The Thymus. Histophysiology and Dynamics in the Immue System. (Kerkrade. 1989. 4.)

Katsura, Y., Gytoku, J., Matsuda, O., Watanabe, Y.: Analysis of T cell differentiation by transferring cells into organ cultured fetal thymus with a microinjector. The Thymus. Histophysiology and Dynamics in the Immue System. (Kerkrade. 1989. 4.)

桂 義元：胸腺における T 細胞分化の機構。第 8 回胸腺研究会，(1989. 5.)

Fujimoto, S., Morimoto, T., Katsura, Y.: Identification of T cell receptor δ gene enhancer elements. 7th International Congress of Immunology. (Berlin. 1989. 7.)

Gytoku, J., Watanabe, Y., Matsuda, O., Katsura, Y.: Analysis of T cell differentiation by transferring cells into organ cultured fetal thymus with a microinjector. 7th International Congress of Immunology. (Berlin. 1989. 7.)

Iwai, K., Tsubata, T., Katsura, Y., Kumagai, S., Imura, H.: Study of frequencies in precursor cells of IgG class anti-DNA antibody producing cells of normal and lupus mice. 7th International Congress of Immunology. (Berlin. 1989. 7.)

Watanabe, Y., Gytoku, J., Katsura, Y.: A thymic stromal cell line which supports the generation of helper T cell subset. 7th International Congress of Immunology. (Berlin. 1989. 7.)

Kamio, M., Uchiyama, T., Hori, T., Onishi, R., Ishikawa, T., Itoh, K., Teshigawara, K., Uchino, H.: A monoclonal antibody (2R-B) apparently recognizing β chain (p70) of human interleukin 2 receptor. 7th International Congress of Immunology. (Berlin. 1989. 7.)

Mori, M., Yoshikai, Y., Kannagi, R., Hosono, M., Kuribayashi, K., Masuda, T.: Parental cell autoantigens and autoantibodies involved in neonatal thymectomyinduced murine autoimmune gastritis. 7th International Congress of Immunology. (Berlin. 1989. 7.)

藤本真慈，行徳淳一郎，Germeraad W., 勅使河原計介，El-Farrash M., 原田信志，桂 義元：アンチセンス RNA による HIV 感染に対する抵抗性賦与の試み。エイズ研究会第 3 回学術集会，(1989. 7.)

細野正道，稲葉宗夫，稲葉カヨ，行徳淳一郎，桂 義元：新生仔胸腺での免疫寛容誘導・Mls-1^aに対する寛容を誘導する造血幹細胞由来細胞の非特異性。第19回日本免疫学会総会，(1989.11.)

喜納辰夫，桂 義元，I. L. Weissman：胸腺及び骨髓由来ストローマ細胞とリンパ球との細胞間相互作用の機構。第19回日本免疫学会総会，(1989.11.)

藤本真慈，森本武志，竹下 淳，山岸秀夫，桂 義元：T 細胞レセプター δ 鎖領域の DNase I 高感受性部位。第19回日本免疫学会総会，(1989.11.)

行徳淳一郎，渡部良広，桂 義元：胸腺内における最も未熟な T 前駆細胞。第19回日本免疫学会総会，(1989.11.)

松田 修，行徳淳一郎，桂 義元：マウス胎児胸腺臓器培養系を用いた T 細胞トレランス機構の解析。第19回日本免疫学会総会，(1989.11.)

渡部良広，苫名 充，須藤哲央，松田 修，桂 義元：T 系列細胞の分化増殖における IL-7 の役割。第19回日本免疫学会総会，(1989.11.)

苫名 充，渡部良広，須藤哲央，松田 修，井手山晋，行徳淳一郎，桂 義元：胸腺ストローマ細胞株 TSt-4 の T 細胞分化支持能の解析。第19回日本免疫学会総会，(1989.11.)

W. Germeraad，藤本真慈，行徳淳一郎，原田信志，勅使河原計介，桂 義元：アンチセンス RNA によるエイズウイルス増殖の抑制。第19回日本免疫学会総会，(1989.11.)

岩井一宏，鏑田武志，桂 義元，熊谷俊一，井村裕夫：IgG 抗 DNA 抗体産生前駆 B 細胞の解析。第19回日本免疫学会総会，(1989.11.)

稲葉宗夫, 細野正道, 稲葉カヨ, 足立 靖, 南後健一, 村松 繁, 池原 進: マウス胸腺中に存在する B 細胞の生物学的意義IV. Mls-MLRにおける刺激活性と免疫寛容誘導能の検討. 第19回日本免疫学会総会, (1989.11.)

花田敬吾, 細川友秀, 細野正道, 加藤秀樹, 竹田俊男: 老化促進モデルマウス (SAM) の免疫応答能に関する研究 II. ヘルパー T 細胞機能低下の遺伝的解析. 第19回日本免疫学会総会, (1989.11.)

森由美子, 細野正道, 加藤秀樹, 吉川義顕, 伊藤恭子, 神奈木玲児, 栗林景容, 増田 徹: Recombinant Inbred 系マウスを用いた実験的自己免疫性胃炎発症機構の解析. 第19回日本免疫学会総会, (1989.11.)

伊藤恭子, 森由美子, 吉川義顕, 神奈木玲児, 細野正道, 栗林景容, 増田 徹: 実験的自己免疫性胃炎発症における T 細胞サブセットの動態と TCR の解析. 第19回日本免疫学会総会, (1989.11.)

光岡明夫, 花田敬吾, 細野正道, 細川友秀, 松下隆寿, 小岸久美子, 馬場満男, 細川昌則, 竹田俊男: 老化促進モデルマウス (SAM) の *in vivo* の免疫応答能・加齢に伴う急速な免疫機能低下の細胞レベルでの解析. 第13回日本基礎老化学会, (1989.11.)

〔誌 上 発 表〕

- ✓ Watanabe, Y., Gyotoku, J., Katsura, Y.: Analysis of the development of T cells by transferring precursors into cultured fetal thymus with a microinjector. *Thymus*. 13: 57-71, 1989.
 - ✓ Ogawa, M., Ikuta, K., Katsura, Y., Nishikawa, S.: Stepwise progression of B cell malignancy occurred in a bone marrow stromal cell-dependent pre-B cell clone. *Leukemia*. 13: 282-288, 1989.
 - ✓ Okazaki, H., Ito, M., Sudo, T., Hattori, M., Kano, S., Katsura, Y., Minato, N.: IL-7 promotes thymocyte proliferation and maintains immunocompetent thymocytes bearing $\alpha\beta$ or $\gamma\delta$ T-cell receptors in vitro: synergism with IL-2. *J. Immunol.* 143: 2917-2922, 1989.
 - ↓ Gyotoku, J., Hosono, M., Ideyama, S., Katsura, Y., Katoh, H.: New recombinant inbred strains. *Mouse News Letter*. 85: 8-9, 1989.
 - ✓ Hosokawa, T., Aoike, A., Hosono, M., Motoi, S., Kawai, K.: Studies on B-cell memory. IV. Effects of lipopolysaccharide on primary and secondary antibody responses to T-independent Type-2 (TI-2) antigens in mice. *Microbiol. Immunol.* 33: 941-949, 1989.
 - ✓ Hanada, K., Hosono, M., Hosokawa, T., Chen, W. -E., Tsuboyama, T., Takeda, T.: Immune responses in newly developed short-lived SAM mice. III. Genetic control of defective helper T-cell activity in in vitro primary antibody response. *Immunology*. 68: 540-546, 1989.
 - ✓ Adachi, M., Ryo, R., Yoshida, A., Teshigawara, K., Yamaguchi, N., Hoshijima, M., Takai, Y., Sato, T.: Elevation of intracellular calcium ion by prostaglandin E_1 and its inhibition by protein kinase C in a human megakaryocyte leukemia cell line. *Cancer Research*, 49: 3805-3808, 1989.
- 桂 義元: T 細胞の分化とセルフトレランス. *臨床免疫*, 21: 1030-1043, 1989.
- 細野正道: 自己トレランスの成立機序. *臨床免疫*, 21: 1092-1108, 1989.
- 細野正道: T 細胞レパトリに与える自己トレランスの影響. *臨床免疫*, 21: 1640-1647, 1989.
- 勅使河原計介, 多賀谷温: サイトカインレセプターの解析. *Medical Immunology*, 18: 419-424, 1989.
- 宮坂昌之, 桂 義元: サプレッサー T 細胞の抗原レセプター. *医学のあゆみ*, 145: 813, 1989.
- 宮坂昌之, 桂 義元: 胸腺細胞の初期分化と migration. *Annual Review 免疫* 1989, p.1-9, 1989.

臨床生理学分野

〔学会・研究会発表〕

久野健志: 肺機能検査の新しいアプローチとその臨床的意義. 第29回日本胸部疾患学会総会, シンポジウム

(2)司会, (1989.4)

大井元晴, 陳 和夫: シンポジウム 上気道機能と呼吸器疾患, 非挿管下補助呼吸時の上気道機能. 第29回日本胸部疾患学会総会, (1989.4)

三嶋理晃: シンポジウム(2) 肺機能検査の新しいアプローチとその臨床的意義—7. オッシレーション換気力学を中心として. 第29回日本胸部疾患学会総会, (1989.4)

陳 和夫, 大井元晴, 越久仁敬, 中村吉法, 田中恵美子, 久野健志, 平井正志, 栗山隆信: 睡眠時軽度低酸素による呼吸刺激と抑制に関する検討. 第29回日本胸部疾患学会総会, (1989.4)

田中瑩子, 三嶋理晃, 越久仁敬, 佐藤公彦, 久野健志, 伊藤春海: 胸部X線上, Ga シンチグラフィ陰性であった症例での¹²³I-IMP 肺シンチグラフィの検討. 第29回日本胸部疾患学会総会, (1989.4)

松井保憲, 網谷良一, 久世文幸, 三嶋理晃, 曾我部康之, 伊藤春海: 慢性気道疾患における粘液線毛輸送能の in vivo および in vitro の検討. 第29回日本胸部疾患学会総会, (1989.4)

福永隆文, 川上賢三, 田中瑩子, 三嶋理晃, 久野健志: オレイン酸肺水腫における肺血管外水分量と呼吸インピーダンスの関係. 第1回肺水腫定量法研究会, (1989.4)

三嶋理晃, 福永隆文, 川上賢三, 田中瑩子, 筒井多圭志, 久野健志: 呼吸器疾患における Chest Flow と Mouth Flow の位相差について. 第9回京阪神肺機能研究会, (1989.5)

三嶋理晃, 福永隆文, 田中瑩子, 久野健志: 呼吸器疾患における Chest Flow Mouth Flow の位相差について. 第33回日本胸部疾患学会近畿地方会, (1989.6)

福永隆文, 川上賢三, 田中瑩子, 三嶋理晃, 久野健志: 呼吸器疾患患者における気道インピーダンスと1秒率の有用性の比較. 第33回日本胸部疾患学会近畿地方会, (1989.6)

三嶋理晃, 福永隆文, 川上賢三, 田中瑩子, 筒井多圭志, 久野健志: COPD 症例の吸気初期位相における Chest Flow ($V_{0.1}$) と換気ドライブおよび肺の力学的特性との関係について. 第4回日本 ME 学会秋期大会, (1989.10)

三嶋理晃, 福永隆文, 川上賢三, 田中瑩子, 筒井多圭志, 久野健志: 呼吸器疾患における Chest Flow と Mouth Flow の位相差について. 第26回日本臨床生理学会総会, (1989.10)

三嶋理晃, 福永隆文, 川上賢三, 田中瑩子, 筒井多圭志, 久野健志: COPD 症例の初期位相における Chest Flow ($V_{0.1}$) について. 第26回日本臨床生理学会総会, (1989.10)

福永隆文, 川上賢三, 田中瑩子, 筒井多圭志, 三嶋理晃, 久野健志: 気道インピーダンスの閉塞性障害検査としての有用性. 第26回日本臨床生理学会総会, (1989.10)

陳 和夫, 福井基成, 中村吉法, 大井元晴, 久野健志: 過換気症候群患者の呼吸に関する検討. 第26回日本臨床生理学会総会, (1989.10)

Chin, K., Ohi, M., Kuno, K: Breathing of hyperventilation syndrome patients at rest, the hyperventilation stage and the posthyperventilation stage., International symposium on control of breathing and dyspnea. (Sendai, 1989. 10)

大井元晴, 陳 和夫, 福井基成, 杉浦直治, 王 永錚, 久野健志: 非挿管下補助呼吸の適用方法. 平成元年度厚生省特定疾患呼吸不全調査研究班第2回総会, (1989.12)

三嶋理晃, 杉浦直治, 福永隆文, 川上賢三, 田中瑩子, 筒井多圭志, 久野健志: COPD 症例の吸気初期位相における Chest Flow ($V_{0.1}$) と換気ドライブおよび換気力学との関係について. 厚生省特定疾患呼吸不全調査研究班平成元年度第2回総会, (1989.12)

中村敬哉, 中野恭幸, 川上賢三, 陳 和夫, 三嶋理晃, 大井元晴, 佐藤公彦, 久野健志, 北市正則: 胸壁原発の hemangio-pericytoma の1例. 第12回臨床生理学教室(理学呼吸器科)研究会, (1989.12)

中野恭幸, 川上賢三, 福永隆文, 田中瑩子, 陳 和夫, 大井元晴, 佐藤公彦, 小椋英司: 壊死性縦隔洞炎の1例. 第12回臨床生理学教室(理学呼吸器科)研究会, (1989.12)

佐藤公彦: 当教室における肺癌治療成績. 第12回臨床生理学教室(理学呼吸器科)研究会, (1989.12)

水野 融: 本院における院内肺炎および嚥下性肺炎についての報告. 第12回臨床生理学教室(理学呼吸器科)研究会, (1989.12)

関 剛, 西垣正憲: 著明な低酸素血症を呈し, ステロイド大量パルス療法が奏効した IIP の1症例. 第12回臨床生理学教室(理学呼吸器科)研究会, (1989.12)

鍵岡 朗, 奥井克治, 西坂泰夫, 小田芳郎, 稲葉宣雄: Wegener 肉芽腫症の1症例. 第12回臨床生理学教室(理学呼吸器科)研究会, (1989.12)

水谷 哲, 鍵岡 均, 服部 登, 北 英夫, 藤田正憲: Relapsing polychondritis を伴った Wegener's granulomatosis の1例. 第12回臨床生理学教室(理学呼吸器科)研究会, (1989.12)

関 剛, 西垣正憲: 織物工場従業員にみられた外因性慢性リポイド肺炎と思われる1症例. 第12回臨床生理学教室(理学呼吸器科)研究会, (1989.12)

田中嘉人, 吉田 仁, 平林正孝, 中川正清: 在宅酸素療法患者における右心カテーテル検査の有用性について. 第12回臨床生理学教室(理学呼吸器科)研究会, (1989.12)

福井基成, 酒井直樹, 遠藤和夫, 佐川弥之助, 川上賢三, 佐藤公彦: 気管裂傷の1例. 第12回臨床生理学教室(理学呼吸器科)研究会, (1989.12)

宮原 亮, 坪井知正, 前川豊行, 鎌苅邦彦, 福田正悟, 土肥佳郎: 横隔膜弛緩症との鑑別が困難であった限局性胸膜炎の1症例. 第12回臨床生理学教室(理学呼吸器科)研究会, (1989.12)

西川忠男, 安田隆三郎, 関野 一, 木村哲郎, 平井正志: 悪性びまん性胸膜中皮腫の2例. 第12回臨床生理学教室(理学呼吸器科)研究会, (1989.12)

吉田 仁, 田中嘉人, 平林正孝, 中川正清, 川上賢三, 三嶋理晃: RI bolus 注入法による First pass 肺循環動態の検討(第3報). 第12回臨床生理学教室(理学呼吸器科)研究会, (1989.12)

石部裕一: エンドトキシンによる低酸素性肺血管収縮反応抑制作用. 第12回臨床生理学教室(理学呼吸器科)研究会, (1989.12)

大成功一: 内科的治療で2年以上の生存を得た非小細胞肺癌症例の検討. 第12回臨床生理学教室(理学呼吸器科)研究会, (1989.12)

田中嘉人, 吉田 仁, 平林正孝, 中川正清: 臨床病期 I 期非小細胞肺癌症例の検討—手術例を中心に—. 第12回臨床生理学教室(理学呼吸器科)研究会, (1989.12)

安井浩明: 肝におけるインターフェロンの抗癌作用のメカニズム. 第12回臨床生理学教室(理学呼吸器科)研究会, (1989.12)

藤田正憲: Canine Model of Chronic Bronchial Injury: Lung Mechanics and Pathologic Changes. 第12回臨床生理学教室(理学呼吸器科)研究会, (1989.12)

三嶋理晃, 福永隆文, 川上賢三, 杉浦直治, 筒井多志志, 田中肇子, 久野健志: 呼吸の計測と解析—7気道および肺組織胸郭インピーダンス計測. 第1回バイオエンジニアリングシンポジウム: 1-D, (1990.1)

大井元晴: 臨床症状(呼吸と循環). 第4回睡眠時呼吸異常研究会, (1990.2)

大井元晴: シンポジウム 肺結核後遺症・病態生理の立場から(換気). 第65回日本結核病学会, (1990.3)

陳 和夫: 過換気症候群と低酸素血症. 第167回静岡県西部胸部疾患懇話会, (1990.3)

〔国際学会発表〕

Yoshida, H., Tanaka, Y., Hirabayashi, M., Nakagawa, M., Kawakami, K., Mishima, M., Kuno, K.: Vertical Distribution of Pulmonary Vascular Transit Time.: XVI World Congress on Disease of the Chest, (Boston, 1989. 11)

Kawakami, K., Fukunaga, T., Tanaka, E., Mishima, M., Kuno, K.: Airway and Tissue Impedance in Pulmonary Edema in Dogs.: XVI World Congress on Disease of the Chest, (Boston, 1989. 11)

Fukunaga, T., Kawakami, K., Tanaka, E., Mishima, M., Kuno, K.: Comparison of Usefulness Between Airway Impedance and FEV_{1.0%} in Pulmonary Diseased Patients.: XVI World Congress on Disease of the Chest, (Boston, 1989. 11)

Mishima, M., Kawakami, K., Fukunaga, T., Tanaka, E., Kuno, K.: Phase Difference Between Chest Flow and Mouth Flow in Pulmonary Diseased Patients.: XVI World Congress on Disease of the Chest, (Boston, 1989. 11)

〔誌 上 発 表〕

- 久野健志, 大井元晴, 三嶋理晃, 陳 和夫: 在宅酸素療法. 現代医療, 22(3): 71-76, 1990.
- 久野健志, 大井元晴, 三嶋理晃, 陳 和夫: 肺結核と呼吸不全. Pharma Medica, 10(7): 71-82, 1989.
- 大井元晴, 陳 和夫, 久野健志, 平井正志, 栗山隆信: 非挿管下補助呼吸時の上気道機能. 日胸疾会誌, 28(1): 35-40, 1990.
- 大井元晴, 陳 和夫, 久野健志: Nasal CPAP 「Annual Review, 呼吸器」. 211-218, 1990. 中外医学社
- 三嶋理晃, 田中瑩子, 川上賢三, 吉田 仁, 福永隆文, 越久仁敬, 久野健志: 肺機能の立場からみた RI 画像診断の限界—新しい検査法の開発—. 日胸疾会誌, 27(3): 267-273, 1989.
- 三嶋理晃, 福永隆文, 川上賢三, 田中瑩子, 筒井多圭志, 久野健志: オッシレーション換気力学を中心として. 日胸疾会誌, 27(12): 1453-1459, 1989.
- 三嶋理晃, 福永隆文, 川上賢三, 田中瑩子, 筒井多圭志, 久野健志: COPD 症例の吸気初期位相における Chest Flow ($V_{0.1}$) と換気ドライブおよび肺の力学的特性との関係について. 医用電子と生体工学, 27(2): 222, 1989.
- 三嶋理晃, 福永隆文, 川上賢三, 杉浦直治, 筒井多圭志, 田中瑩子, 久野健志: 第1回バイオエンジニアリングシンポジウム論文集 No.900(4): 71-72, 1990.
- 三嶋理晃, 福永隆文, 越久仁敬, 田中瑩子, 久野健志: 呼吸器疾患における換気量増加の制限因子としての胸郭運動障害の評価. 厚生省特定疾患呼吸不全調査研究班昭和63年度研究報告書, 147-152, 1989.
- Chin, K., Ohi, M., Hirai, M., Kuriyama, T., Sagawa, Y., Kuno, K.: Breathing during sleep with mild hypoxia. J. Appl. Physiol. 67 (3): 1198-1207, 1989.
- 陳 和夫, 大井元晴, 久野健志: 高炭酸ガス血症をともなった慢性呼吸不全症例に対する非挿管下補助呼吸に関する検討. 京大胸部研紀要, 22(1.2): 50-57, 1989.
- 陳 和夫, 大井元晴, 久野健志: 高炭酸ガス血症をともなった慢性呼吸不全症例に対する非挿管下補助呼吸に関する検討. 厚生省特定疾患呼吸不全調査研究班, 昭和63年度研究報告書, 199-203, 1989.
- 王 永錚, 大井元晴, 陳 和夫, 久野健志, 平井正志: 経鼻的持続陽圧呼吸 (nasal CPAP). 狭間秀文, 佐々木孝夫編 睡眠時無呼吸症候群の臨床, 星和書店, 193-199, 1990.

臨床生理学分野関連施設

〔学会・研究会発表〕

- 市谷迪雄, 弘野慶次郎, 坪井裕志, 渡辺裕介, 中出雅治: 巨大ブラと気道との交通について $FRC_{\text{Box}}-FRC_{\text{He}}$ の値と ^{133}Xe による換気シンチグラフィーの検討から. 第29回日本胸部疾患学会総会, (1989.4)
- 石部裕一, 塩川泰啓, 榎田高士, 泉 貴文, 中村正人, 末包慶太: 圧—流量曲線による低酸素性肺血管収縮反応の解析. 第29回日本胸部疾患学会総会, (1989.4)
- 石部裕一: 特別講演 Indicator dilution lung water—測定精度と臨床的意義. 第1回肺水腫定量法研究会, (1989.4)
- 石部裕一, 塩川泰啓, 榎田高士, 泉 貴文, 中村正人: 圧—流量曲線による HPV 反応の評価—ハロセンの影響. 第36回日本麻酔学会総会, (1989.4)
- 塩川泰啓, 石部裕一, 榎田高士, 泉 貴文, 中村正人, 末包慶太: ニトログリセリンの低酸素性肺血管収縮に対する効果. 第36回日本麻酔学会総会, (1989.4)
- 弘野慶次郎, 市谷迪雄, 坪井裕志, 渡辺裕介, 中出雅治, 越智宏暢, 波多 信, 寺川和彦, 久野健志: 肺葉切除後の換気血流シンチの検討—肺機能検査との対比. 第6回呼吸器外科学会総会, (1989.5)
- 坪井裕志, 市谷迪雄, 弘野慶次郎, 渡辺裕介, 中出雅治: 両側性異時性肺重複癌 2 手術経験. 第6回日本呼吸器外科学会総会, (1989.5)

吉田 仁, 田中嘉人, 平林正孝, 中川正清, 岡村明治, 川上賢三, 三嶋理晃, 久野健志, 清水慶彦, 佐川弥之助: いわゆる Low grade malignancy とされるカルチノイド, 腺様嚢胞癌, 粘表皮癌の検討. 第6回日本呼吸器外科学会総会, (1989.5)

西川忠男, 安田隆三郎, 木村哲郎, 関野 一, 平井正志, 他2名: 分割手術により左肺全摘, 気管分岐部再建を行った腺様嚢胞癌の1例. 第6回日本呼吸器外科学会総会, (1989.5)

石部裕一, 榎田高士, 塩川泰啓, 泉 貴文, 中村正人, 末包慶太: シンポジウム—肺内水分量 熱—ナトリウム二重指示薬希釈法による肺内水分量測定の精度. 第16回日本集中治療医学会総会, (1989.6)

吉田 仁, 田中嘉人, 平林正孝, 中川正清, 川上賢三, 福永隆文, 三嶋理晃, 佐藤公彦, 久野健志, 佐川弥之助: Radionuclide first pass technique を用いた肺循環時間の垂直分布の検討. 第1回肺循環研究会, (1989.6)

田中嘉人, 吉田 仁, 平林正孝, 中川正清, 岡村明治: Lymphomatoid granulomatosis の1例. 第33回日本胸部疾患学会近畿地方会, (1989.6)

水谷 哲, 鍵岡 均, 服部 登, 北 英夫, 藤田正憲: 経過中多房性空洞形成をきたしたマイコプラズマ肺炎の1例. 第33回日本胸部疾患学会近畿地方会, (1989.6)

児島成之, 栗山隆信, 福田泰樹, 浦野 透, 岩垣明隆, 山田勝彦, 榎野茂樹, 河合正行, 関 庚燁, 大澤仲昭: 顎下腺腫脹を伴い, 臨床上 Pseudolymphoma が疑われた肺癌の1例. 第33回日本胸部疾患学会近畿地方会, (1989.6)

田中 茂, 巖西真規, 川添隆司, 梅宮正志, 水野 浩, 藤村直樹, 加藤幹夫, 日置辰一郎: 縦隔腫瘍を疑い, 開胸術にて心膜嚢胞と診断された1例. 第33回日本胸部疾患学会近畿地方会, (1989.6)

西川忠男, 安田隆三郎, 他2名: 胸壁原発の悪性線維性組織球腫の1例. 第32回日本胸部外科学会関西地方会, (1989.6)

杉田隆彰, 安田隆三郎, 西川忠男, 他1名: Shuford 3型右側大動脈弓に発症した解離性大動脈瘤破裂の1治験例. 第32回日本胸部外科学会関西地方会, (1989.6)

麻柄達夫, 安田隆三郎, 西川忠男, 他1名: AC バイパス術後に ARDS 様症状を呈し救命し得た1症例. 第32回日本胸部外科学会関西地方会, (1989.6)

麻柄達夫, 安田隆三郎, 西川忠男, 他2名: 頻拍発作時に副伝導路の有効不応期が短縮した WPW 症候群の1症例. 第67回日本循環器学会近畿地方会, (1989.6)

杉田隆彰, 安田隆三郎, 西川忠男, 他1名: 当院における腹部大動脈瘤手術症例の検討. 第19回日本心臓血管外科学会総会, (1989.6)

水谷 哲, 鍵岡 均, 服部 登, 北 英夫, 藤田正憲: Relapsing Polychondritis を伴った Wegener's granulomatosis の1例. 第128回日本内科学会近畿地方会, (1989.6)

橋本重樹, 岩垣明隆, 山田勝彦, 浦野 透, 榎野茂樹, 河合正行, 福田泰樹, 栗山隆信, 関 庚燁, 山本隆一: 肉眼的血尿で受診し胸部X線写真にて容量減少を伴うびまん性陰影を呈した1例. 第45回びまん性肺疾患研究会, (1989.6)

平林正孝, 田中嘉人, 吉田 仁, 中川正清: 弗化ピリミジン系抗癌剤内服投与単独療法症例に関する検討. 第51回日本肺癌学会関西支部会, (1989.7)

浦野 透, 関 庚燁, 福田泰樹, 岩垣明隆, 山田勝彦, 榎野茂樹, 河合正行, 栗山隆信, 大澤仲昭, 辻 宏明, 横山和敏, 武内敦郎, 山本隆一, 中田勝次: 隣接して存在する肺癌病巣と肺結核病巣との立体的位置関係. 第51回日本肺癌学会関西支部会, (1989.7)

岡村明治, 井上 昇, 田中嘉人, 吉田 仁, 平林正孝, 中川正清: Ig κ , μ の monoclonality を示した Lymphomatoid granulomatosis の1生検例. 第51回日本肺癌学会関西支部会, (1989.7)

西川忠男, 安田隆三郎, 他2名: 当院における破裂性胸部大動脈瘤症例の検討. 第19回近畿心臓外科研究会, (1989.7)

麻柄達夫, 安田隆三郎, 西川忠男: 当院における気管・気管支形成術の経験. 滋賀県外科医会, (1989.7)

麻柄達夫, 安田隆三郎, 西川忠男, 他1名: 右心型 WPW 症候群に対する HPM 7100 を用いた心表面マッピングと副伝導路切断術の経験. 第3回滋賀不整脈研究会, (1989.7)

西森 章, 榎田高士, 石部裕一, 末包慶太: カプノグラムが有用であった麻酔中の高炭酸ガス血症. 第35回日

本麻酔学会関西地方会, (1989.7)

加藤幹夫: 酸塩基調節. 第29回臨床肺機能講習会, (1989.8)

加藤幹夫: 肺循環. 第29回臨床肺機能講習会, (1989.8)

巖西真樹, 藤村直樹, 阪本勝彦, 田中 茂, 美崎幸平, 加藤幹夫, 日置辰一郎: 収縮性心内膜炎の1例. 第129回日本内科学会近畿地方会, (1989.9)

後藤 功, 細川 洋, 中山康弘, 福本敦子, 福岡淳一, 岩垣明隆, 山田勝彦, 浦野 透, 槇野茂樹, 河合正行, 福田泰樹, 栗山隆信, 関 庚煒, 山本隆一: 一旦, 自然軽快傾向を示しながら開胸肺生検後増悪し死亡したびまん性肺炎患の1例. 第46回びまん性肺疾患研究会, (1989.9)

前川豊行, 坪井知正, 鎌苅邦彦, 福田正悟, 土肥佳郎: 臨床的に診断が困難であった肺結核症の1例. (1989.9)

市谷迪雄, 弘野慶次郎, 坪井裕志, 渡辺裕介: 巨大ブラのCTによる計測と $FRC_{\text{Box}}-FRC_{\text{He}}$ との関係. 第42回日本胸部外科学会総会, (1989.10)

吉田 仁, 田中嘉人, 平林正孝, 中川正清, 川上賢三, 三嶋理晃, 久野健志: Radionuclide first pass techniqueを用いた肺循環時間の垂直分布の検討. 第26回日本臨床生理学会総会, (1989.10)

西川忠男, 安田隆三郎, 他2名: 胸部大動脈瘤破裂の検討. 第10回滋賀救急医療研究会, (1989.10)

西川忠男, 安田隆三郎, 他2名: 悪性胸膜中皮腫の2例. 第34回滋賀呼吸器疾患談話会, (1989.10)

市谷迪雄, 弘野慶次郎, 坪井裕志, 渡辺裕介, 川勝 昇, 小浜善治: CTによる巨大ブラの大きさの測定とその意味. 第25回日本赤十字社医学会総会, (1989.10)

弘野慶次郎, 市谷迪雄, 坪井裕志, 渡辺裕介, 佐々木正人: 両側肺葉切除に対する肺機能的適応へのアプローチ. 第25回日本赤十字社医学会総会, (1989.10)

美崎幸平, 梅宮正志, 田中 茂, 巖西真規, 阪本勝彦, 藤村直樹, 加藤幹夫, 日置辰一郎: 最近開胸された肺結核症例. 第25回日本赤十字社医学会総会, (1989.10)

田中 茂, 川添隆司, 藤村直樹, 阪本勝彦, 巖西真規, 美崎幸平, 梅宮正志, 加藤幹夫, 日置辰一郎, 北市正則, 長井苑子, 泉 孝英: 開胸肺生検にて診断されたBOOP 6例の臨床および病理学的検討. 第25回日本赤十字社医学会総会, (1989.10)

加藤幹夫: 呼吸器の解剖・生理・運動学, 呼吸理学療法の理論と実際に関する講習会. 大阪府理学療法士会, (1989.10)

加藤幹夫: 術前術後の呼吸管理, 呼吸理学療法の理論と実際に関する講習会. 大阪府理学療法士会, (1989.10)

加藤幹夫: 急性期呼吸管理, 呼吸理学療法の理論と実際に関する講習会. 大阪府理学療法士会, (1989.10)

前川豊行, 宮原 亮, 坪井知正, 鎌苅邦彦, 福田正悟, 土肥佳郎: 胸部X線上移動する浸潤陰影を呈した1症例の臨床および病理学的検討. 第179回大津赤十字病院院内集談会, (1989.10)

宮原 亮, 坪井知正, 前川豊行, 鎌苅邦彦, 福田正悟, 土肥佳郎: 外傷性左横隔膜破裂を疑わせた横隔膜弛緩症の1例. 第10回滋賀救急医療研究会, (1989.10)

福井基成, 酒井直樹, 川上賢三, 佐川弥之助: 吸入麻酔薬および静脈麻酔薬を要した気管支喘息重積発作の1例. 第10回滋賀救急医療研究会, (1989.10)

前川豊行, 宮原 亮, 坪井知正, 鎌苅邦彦, 福田正悟, 土肥佳郎: 胸部X線上移動する浸潤陰影を呈した1症例の臨床および病理学的検討. 第35回滋賀呼吸器疾患談話会, (1989.10)

平林正孝, 田中嘉人, 吉田 仁, 中川正清: 非切除非小細胞肺癌症例における, 無治療群, 放射線治療施行群, 全身化学療法施行群の比較. 第33回日本肺癌学会総会, (1989.11)

北 英夫, 榎藤 純, 湯浅文雄, 服部 登, 鍵岡 均, 水谷 哲, 藤田正憲, 大林 正: 二次性肺胞蛋白症および全身性アルペルギルス感染症を認めたALLの1剖検例. 第130回日本内科学会近畿地方会, (1989.11)

阪本勝彦, 梅宮正志, 巖西真規, 田中 茂, 美崎幸平, 藤村直樹, 加藤幹夫, 日置辰一郎, 福田春樹, 森 浩志: 肺出血, 急性腎不全急性増悪を呈した結節性動脈炎(PN) 62歳女性1剖検例. 第130回日本内科学会近畿地方会, (1989.11)

田中嘉人, 吉田 仁, 平林正孝, 中川正清: 在宅酸素療法において右心カテーテル検査が有用であった症例についての検討. 第1回兵庫県呼吸不全懇話会, (1989.11)

佐本昌平, 来嶋安子, 山本昭郎, 宮岡博之, 藤本真次, 石橋 修: 京都の建築労働者におけるアスベスト検診. 第29回近畿産業衛生学会, (1989.11)

麻柄達夫, 安田隆三郎, 西川忠男, 他1名: PTAV 後に AVR を施行した2症例. 第28回滋賀循環器疾患研究会, (1989.11)

勝山和彦, 安田隆三郎, 西川忠男, 他1名: 悪性腫瘍合併例における大動脈弁置換術の3例. 第146回近畿外科学会, (1989.11)

有光正史, 宇野洋史, 土屋実佳, 辻村謙二, 西森 章, 福喜多邦夫, 塩川泰啓, 石部裕一, 末包慶太: ミダゾラム注腸による小児前投薬. 第9回日本臨床麻酔学会, (1989.11)

西川忠男, 安田隆三郎, 他2名: 鎖骨下動脈瘤の1例. 第146回近畿外科学会, (1989.12)

水谷 哲, 鍵岡 均, 北 英夫, 藤田正憲: ステロイド抵抗性気管支喘息にカポシ肉腫の発症を伴った1例. 第34回日本胸部疾患学会近畿地方会, (1989.12)

前川豊行, 宮原 亮, 坪井知正, 鎌苅邦彦, 福田正悟, 土肥佳郎: 興味ある経過を呈したマイコプラズマ肺炎の1例. (1989.12)

田中 茂, 川添隆司, 藤村直樹, 阪本勝彦, 巖西真規, 美崎幸平, 梅宮正志, 加藤幹夫, 日置辰一郎, 北市正則, 長井苑子, 泉 孝英: 当院における最近5年間の開胸肺生検例の検討. 第34回日本胸部疾患学会近畿地方会, (1989.12)

麻柄達夫, 安田隆三郎, 西川忠男, 他1名: Mycotic Aortic Aneurysm をともなう大動脈弁閉鎖不全症の1治療例. 第68回日本循環器病学会近畿地方会, (1989.12)

勝山和彦, 安田隆三郎, 西川忠男, 他1名: 大動脈弁置換術後に発生した偽性上行大動脈瘤の1治療例. 滋賀県外科医会, (1989.12)

鎌苅邦彦, 宮原 亮, 坪井知正, 前川豊行, 福田正悟, 土肥佳郎: 慢性呼吸器感染症に対する CRMN の使用経験. 滋賀感染症懇話会, (1989.12)

Shiokawa, Y., Ishibe, Y., Izumi, T., Umeda, T., Nakamura, M., Suekane, K.: Lung water measurement with the thermal-sodium double indicator dilution method, The 5th world congress on intensive & critical care medicine, (1989. 9)

岡村明治, 井上 昇, 田中嘉人, 吉田 仁, 平林正孝, 中川正清: 肺の Mikulicz 病の1手術例. 第52回日本肺癌学会関西支部会, (1990.2)

渡辺裕介, 弘野慶次郎, 坪井裕志, 中出雅治, 市谷迪雄, 佐々木正道, 上田龍三: 胸腺 atypical carcinoid の1例. 第52回日本肺癌学会関西支部会, (1990.2)

島田一恵: 老人と肺炎. 第1回高年者における呼吸器疾患をめぐる研究会, (1990.3)

中川正清: 閉塞性肺炎患について. 北部兵庫県医師会における講演, (1990.3)

〔誌 上 発 表〕

弘野慶次郎, 市谷迪雄, 坪井裕志, 渡辺裕介, 平井豊博, 越智宏暢, 波多 信, 寺川和彦, 久野健志: 講座 画像診断 術後残存肺機能の核医学的予測. 呼吸, 8(7): 725-731, 1989.

石部裕一, 中村正人, 榎田高士, 泉 貴文, 塩川泰啓, 末包慶太: プロスタサイクリン (PGI₂) の低酸素性肺血管収縮反応への作用. 麻酔, 38: 1619-1626, 1989.

山本五十年, 沢田祐介, 上山昌史, 広兼民徳, 佐藤光晴, 石部裕一, 大野浩平, 吉満敏明: パラコート中毒における肺水腫形成機序. 呼吸と循環, 35: 517-522, 1989.

山本五十年, 沢田祐介, 有嶋拓郎, 上山昌士, 堀 晃, 石部裕一, 大野浩平, 杉山吉彦: 熱 Na 二重指示薬希釈法による肺水腫モニタリングの再現性と侵襲性. 救急医学, 13: 709-710, 1989.

杉田隆彰, 安田隆三郎, 西川忠男, 麻柄達夫: 当院における腹部大動脈瘤手術症例の検討. 日本心臓血管外科学会誌, 19(2): 270-271, 1989.

藤田正憲, 鍵岡 均, 水谷 哲, 福井基成, 服部 登, 北 英夫: 喀痰からの臨床分離株における感受性から

みた Fluoroquinolone 剤の比較と臨床使用への考察——OFLX, ENX, NFLX 間での OFLX の有用性, 化学療法領域, 6 : 580-591, 1990.

栗山隆信, 大井元晴, 平井正志, 陳 和夫 : 原発性肺胞低換気症候群, 狭間秀文, 佐々木孝夫編 睡眠時無呼吸症候群の臨床, 星和書店, 78-84, 1990.

関 庚燁, 栗山隆信, 福田市蔵 : Sleep apnea——換気力学への新たな視点と治療法の生理学的意義——. 診断と治療, 77(11) : 2970-2987, 1989.

太田和夫 : 脊柱側彎への対応, ミネルバー書房, 1989.

Shirakawa, T., Kusaka, Y., Fujimura, N., Goto, S., Kato, M., Heki, S., Morimoto, K. : Occupational asthma from cobalt sensitivity in workers exposed to hard metal dust, Chest 95 : 29-37, 1989.

胸部外科学・補助臓器学分野

〔学 会 発 表〕

シンポジウム・特別講演

人見滋樹 : Bronchial Sleeve Resection, 第51回日本臨床外科医学会総会, シネシンポジウム (1989.10.31).

人見滋樹, 和田洋巳, 田村康一, 渡部 智, 青木 稔, 千原幸司, 神頭 徹, 水野 浩 : 肺癌の手術成績はどれほど向上したか, 第42回日本胸部外科学会総会, パネルディスカッション (1989.10.16).

人見滋樹 : 肺癌・食道癌の縦隔郭清, 第89回日本外科学会, シネシンポジウム指定発言 (1989.3.29).

人見滋樹 : 肺小細胞癌の集学療法, 第70回国際胸部医学会 (IACPS) 日本支部定期講演会 (1989.3.11).

人見滋樹 : 肺小細胞癌の Neo-adjuvant 療法, 第28回岐阜県肺癌研究会, 特別講演 (1989.7.1).

和田洋巳 : 縦隔腫瘍の術後管理, 第29回日本胸部外科学会卒後教育セミナー (1989.11).

和田洋巳, 神頭 徹, 千原幸司, 青木 稔, 田村康一, 人見滋樹 : 肺癌治療の現状と問題点 —肺小細胞癌の NeoAdjuvant 療法—, 第29回日本胸部疾患学会総会, シンポジウム (1989.4).

和田洋巳 : 臓器移植を考える, 肺移植, 第25回日本移植学会サテライト, 公開シンポジウム (1989.5).

青木 稔, 神頭 徹, 千原幸司, 田村康一, 和田洋巳, 人見滋樹 : 呼吸器外科における Nd-YAG レーザー治療例の検討, 第89回日本外科学会総会, パネルディスカッション (1989.3).

青木 稔 : 犬肺移植における肺および気管支吻合部の病理組織学的検討, 昭和63年度京都大学胸部疾患研究所学術講演会, シンポジウム (1989.1.27).

青木 稔, 高橋 豊, 田村康一, 和田洋巳, 人見滋樹, 黒住真史 : YAG レーザー治療後の気管支粘膜細胞修復過程—実験的検討—, 第30回日本臨床細胞学会総会, シンポジウム (1989.6).

和田洋巳 : 肺癌の YAG レーザー治療, 第4回東京医大レーザー研究会, 特別講演 (1989.4).

和田洋巳, 人見滋樹, 青木 稔, 渡部 智, 他 : 上大静脈症候群の静脈再建術, SVC 症候群の外科治療, 第51回日本臨床外科医学会総会, シネシンポジウム (1989.11).

千原幸司 : 呼吸機能の改善をめざす呼吸器外科, 第29回日本胸部疾患学会総会 (1989.4.7).

1. 腫 瘍

和田洋巳 : Neoadjuvant Chemotherapy (術前化学療法施行例) の化学療法前後の X線所見と切除病理の対比検討, 第15回肺癌診断会, 画像セミナー (1989.7).

田村康一, 高橋 豊, 小林 淳, 人見滋樹, 他 4 名 : 睾丸腫瘍肺・縦隔リンパ節転移10例の経験, 第6回日本呼吸器外科学会総会 (1989.5).

和田洋巳, 呉 俊雄, 高橋 豊, 小林 淳, 他 : 非小細胞癌の縦隔郭清における縦隔鏡の意義 ワークショップ (司会人見滋樹), 第30回日本肺癌学会総会 (1989.11).

和田洋巳, 寺松 孝 (西日本肺癌手術の補助化学療法研究会) : 非小細胞癌の ADJUVANT CHEMOTHER-

APYについて, ワークショップ, 第30回日本肺癌学会総会 (1989.11).

Ike, O., Hitomi, S., Wada, H., Tamura, K., Watanabe, S., Shimizu, Y.: Histopathological changes in invasive thymoma in patients surviving for more than 10 years after resection for recurrence, X V I World Congress on Disease of the Chest (1989. 11).

池 修, 人見滋樹: 過去20年間の浸潤性胸腺腫の検討, 第13回京阪神呼吸器疾患勉強会 (1989.12).

神頭 徹, 高橋 豊, 平井 隆, 長谷川誠紀, 奥村典仁, 呉 俊雄, 小林 淳, 河原崎茂孝, 水野 浩, 田村康一, 渡部 智, 和田洋巳, 人見滋樹: 肺小細胞癌の予後と再発, 第30回日本肺癌学会総会 (1989.11).

神頭 徹, 高橋 豊, 青木 稔, 和田洋巳, 佐坂徳浩, 花岡伸治, 小林 淳, 千原幸司, 田村康一, 人見滋樹: 肺小細胞癌における Adjuvant Surgery, 第89回日本外科学会総会 (1989.3).

神頭 徹, 高橋 豊, 田 大力, 美崎幸平, 小林 淳, 水野 浩, 千原幸司, 青木 稔, 田村康一, 渡部 智, 和田洋巳, 人見滋樹: Neoadjuvant chemotherapy を施行した非小細胞肺癌の8例, 第32回日本胸部外科学会関西地方会 (1989.6).

神頭 徹, 植田充弘, 磯和理貴, 李 美於, 乾 健二, 青木 稔, 光岡明夫, 和田洋巳, 人見滋樹: Neoadjuvant Chemotherapy を行った N₂小細胞癌の2例, 第50回日本肺癌学会関西地方会 (1989.2).

高橋 豊, 呉 俊雄, 長谷川誠紀, 奥村典仁, 小林 淳, 平井 隆, 河原崎茂孝, 水野 浩, 神頭 徹, 青木 稔, 田村康一, 渡部 智, 和田洋巳, 人見滋樹: Limited Surgery 7例の検討, 第30回日本肺癌学会総会 (1989.11).

高橋 豊, 高森行宏, 呉 俊雄, 長谷川誠紀, 奥村典仁, 小林 淳, 平井 隆, 水野 浩, 神頭 徹, 千原幸司, 青木 稔, 田村康一, 渡部 智, 和田洋巳, 人見滋樹: N₂小細胞癌手術例(いわゆる Neo-adjuvant Therapy)の検討, 第42回日本胸部外科学会総会 (1989.10).

高橋 豊, 高森行宏, 呉 俊雄, 長谷川誠紀, 奥村典仁, 小林 淳, 平井 隆, 水野 浩, 神頭 徹, 千原幸司, 青木 稔, 田村康一, 渡部 智, 和田洋巳, 人見滋樹: Neo-adjuvant Therapy を施行した大細胞癌の1例, 第51回日本肺癌学会関西支部会 (1989.7).

高橋 豊, 佐坂徳浩, 花岡伸治, 小林 淳, 神頭 徹, 千原幸司, 中村達雄, 青木 稔, 田村康一, 渡部 智, 和田洋巳, 人見滋樹: 重症筋無力症と肺小細胞癌を合併した一例, 第50回日本肺癌学会関西支部会 (1989.2).

小林 淳, 奥村典仁, 長谷川誠紀, 呉 俊雄, 平井 隆, 河原崎茂孝, 乾 健二, 水野 浩, 神頭 徹, 渡部 智, 田村康一, 和田洋巳, 人見滋樹: 放射線治療によって切除可能となった肺癌の1例, 第124回近畿外科学会 (1989.12).

小林 淳, 高森行宏, 呉 俊雄, 長谷川誠紀, 平井 隆, 高橋 豊, 田 大力, 水野 浩, 神頭 徹, 千原幸司, 青木 稔, 田村康一, 和田洋巳, 人見滋樹, 三宅淳史, 渡部 智, 清水慶彦: 局所の脈管系を経て同一肺葉内に転移したと考えられた肺腺癌の一切除例, 第51回日本肺癌学会関西支部会 (1989.7).

小林 淳, 高橋 豊, 田 大力, 美崎幸平, 水野 浩, 神頭 徹, 千原幸司, 青木 稔, 田村康一, 和田洋巳, 人見滋樹, 渡部 智, 清水慶彦: 肺癌中葉切除例7例の検討, 第32回日本胸部外科学会関西地方会 (1989.6).

小林 淳, 高橋 豊, 美崎幸平, 水野 浩, 神頭 徹, 千原幸司, 青木 稔, 田村康一, 渡部 智, 和田洋巳, 人見滋樹, 山本泰三: 胸腺腫摘除術後10年目に重症筋無力症を発症し拡大胸腺摘除術を施行した1例 (インシュリン依存性糖尿病合併), 第8回胸腺研究会 (1989.5).

小林 淳, 佐坂徳浩, 花岡伸治, 高橋 豊, 中村達夫, 神頭 徹, 千原幸司, 青木 稔, 田村康一, 和田洋巳, 人見滋樹, 渡部 智, 清水慶彦: 最近経験した末梢型カルチノイドの3例, 第50回日本肺癌学会関西支部会 (1989.2).

平井 隆, 長谷川誠紀, 呉 俊雄, 奥村典仁, 高橋 豊, 小林 淳, 河原崎茂孝, 水野 浩, 神頭 徹, 青木 稔, 渡部 智, 田村康一, 和田洋巳, 人見滋樹: 浸潤影を呈した細気管支肺胞上皮癌の検討, 第30回日本肺癌学会総会 (1989.11).

川島正裕, 乾 健二, 田中 亨, 河原崎茂孝, 水野 浩, 神頭 徹, 田村康一, 渡部 智, 和田洋巳, 人見滋樹: レーザー焼灼術で著明な呼吸困難の改善を得 Adenoid cystic carcinoma の1例, 第34回日本胸部疾患学会近畿地方会 (1989.12).

川島正裕, 河原崎茂孝, 乾 健二, 水野 浩, 神頭 徹, 田村康一, 渡部 智, 和田洋巳, 人見滋樹: 胸腔内

Lipoma の 1 切除例, 第34回日本胸部疾患学会近畿地方会 (1989.12).

2. 胸腺・免疫

Hitomi, S.: Tumor Markers and Treatments of Malignant Germcell Tumor, Seminar at Washington University Medical Center (1989. 7. 19).

和田洋巳: ステロイド大量投与後の胸腺摘出術. 第 8 回胸腺研究会 (1989.5).

神頭 徹, 和田洋巳, 人見滋樹, 他 7 名: Amlexanox (AA-673) の免疫学的小および非免疫学的小 Histamine もしくは Leukotriene 遊離抑制作用. 日本アレルギー学会 (1989.11).

高橋 豊, 佐坂徳浩, 神頭 徹, 小林 淳, 美崎幸平, 水野 浩, 千原幸司, 青木 稔, 田村康一, 渡部 智, 和田洋巳, 人見滋樹: 重症筋無力症を伴った浸潤性胸腺腫の 1 切除例, 第32回日本胸部外科学会関西地方会 (1989. 6).

平井 隆, 水野 浩, 美崎幸平, 長谷川誠紀, 呉 俊雄, 高橋 豊, 小林 淳, 神頭 徹, 千原幸司, 青木 稔, 渡部 智, 田村康一, 和田洋巳, 人見滋樹, 伊藤元彦, 加藤幹夫: 組織診断の困難であった悪性縦隔腫瘍の 1 例, 第51回日本肺癌学会関西支部会 (1989.7).

3. 結 核

Watanabe, S., Aoki, M., Chihara, K., Tamura, K., Wada, H., Shimizu, Y. and Hitomi, S.: Successful closure of postoperative bronchopleural fistulas with omental pedicle flaps — Measurement of blood flow in the flaps and the closed bronchial mucosa, X V I World Congress on Diseases of the Chest and the 55th Annual Scientific Assembly for American College of Chest Physicians (1989. 10).

Watanabe, S., Aoki, M., Kobayashi, J., Takahashi, Y., Mizuno, H., Shindo, T., Chihara, K., Tamura, K., Wada, H., Shimizu, Y., and Hitomi, S.: Successful closure of postoperative bronchopleural fistulas with omental pedicle flaps — Measurement of blood flow in the flaps and the closed bronchial mucosae, The 6th World Congress for Bronchology (1989. 10).

高橋 豊, 小林 淳, 神頭 徹, 千原幸司, 青木 稔, 田村康一, 渡部 智, 和田洋巳, 人見滋樹: 気管支結核の外科的治療の検討, 第64回日本結核学会総会 (1989.3).

高橋 豊, 水野 浩, 呉 俊雄, 小林 淳, 乾 健二, 河原崎茂孝, 神頭 徹, 田村康一, 渡部 智, 和田洋巳, 人見滋樹: 多発性骨転移を伴った肺癌を疑い, 生検にて結核症と判明した 1 例. 第34回日本胸部疾患学会近畿地方会 (1989.12).

Hirai, T., Takahashi, Y., Mizuno, H., Sindo, T., Chihara, K., Aoki, M., Tamura, K., Watanabe, S., Wada, H., Hitomi, S.: Clinical study of bronchial tuberculosis, The 6th World Congress for Bronchology (1989. 10).

平井 隆, 高橋 豊, 水野 浩, 神頭 徹, 千原幸司, 青木 稔, 田村康一, 渡部 智, 和田洋巳, 人見滋樹: 気管支結核症に対する外科療法. 第12回日本気管支学会総会 (1989.7).

平井 隆, 高森行宏, 奥村典仁, 長谷川誠紀, 呉 俊雄, 小林 淳, 高橋 豊, 水野 浩, 神頭 徹, 千原幸司, 青木 稔, 渡部 智, 田村康一, 和田洋巳, 人見滋樹: 長期間無症状で経過した後, 胸壁膿瘍を形成した結核性膿胸の 1 例, 第33回日本胸部疾患学会近畿地方会 (1989.6).

4. 人工材料

田村康一, 河原崎茂孝, 水野 浩, 人見滋樹, 夏目 徹, 奥村典仁, 池 修, 清水慶彦: 静脈用人工血管の開発 — ヘパリン化 polyurethane の応用, 第27回日本人工臓器学会大会 (1989.9).

Tamura, K., Kawarasaki, S., Ike, O., Hitomi, S., Isobe, J., Shimizu, Y.: Medical Application of Elastic Pva hydrogel for Implantable Material, VII th World Congress of the International Society for Artifical Organs (ISAO)(1989. 10).

渡部 智, 中村達雄, 清水慶彦, 玄 丞然, 筏 義人, 千原幸司, 和田洋巳, 人見滋樹: アルミナセラミック及び生体内呼吸性ポリラクタイド肋骨接合ピンの臨床的検討, 第6回日本呼吸器外科学会総会 (1989.5).

Watanabe, S., Nakamura, T., Chihara, K., Wada, H., Shimizu, Y., Hitomi, S., Hyon, S.-H., and Ikada, Y.: Fixation of fractured ribs with alumina ceramic pins and polylactide pins, X V I World Congress on Diseases of the Chest and the 55th Annual Scientific Assembly for American College of Chest Physicians (1989. 10).

Watanabe, S., Nakamura, T., Chihara, K., Wada, H., Shimizu, Y., Hitomi, S., Hyon, S.-H., and Ikada, Y.: Clinical studies on fixation of fractured ribs with alumina ceramic pins and polylactide pins, V I I th World Congress of the International Society for Artificial Organs (1989. 10).

渡部 智, 中村達雄, 清水慶彦, 玄 丞然, 敷波保夫, 筏 義人, 水野 浩, 神頭 徹, 千原幸司, 青木 稔, 田村康一, 和田洋巳, 人見滋樹: 肋骨接合ピンの臨床的検討—アルミナセラミックピンと生体内吸収性ポリラクタイドピンについて, 第42回日本胸部外科学会総会 (1989.10).

小林 淳, 高森行宏, 呉 俊雄, 長谷川誠紀, 平井 隆, 高橋 豊, 田 大力, 水野 浩, 神頭 徹, 千原幸司, 青木 稔, 田村康一, 和田洋巳, 人見滋樹, 中村達雄, 渡部 智, 清水慶彦: 生体内吸収性プレジエットを用いた肺縫縮術, 第36回気胸研究会 (1989.5.27).

小林 淳, 高森行宏, 呉 俊雄, 長谷川誠紀, 平井 隆, 高橋 豊, 田 大力, 水野 浩, 神頭 徹, 千原幸司, 青木 稔, 田村康一, 和田洋巳, 人見滋樹, 中村達夫, 渡部 智, 清水慶彦: 生体中吸収性プレジエットを用いた肺縫縮術, 気胸研究会 (1989.5).

Ike, O., Hitomi, S., Natsume, T., Wada, R., Nakamura, T., Watanabe, S., Hyon, S.-H., Ikada, Y., Shimizu, Y.: Clinical study of adriamycin-containing poly (L-lactic acid) microspheres administered into the pleural cavity of patients with pleuritis carcinomatosa, 8th European Conference on Biomaterials (1989. 9).

池 修, 人見滋樹, 夏目 徹, 和田良一, 渡部 智, 玄 丞然, 筏 義人, 清水慶彦: ポリ乳酸を用いたアドリアマイシンおよびシスプラチン徐放剤の検討—癌性胸膜炎患者に対する臨床使用例—, 第27回日本癌治療学会総会 (1989.10).

Ike, O., Shimizu, Y., Natsume, T., Wada, R., Watanabe, S., Hyon, S.-H., Ikada, Y., Hitomi, S.: Clinical administration of adriamycin containing poly (L-lactic acid) microspheres for pleuritis carcinomatosa, X V I World Congress on Disease of the Chest (1989. 11).

池 修, 清水慶彦, 人見滋樹, 和田良一, 夏目 徹, 渡部 智, 玄 丞然, 筏 義人: 癌性胸膜炎患者に対するアドリアマイシン・ポリL乳酸マイクロスフェアの使用, 第30回日本肺癌学会総会 (1989.11).

池 修, 人見滋樹: 癌性胸膜炎患者に対するアドリアマイシン含有ポリL乳酸マイクロスフェアの使用, 第37回日本化学療法学会西日本支部総会 (1989.12).

5. 移 植

平井 隆, 李 民実, 長谷川誠紀, 乾 健二, 山崎文郎, 神頭 徹, 青木 稔, 和田洋巳, 人見滋樹: 犬同種肺移植における FK-506 の免疫抑制効果 (第2報), 第25回日本移植学会総会 (1989.9).

Yokomise, H., Cardoso, P. F. G., Kato, H., Keshavjee, S. H., Slutsky, A. S., Patterson, G. A.: Laser Doppler velocimetry measurement of retrograde bronchial mucosal blood flow. 1989 Annual Meeting of American Thoracic Society (1989. 5)

6. 一般的胸部疾患

人見滋樹: 肺外科と呼吸器感染症, 第10回胸部疾患セミナー, 日本胸部疾患学会主催 (1989.4.8).

Hitomi, S: Our Results of Tracheobronchial Surgery in Kyoto University, Seminar at Harvard Medical School, Massachusetts General Hospital (1989. 7. 25).

千原幸司, 青木 稔, 人見滋樹, 他12名: 膠原病症例における肺病変の開胸肺生検, 第30回日本胸部疾患学会

総会 (1989.4.6).

和田洋巳：胸部疾患のX線診断—肺結核と肺癌の鑑別を中心として、舞鶴医師会 (1989.3).

田村康一，花岡伸治，高橋 豊，小林 淳，水野 浩，神頭 徹，千原幸司，青木 稔，和田洋巳，人見滋樹，渡部 智，清水慶彦：気管支形成術，第6回日本呼吸器外科学会総会 (1989.5).

田村康一，小林 淳，高橋 豊，水野 浩，神頭 徹，千原幸司，青木 稔，和田洋巳，人見滋樹：Nd-YAGレーザー焼灼中の出血予防の一工夫，第12回日本気管支学会総会 (1989.7).

Tamura, K, Mizuno, H, Shindo, T, Chihara, K, Aoki, M, Wada, H, Hitomi, H, Watanabe, S, Shimizu, Y : The Treatment of Tracheobronchial Lesions by Endoscopic Laser Resection, The 6th World Congress for Bronchology (WCB)(1989. 10).

田村康一，小林 淳，高橋 豊，池 修，五十部潤，水野 浩，神頭 徹，千原幸司，青木 稔，和田洋巳，人見滋樹：気管支形成術，第12回日本気管支学会総会 (1989.7).

池 修，人見滋樹，伊藤元彦，和田洋巳，田村康一，渡部 智，清水慶彦：開胸術に伴う血液凝固第XIII因子の検討，第6回日本呼吸器外科学会総会 (1989.5).

松倉 規，水野 浩，高橋 豊，神頭 徹，河原崎茂孝，乾 健二，渡部 智，田村康一，和田洋巳，人見滋樹：2才の女兒に発症したMRSAによる膿胸の1例，第34回日本胸部疾患学会近畿地方会 (1989.12).

田 大力，千原幸司，佐坂徳浩，花岡伸治，小林 淳，高橋 豊，中村達雄，美崎幸平，水野 浩，神頭 徹，青木 稔，渡部 智，田村康一，和田洋巳，人見滋樹，他1名：有茎性大網被覆による右肺全摘術後気管支断端瘻の一治験例，第32回日本胸部外科学会関西地方会 (1988.10.).

Shimizu, T., Mizuta, J., Ogino, K., Yamamura, H., Kohno, S., Ohata, K., Kawai, M., Shindo, T., Hitomi, S.: Effect of Amlexanox on the Release of Chemical Mediators from Human Lung Fragments and Leukocytes, 日本薬理学会総会 (1989.3).

平井 隆，坂東 徹，美崎幸平，神頭 徹，奥村典仁，長谷川誠紀，呉 俊雄，小林 淳，高橋 豊，乾 健二，河原崎茂孝，水野 浩，千原幸司，青木 稔，渡部 智，田村康一，和田洋巳，人見滋樹：肺血栓症による術後早期死亡の1例，第146回近畿外科学会 (1989.12).

小林 淳，千原幸司，河原崎茂孝，寺田泰二，高橋 豊，神頭 徹，青木 稔，田村康一，和田洋巳，人見滋樹，渡部 智，清水慶彦：一側肺全摘術後の全摘胸腔内圧と換気機能の関係，第29回日本胸部疾患学会総会 (1989.4).

小林 淳，花岡伸治，高橋 豊，美崎幸平，水野 浩，神頭 徹，千原幸司，青木 稔，田村康一，和田洋巳，人見滋樹，中村達夫，渡部 智，清水慶彦，京都大学放射線科，野間恵之：胸部疾患におけるMRIの有用性について，第6回日本呼吸器外科学会総会 (1989.5).

小林 淳，高森行宏，呉 俊雄，長谷川誠紀，奥村典仁，平井 隆，高橋 豊，田 大力，水野 浩，神頭 徹，千原幸司，青木 稔，田村康一，和田洋巳，人見滋樹，京都大学胸部疾患研究所内科第二，門 政男，同医用高分子研究所実験外科，渡部 智，清水慶彦：体一肺血管短絡の1手術例，第33回日本胸部疾患学会近畿地方会 (1989.6).

Takahashi, Y, Aoki, M, Yamazaki, F, Wada, H, Hitomi, S : Repair of bronchial wall after Nd-YAG laser irradiation, The 6th World Congress for Bronchology (WCB)(1989. 10).

高橋 豊，青木 稔，山崎文郎，和田洋巳，人見滋樹：ND-YAGレーザー照射後の気管支粘膜修復過程の実験的検討，第35回三重大学胸部外科学教室研究総会 (1989.8).

高橋 豊，青木 稔，山崎文郎，和田洋巳，人見滋樹，他1名：YAGレーザー焼灼後の気管支粘膜修復過程の実験的検討，第12回日本気管支学会総会 (1989.7).

高橋 豊，青木 稔，佐坂徳浩，花岡伸治，小林 淳，水野 浩，神頭 徹，中村達雄，千原幸司，渡部 智，田村康一，和田洋巳，人見滋樹：術後乳糜胸9例の臨床的検討，第6回日本呼吸器外科学会総会 (1989.5).

高橋 豊，青木 稔，佐坂徳浩，花岡伸治，美崎幸平，小林 淳，神頭 徹，千原幸司，田村康一，和田洋巳，人見滋樹：外科療法を要した肺全摘後乳糜胸の2例，第145回近畿外科学会 (1989.4).

〔誌 上 発 表〕

1. 腫 瘍

渡部 智, 人見滋樹, 中村達雄, 五十部潤, 岡田賢二, 千原幸司, 青木 稔, 田村康一, 和田洋巳, 清水慶彦: 慢性胸膜炎, 慢性膿胸経過中に発生した胸部悪性腫瘍手術症例6例の検討, 日本胸部外科学会雑誌, 37(2): 281-286, 1989.

和田洋巳, 岡田賢二, 伊藤元彦, 人見滋樹, 高橋 豊, カレッド・レシャード, 寺田泰二, 松延政一, 高嶋義光, 松村理司, 池田貞雄, 松井輝夫, 北野司久, 小林 淳, 桑原正喜, 光岡明夫, 源河圭一郎: 原発性肺癌放射線治療時のセファランチン投与による白血球減少予防効果, 臨床と研究, 66: 2005-2010, 1989.

和田洋巳, 人見滋樹, 呉 俊雄, 高橋 豊, 神頭 徹, 平井 隆, 乾 健二, 青木 稔: 肺小細胞癌治療における外科療法の役割, 外科診療, 31(10): 1465-1473, 診断と治療社 (1989).

和田洋巳, 人見滋樹, 呉 俊雄, 高橋 豊, 神頭 徹, 平井 隆, 乾 健二, 青木 稔: 肺癌治療の現況と問題点—肺小細胞癌外科の立場から—ネオアジュバント療法の効果—, 癌と化学療法, 16: 2537-43, 1989.

田村康一: 転移性肺腫瘍, 生物学的性状より, 医学のあゆみ, 150(4): 259, 1989.

田村康一, 人見滋樹, 横見瀬裕保, 池 修, 千原幸司, 青木 稔, 和田洋巳, 五十部潤, 渡部 智, 清水慶彦: 転移性肺腫瘍切除例の検討, 日本呼吸器外科学会雑誌, 3(4): 387-395, 1989.

青木 稔, 人見滋樹, 和田洋巳, 池 修: 上大静脈症候群とその治療, 外科, 51(6): 568-573, 1989.

神頭 徹, 和田洋巳, 人見滋樹: 肺癌における Adjuvant surgery, 臨床胸部外科, 9: 35-39, 1989.

池 修: 制癌法—この1年の進歩, 人工臓器, 18(6): 1605-1606, 1989.

青木 稔, 和田洋巳, 人見滋樹, 田村康一, 千原幸司, 神頭 徹: 呼吸器外科における Nd-YAG レーザー治療例の検討, 日本外科学会雑誌, 90: 296-298, 1989.

和田洋巳, 人見滋樹, 呉 俊雄, 高橋 豊, 神頭 徹, 平井 隆, 乾 健二, 青木 稔: 肺小細胞癌治療における外科療法の役割, 外科診療, 31: 1465-73, 1989.

和田洋巳, 人見滋樹: 肺癌の Nd-YAG レーザー治療, 日本気管食道学会会報, 40: 122-125, 1989.

青田正樹, 中山正吾, 神野君夫, 大頭信義, 桂 栄孝, 和田洋巳: 孤立性気管支乳頭腫の1例, 日本胸部外科学会雑誌, 36: 1194-1199, 1989.

和田洋巳, 池 修, 神頭 徹, 千原幸司, 青木 稔, 田村康一, 渡部 智, 人見滋樹: 浸潤性胸腺腫と悪性奇形腫の治療の工夫, 日本胸部外科学会雑誌, 37: 975-976, 1989.

池 修, 人見滋樹, 田中文啓, 田村康一, 和田洋巳, 他1名: 椎弓切除により摘出した椎管孔内神経鞘腫の1例, 日本呼吸器外科学会誌, 3(5): 560-565, 1989.

光岡明夫, 人見滋樹, 伊藤元彦, 和田洋巳, 田村康一, 瀧 俊彦, 田中龍蔵: 縦隔腫瘍のCT所見—手術症例105例の検討, 日本呼吸器外科学会誌, 3(1): 63-71, 1989.

2. 結 核

和田洋巳, 千原幸司, 青木 稔, 田村康一, 人見滋樹: 有癭性膿胸の問題点, 京都大学胸部疾患研究所紀要, 21: 33-36, 1989.

水野 浩, 人見滋樹: 結核治療における外科療法の現状, Pharma Medica, 7(10): 83-88, メディカルレビュー社 (1989).

3. 人 工 材 料

Watanabe, S., Nakamura, T., Shimizu, Y., Hitomi, S., Ikada, Y.: Traumatic sternal segment dislocation in a child, Chest, 96(3): 684-686, 1989.

田村康一, 河原崎茂孝, 池 修, 人見滋樹, 五十部潤, 水野 浩, 清水慶彦, 他3名: ヘパリン化 polyurethane

の静脈用人工血管への応用に関する基礎的研究, 人工臓器, 18(1): 208~211, 1989.

田村康一, 河原崎茂孝: 人工血管とその利用. 薬局, 40(3): 971~975, 1989.

田村康一: 癒着防止膜——高含水 PVA 弾性体の応用, その基礎的検討——. 日本石油(株)研究費報告書, 1~18, 1989.

池 修, 人見滋樹, 田村康一, 和田洋巳, 渡部 智, 清水慶彦: シリコンコーティング特殊塩化ビニル系エラストマー・ドレーンを用いた胸腔ドレナージの検討, 日本呼吸器外科学会雑誌, 3(1): 72-79, 1989.

4. 移 植

人見滋樹: シンポジウム「肺移植の臨床への道」司会のことば, 京都大学胸部疾患研究所紀要, 22(1・2): 35~36, 1989.

人見滋樹, 他 1 名: 呼吸機能の改善をめざす呼吸器外科, 司会のことば, 日本胸部疾患学会誌, 27(5): 104, 1989.

青木 稔, 人見滋樹, 和田洋巳, 乾 健二, 山崎文郎, 横見瀬裕保, 李 民実, 平井 隆, 長谷川誠紀: 犬同種肺移植における FK-506 の免疫抑制効果—病理組織学的検討を中心に—, 京大胸部研紀要, 22(1・2): 65-72, 1989.

和田洋巳: 最長 5 年を超えた肺移植の現況, Modern Medicine, 18: 54-55, 1989.

和田洋巳, 人見滋樹: 肺移植の世界の現況と臨床応用, プレンナーシング, 5: 51-55, 1989.

和田洋巳: 学会レポート—前向きに検討された肺移植—, Modern Medicine, 8: 151, 1989.

和田洋巳: 世界の肺移植の現況, 日本医事新報, 3393: 129, 1989.

Yokomise, H., Wada, H., Inui, k., Yamazaki, F., Lee, M., Aoki, M., Hitomi, S.: Application of Laser Doppler Velocimetry to Lung Transplantation, Transplantation, 48: 550-554, 1989.

Yamazaki, F., Wada, H., Aoki, M., Inui, k., Hitomi, S.: An Evaluation of the Tolerance of the Autotransplanted Canine Lung against Warm Ischemia, Jap. J. Surg. 19: 326-333, 1989.

5. 一般的胸部疾患

青木 稔, 人見滋樹, 和田洋巳, 田村康一, 千原幸司, 神頭 徹: 呼吸器外科における Nd-YAG レーザー治療例の検討. 日本外科学会雑誌, 90(9): 1582-1584, 1989.

千原幸司, 人見滋樹: 巨大気腫性肺嚢胞症の病型分類と肺機能 1~横隔膜・胸郭運動からみた検討~, 日本呼吸器外科学会雑誌, 3(5): 511~523, 1989.

千原幸司, 人見滋樹: 巨大気腫性肺嚢胞症の病型分類と肺機能 2~横隔膜の運動とブラの膨張・収縮(運動)からみた検討~, 日本呼吸器外科学会雑誌, 3(5): 524~535, 1989.

人見滋樹, 千原幸司, 河原崎茂孝, 小林 淳, 清水慶彦, 他 1 名: 肺切除後の右心補助. 胸部外科, 1989, 42(8): 701~707, 南江堂 (1989).

〔著 書〕

人見滋樹, 光岡明夫: 肺・縦隔, 正常の構造と機能, 外科学, 221~223, へるす出版 (1989).

人見滋樹, 千原幸司, 河原崎茂孝, 清水慶彦: 携帯用陰圧式人工呼吸器の開発, 昭和63年度科学研究費補助金(試験研究 1) 研究成果報告書, 課題番号61870055 (1989.3).

野間恵之, 南 俊介, 左合 直, 柴田登志也, 山下敬司, 藤澤一朗, 中野善久, 人見滋樹, 他 3 名: 胸部疾患における MRI の有用性の検討, 臨床放射線, 34(1), 金原出版 (1989).

胸部外科学分野関連施設

〔学 会 発 表〕

シンポジウム・特別講演

清水慶彦：胸部外科と人工臓器，第1回静岡県呼吸器外科医会招請講演（1989.1.14）。

清水慶彦：医用材料の現状と将来，日本材料学会特別講演（1989.1.13）。

Shimizu, Y.: Airway and Biomaterials, Special Lecture, The 6th World Congress for Bronchology (1989. 10. 22).

伊藤元彦：胸腺と胸腺発生腫瘍，第3回冬期札幌がんセミナー（1989. 2）。

Ito, M.: Immunology and Biology of Thymic Tumors. Plenary Lecture, 11th Asian Pacific Congress on Diseases of the Chest (1989. 11).

伊藤元彦：縦隔胚細胞性腫瘍の基礎と臨床，第6回日本呼吸器外科学会総会，シンポジウム司会（1989. 5）。

伊藤元彦，藤村重文，門田康正，渡辺洋子，清水信義，広野達彦，井内敬二，坪田紀明，正岡 昭：胸腺の外科—いわゆる“post-thymectomy” myasthenia gravisを中心に，第42回日本胸部外科学会総会シンポジウム，胸腺の外科（1989.10）。

松原義人，塩田哲広，池田貞雄：最近開発された腫瘍マーカーの測定法と臨床的意義，呼吸器マーカー，第29回日本核医学会総会，シンポジウム（1989.10）。

加藤弘文，Alex G. Patterson：肺移植の臨床と問題点，シンポジウム，わが国における肺移植の現状とその実現にむけての問題点 第6回日本呼吸器外科学会総会（1989.5.26.）。

岡田慶夫，張 林：肺の線維化に伴う上皮細胞の化生とこれに関連すると思われる肺癌の発生について，シンポジウム 第30回日本肺癌学会総会（1989.11.10.）。

島本光臣，篠崎 拓，上野陽一郎，吉谷 信，大久保憲一，井上孝史，植田充宏，秋山文弥：シネシンポジウム急性A型解離に対する人工血管置換術の工夫～上行弓部解離口を切除する症例～第19回日本心臓血管外科学会総会（1989.6）。

Okada, Y.: Clinical problems relating to the pulmonary lymphatic system. Colloquia, Distinguished Professor Awardee, XVI World Congress on Diseases of the Chest (1989.10.31 Boston).

岡田慶夫：胸部のリンパ系と呼吸器外科，会長講演，第6回日本呼吸器外科学会総会（1989.5.26.）。

池田貞雄，小鯖 寛，松原義人：Prosthetic reconstruction of trachea-experimental study-, The 6th World Congress for Bronchology, シンポジウム（1989.10）。

桑原正喜，倉田昌彦：私の見つけた治った肺癌，第29回大阪から肺がんをなくす会シンポジウム（1989.2）。

桑原正喜：進行肺癌の診断，外科治療と予後，第31回大阪から肺がんをなくす会シンポジウム（1989.10）。

光岡明夫：縦隔悪性胚細胞性腫瘍の腫瘍マーカー（縦隔胚細胞性腫瘍の基礎と臨床），第6回日本呼吸器外科学会，シンポジウム（1989.5）。

1. 腫 瘍

平井 隆，安倍隆二，伊藤元彦，玉井 直：術中にポリープ状腫瘍の一部が脱落し，健側気管支を閉塞した肺腫瘍の1例，第145回近畿外科学会（1989.4）。

平井 隆，伊藤元彦，安倍隆二，斎田恭子：重症筋無力症をともなった小型胸腺脂肪腫の1例，第50回日本肺癌学会関西支部会（1989.2）。

平井 隆，伊藤元彦，安倍隆二，内藤嘉之，榎泰二郎：筋弛緩剤に対する過剰反応を契機に発見された胸腺腫の1例，第32回日本胸部外科学会関西地方会（1989.6）。

松井輝夫，黄 政龍，山下直己，辰巳明利，長崎二三夫，北野司久：気管支カルチノイド10例の臨床的検討，第32回日本胸部外科学会関西地方会（1989.6.23）。

李 民実, 李 美於, 生島宏彦, 千原幸司: 心嚢を穿破した縦隔奇形腫の一手術例, 第32回日本胸部外科学会関西地方会 (1989.6).

李 民実, 生島宏彦, 李 美於, 千原幸司: 高齢女性 (80才) 孤立性気管支扁平乳頭腫の一切除例, 第34回日本胸部疾患学会近畿地方会 (1989.12).

伊藤元彦: いわゆる “post-thymectomy” myasthenia gravis の retrospective group study, 厚生省がん研究助成金 “有森班、班会議, (1989.10).

Ito, M., Mituoka, A., Taki, T. and Miyake, A. : Classification of thymoma from the viewpoint of lymphocyte subset pattern, 16th World Congress on Diseases of the Chest (1989.11).

瀧 俊彦, 張 謙益, 岡田賢二, 竹田秋郎, 倉田昌彦: プラ肺癌の 2 例, 第50回日本肺癌学会関西支部会 (1989.2).

瀧 俊彦, 張 謙益, 岡田賢二, 竹田秋郎, 倉田昌彦: 結腸・直腸癌肺転移の外科的治療, 第 6 回日本外科学会総会 (1989.5).

岡田賢二, 倉田昌彦, 瀧 俊彦, 竹田秋郎, 張 謙益, 沢田真治, 大田満夫, 清水哲哉: 部分切除後, 放射線治療・化学療法により長期生存が得られている胸腺癌の 1 例, 第 8 回胸腺研究会 (1989.5).

張 謙益, 瀧 俊彦, 岡田賢二, 竹田秋郎, 倉田昌彦: 胃癌を合併した肺癌 4 例の経験, 第32回日本胸部外科学会関西地方会 (1989.6).

瀧 俊彦, 張 謙益, 岡田賢二, 竹田秋郎, 倉田昌彦: 乳癌肝転移に対する動注療法の経験, 第50回乳癌研究会 (1989.7).

竹田秋郎, 瀧 俊彦, 岡田賢二, 張 謙益, 倉田昌彦, 沢田真治: 肉眼的に境界鮮明であったが, 病理組織学的に悪性腫瘍と診断された胸壁腫瘍の 1 例, 第51回日本肺癌学会関西支部会 (1989.7).

Kurata M, Takeda A, Taki T, Okada K, Chan C : Metastatic modes and treatment results for breast cancer metastasis to the lungs, 16th World Congress on Disease of the Chest (1989.11).

瀧 俊彦, 張 謙益, 岡田賢二, 竹田秋郎, 倉田昌彦: III期肺癌切除例の検討 (N2生存例を中心に), 第30回日本肺癌学会総会 (1989.11).

竹田秋郎, 瀧 俊彦, 岡田賢二, 張 謙益, 倉田昌彦, 沢田真治, 大林 正: 肺原発 malignant fibrous histiocytoma の 1 例, 第146回近畿外科学会 (1989.12).

岡田賢二, 瀧 俊彦, 竹田秋郎, 張 謙益, 倉田昌彦, 片岡三郎: 乳癌手術後20年以上を経過して転移をきたした晩期再発症例, 第145回近畿外科学会 (1989.4).

山中 晃, 黄 政龍, 山下直己, 松井輝夫, 辰巳明利, 北野司久: Nu-マウス生着率からみた肺腺癌の特性について, 第50回日本肺癌学会関西支部会 (1989.2).

山中 晃, 黄 政龍, 山下直己, 松井輝夫, 辰巳明利, 北野司久: 多発性転移性肺腫瘍の術後生存率に関する検討, 第 6 回日本呼吸器外科学会総会 (1989.5).

清谷哲也, 磯和理貴, 山中 晃, 大野暢宏: 高度の気道狭窄を伴う気管分岐部浸潤例に対する保存的治療経験, 第32回日本胸部外科学会関西地方会 (1989.6).

清谷哲也, 磯和理貴, 橋本 徹, 武藤 真, 長谷光雄, 山中 晃: 嚢胞壁に発生した肺癌の 1 例, 第23回日本肺癌学会北陸地方会 (1989.7).

磯和理貴, 橋本 徹, 大野暢宏, 武藤 真, 山中 晃, 長谷光雄: 工夫したチューブにて気道を確保しつつ, 集学的治療を施行した肺癌の 1 例, 第12回日本気管支学会総会 (1989.7).

磯和理貴, 清谷哲也, 山中 晃: 化療後に sleeve lobectomy を行い得たIII期肺小細胞癌の 1 例, 第214回北陸外科学会 (1989.9).

磯和理貴, 清谷哲也, 山中 晃, 橋本 徹, 武藤 真, 長谷光雄: 小腫瘍影を呈した肺癌の 5 例, 福井県胸部疾患研究会症例検討会 (1989.11).

山中 晃, 磯和理貴, 清谷哲也, 橋本 徹, 武藤 真, 長谷光雄: 多発性腫瘍像を呈した肺癌症例の検討, 第30回日本肺癌学会総会 (1989.11).

辰巳明利, 黄 政龍, 山下直己, 松井輝夫, 山中 晃, 北野司久: 肺癌術後 1 年以内死亡例の検討, 第50回日本肺癌学会関西支部会 (1989.2).

山中 晃, 黄 政龍, 山下直己, 松井輝夫, 辰巳明利, 北野司久: Nu マウス生着率からみた肺腺癌の特性について, 第50回日本肺癌学会関西支部会 (1989.2).

山下直己, 北野司久, 山中 晃, 辰巳明利, 松井輝夫, 黄 政龍: ノードマウスに移植させたヒト肺癌 Xeno-graft の生着率とその臨床像との関連性について, 第29回日本胸部疾患学会総会 (1989.4).

辰巳明利, 北野司久, 長崎二三夫, 松井輝夫, 山下直己, 黄 政龍: 再発肺癌に対する外科治療の検討, 第6回日本呼吸器外科学会総会 (1989.5).

山中 晃, 黄 政龍, 山下直己, 松井輝夫, 辰巳明利, 長崎二三夫, 北野司久: 多発性転移性肺腫瘍の術後生存率に関する検討, 第6回日本呼吸器外科学会総会 (1989.5).

松井輝夫, 北野司久, 長崎二三夫, 辰巳明利, 山下直己, 黄 政龍: 縦隔囊状リンパ管腫の1治験例, 第33回日本胸部疾患学会近畿地方会 (1989.6).

黄 政龍, 山下直己, 松井輝夫, 辰巳明利, 長崎二三夫, 北野司久, 山中 晃: 食道穿孔による膿胸で発見された食道癌の1手術例, 第32回日本胸部外科学会関西地方会 (1989.6).

辰巳明利, 黄 政龍, 山下直己, 松井輝夫, 長崎二三夫, 北野司久: 腫瘍径 3 cm以下の肺癌切除例の検討, 第51回日本肺癌学会関西支部会 (1989.7).

北野司久, 松井輝夫, 康 天志, 黄 政龍, 辰巳明利, 長崎二三夫, 山下直己: ヒト肺癌 Xeno-Graft における生物学的特性, 第30回日本肺癌学会総会 (1989.11).

辰巳明利, 北野司久, 長崎二三夫, 松井輝夫, 黄 政龍: 若年者 (40歳未満) 肺癌の臨床的検討, 第30回日本肺癌学会総会 (1989.11).

黄 政龍, 康 天志, 辰巳明利, 長崎二三夫, 北野司久: 肋骨腫瘍で発見された好酸球性肉芽腫症の1例, 第34回日本胸部疾患学会近畿地方会 (1989.12).

江崎 寛, 田中文啓, 吉谷 信, 五十部潤, 井上律子, 伊東政敏: Completion pneumonectomy を行った再発気管支肺胞上皮癌の1例, 第54回中部肺癌学会 (1989.7).

江崎 寛, 古瀬清行, 柳内 登, 西脇 裕, 清水哲雄, 斉藤龍生, 小松彦太郎, 石渡弘一, 土屋俊晶, 村上勝, 梶田正文, 坂井 隆, 河原正明, 桑原 修, 西川秀樹, 大迫 努, 中井 勲, 広田暢雄, 難波煌治, 平岡武典, 養田節夫, 源河圭一郎, 久場睦夫, 佐久間 昭: 肺癌の癌化学療法時白血球・血小板減少に対するムロクタシン [MDP-Lys (L18)] の回復促進効果—多施設二重盲検 2 用量比較試験—, 第30回日本肺癌学会総会 (1989.11.10).

塙 健, 石田久雄, 桂 敦史, 塩田哲広, 八木一之, 小鯖 寛, 畠中陸郎, 松原義人, 船津武志, 池田貞雄: 肺門部早期肺癌10例の検討, 第50回日本肺癌学会関西支部会 (1989.2).

八木一之, 石田久雄, 塩田哲広, 塙 健, 小鯖 寛, 松原義人, 畠中陸郎, 船津武志, 池田貞雄: 肺癌切除後の在院死亡例の検討, 第50回日本肺癌学会関西支部会 (1989.2).

塩田哲広, 石田久雄, 塙 健, 八木一之, 小鯖 寛, 松原義人, 畠中陸郎, 船津武志, 池田貞雄: 末梢型粘表皮癌の6例, 第50回日本肺癌学会関西支部会 (1989.2).

石田久雄, 八木一之, 塩田哲広, 塙 健, 小鯖 寛, 松原義人, 畠中陸郎, 船津武志, 池田貞雄: 感染性プラに合併した肺癌の一例, 第50回日本肺癌学会関西支部会 (1989.2).

塩田哲広, 石田久雄, 塙 健, 八木一之, 小鯖 寛, 松原義人, 畠中陸郎, 船津武志, 池田貞雄: 肺癌における NCC-ST-439 の意義, 第29回日本胸部疾患学会総会 (1989.4).

畠中陸郎, 石田久雄, 塙 健, 小西孝明, 塩田哲広, 小鯖 寛, 八木一之, 松原義人, 船津武志, 池田貞雄: 肋骨原発の骨巨細胞腫に対する胸壁再建術, 第6回日本呼吸器外科学会総会 (1989.5).

小鯖 寛, 小西孝明, 石田久雄, 塩田哲広, 塙 健, 八木一之, 畠中陸郎, 松原義人, 船津武志, 池田貞雄: IIIA 期肺癌における術後補助療法の臨床的意義, 第6回日本呼吸器外科学会総会 (1989.5).

松原義人, 船津武志, 畠中陸郎, 小鯖 寛, 塙 健, 塩田哲広, 石田久雄, 小西孝明, 光岡明夫, 池田貞雄: 「縦隔鏡検査の意義およびN因子の評価をめぐって」肺癌外科治療における縦隔鏡検査の意義, 第6回日本呼吸器外科学会サテライト集会 (1989.5).

塩田哲広, 池田貞雄, 長谷川徹, 横川智信: 肺癌における NCC-ST-439 の意義, 第32回日本臨床病理学会近畿支部総会 (1989.6).

石田久雄, 小西孝明, 塩田哲広, 埴 健, 八木一之, 小鯖 寛, 松原義人, 畠中陸郎, 船津武志, 池田貞雄: 気腫性肺嚢胞に合併した肺癌10例の検討, 第32回日本胸部外科学会関西地方会 (1989.6).

松原義人, 埴 健, 石田久雄, 小西孝明, 塩田哲広, 八木一之, 小鯖 寛, 畠中陸郎, 船津武志, 池田貞雄: リンパ節転移を伴ったレントゲン無所見の肺門部肺癌の2例, 第12回日本気管支学会総会 (1989.7).

塩田哲広, 松原義人, 池田貞雄, 小西孝明, 石田久雄, 埴 健, 小鯖 寛, 光岡明夫, 畠中陸郎, 船津武志: 肺癌における核 DNA 量の解析, 第51回日本肺癌学会関西支部会 (1989.7).

小西孝明, 畠中陸郎, 石田久雄, 塩田哲広, 埴 健, 小鯖 寛, 光岡明夫, 松原義人, 船津武志, 池田貞雄: 20年の interval がみられた異時性肺多発癌の1切除例, 第51回日本肺癌学会関西支部会 (1989.7).

石田久雄, 小鯖 寛, 小西孝明, 塩田哲広, 埴 健, 光岡明夫, 畠中陸郎, 松原義人, 船津武志, 池田貞雄: 気管支カルチノイド1手術例, 第51回日本肺癌学会関西支部会 (1989.7).

光岡明夫, 小西孝明, 石田久雄, 塩田哲広, 埴 健, 小鯖 寛, 畠中陸郎, 松原義人, 船津武志, 池田貞雄, 中央診療所 二宮和子: 間質性肺炎に合併した肺癌の5手術例, 第51回日本肺癌学会関西支部会 (1989.7).

石田久雄, 埴 健, 松原義人, 小西孝明, 塩田哲広, 小鯖 寛, 光岡明夫, 畠中陸郎, 船津武志, 池田貞雄: 左 S⁶ sleeve segmentectomy を行ったカルチノイドの1例, 第6回研究集会「気管気管支再建集会」(1989.8).

塩田哲広, 池田貞雄, 松原義人, 光岡明夫: 肺癌における NCC-ST-439抗原の局在部位の検討, 第48回日本癌学会総会 (1989.10).

光岡明夫, 松原義人, 塩田哲広, 池田貞雄: 肺癌患者の α 型インターフェロン産生能, 第48回日本癌学会総会 (1989.10).

塩田哲広, 松原義人, 池田貞雄, 小西孝明, 石田久雄, 埴 健, 小鯖 寛, 光岡明夫, 畠中陸郎, 船津武志: 肺癌における血清 NCC-ST-439の意義, 第27回日本癌治療学会総会 (1989.10).

光岡明夫, 松原義人, 池田貞雄, 塩田哲広, 小西孝明, 石田久雄, 埴 健, 小鯖 寛, 畠中陸郎, 船津武志: 肺癌患者における末梢血リンパ球サブセットの検討, 第27回日本癌治療学会総会 (1989.10).

石田久雄, 埴 健, 小西孝明, 塩田哲広, 小鯖 寛, 光岡明夫, 畠中陸郎, 松原義人, 船津武志, 池田貞雄: 高齢者肺癌の外科治療, 第51回日本臨床外科医学会総会 (1989.10).

小西孝明, 畠中陸郎, 石田久雄, 塩田哲広, 埴 健, 小鯖 寛, 光岡明夫, 松原義人, 船津武志, 池田貞雄: 癌性心嚢炎のドレーナージ治療, 第30回日本肺癌学会総会 (1989.11).

石田久雄, 埴 健, 小西孝明, 塩田哲広, 小鯖 寛, 光岡明夫, 畠中陸郎, 松原義人, 船津武志, 池田貞雄: T4肺癌の手術適応, 第30回日本肺癌学会総会 (1989.11).

塩田哲広, 小西孝明, 石田久雄, 埴 健, 小鯖 寛, 光岡明夫, 松原義人, 畠中陸郎, 船津武志, 池田貞雄: 原発性肺癌組織における核 DNA 量の解析, 第30回日本肺癌学会総会 (1989.11).

池田貞雄, 小西孝明, 石田久雄, 塩田哲広, 埴 健, 小鯖 寛, 光岡明夫, 松原義人, 畠中陸郎, 船津武志: 多発肺癌の外科治療, 第30回日本肺癌学会総会 (1989.11).

松原義人, 塩田哲広, 池田貞雄, 小西孝明, 石田久雄, 埴 健, 小鯖 寛, 光岡明夫, 畠中陸郎, 船津武志: 肺癌患者における血清 NCC-ST-439の意義, 第30回日本肺癌学会総会 (1989.11).

糸井和美, 山田 孝, 平田敏樹, 室恒太郎, 八木 健, 八木一之, 秋山仁一郎, カレッド・レシャード, 高嶋義光: 若年者肺癌7例の検討, 第29回日本胸部疾患学会総会 (1989.4).

平田敏樹, 山田 孝, 八木 健, 室恒太郎, 八木一之, 秋山仁一郎, 高嶋義光: 末梢肺癌における気管支鏡検査の臨床的検討, 第54回中部肺癌学会 (1989.7).

高嶋義光, 川端 浩, 平田敏樹, 八木 健, 室恒太郎, 八木一之, 秋山仁一郎: SIADH と髄膜癌腫症が疑われた肺癌の1症例, 第55回中部肺癌学会 (1989.11).

平田敏樹, 室恒太郎, 八木一之, 高嶋義光: 肺梗塞にて発見された原発性肺癌の1例, 第151回静岡県外科医会 (1989.9).

平田敏樹, 山田 孝, 八木 健, 室恒太郎, 八木一之, 秋山仁一郎, 高嶋義光: 肺梗塞にて発見された原発性肺癌の1例, 第30回日本肺癌学会総会 (1989.11).

康 天志, 有安哲哉, 奥村典仁, 桑原正喜: 胸壁に発生した Angiolipoma の1切除例, 第50回日本肺癌学会関西支部会 (1989.2).

康 天志, 有安哲哉, 糸井和美, 桑原正喜: 気胸で発見し手術を行った肺癌の4例, 第36回気胸研究会(第9回総会)(1989.5).

有安哲哉, 康 天志, 糸井和美, 奥村典仁, 桑原正喜, 浜中大三郎, 北株義純, 柴田 徹, 藤沢一朗, 橋本隆治: 閉塞性肺炎を伴う中枢型原発性肺癌に対する長時間注入 BAI の効果, 第30回日本肺癌学会総会(1989.11).

浜中大三郎, 有安哲哉, 康 天志, 糸井和美, 奥村典仁, 桑原正喜, 北株義純, 柴田 徹, 藤沢一朗, 橋本隆治: 肺癌に対する長時間気管支動注化学療法, 第30回日本肺癌学会総会(1989.11).

桑原 修, 桑原正喜, 倉田昌彦, 土井 修, 森 隆, 安光 勉, 中原数也, 相良憲幸, 沢村献児: 肺非小細胞癌 Adjuvant chemotherapy の現状 — Prospective randomized controlled study の成績 —, 第30回日本肺癌学会総会(1989.11).

糸井和美, 柳原一広, 有安哲哉, 桑原正喜, 那須隆志: 術前化学療法の奏功した肺尖部肺癌の1例, 第34回日本胸部疾患学会近畿地方会(1989.12).

玉田二郎, 中村聡人, 小阪真二, 福瀬達郎: 腺扁平上皮癌切除例の臨床的検討, 第30回日本肺癌学会総会(1989.11).

中村聡人, 小阪真二, 福瀬達郎, 玉田二郎: Pulmonary endodermal tumor resembling fetal lung の一症例, 第30回日本肺癌学会総会(1989.11).

石田 直, 中村聡人, 小阪真二, 福瀬達郎, 玉田二郎: びまん性悪性中皮腫様の臨床像を呈した腎癌肺胸膜転移の1例, 第30回日本肺癌学会総会(1989.11).

福瀬達郎, 中村聡人, 小阪真二, 玉田二郎: 悪性胸膜中皮腫の2切除例, 第32回日本胸部外科学会関西地方会(1989.6).

玉田二郎, 中村聡人, 小阪真二, 福瀬達郎: 左房合併切除を行った肺癌症例の検討, 第6回日本呼吸器外科学会(1989.5).

中村聡人, 小阪真二, 福瀬達郎, 玉田二郎: 砂時計型神経鞘腫の2切除例, 第6回日本呼吸器外科学会(1989.5).

土居裕幸, 佐坂徳浩, 寺町政美, 宮本信昭, 他3名: 両側同時肺癌の2治験例, 第42回高知県医師会医学会(1989.8).

寺町政美: 肺癌(非小細胞肺癌)の外科治療, 高知県胸部疾患研究会(1989.9).

平松敬司, 寺町政美, 佐坂徳浩, 宮本信昭, 他4名: サルコイドーシスに合併した原発性肺癌の1例, 第61回日本内科学会中国四国合同地方会(1989.11).

藤野昇三, 山下直己, 朝倉庄志, 安田雄司, 加藤弘文, 森 渥視, 佐藤正夫, 堀 裕彦, 櫛田嘉輝, 西本 裕, 武内章二: 骨肉腫肺転移症例の転移巣の Flow Cytometry による核 DNA 量解析, 第30回日本肺癌総会(1989.11.10.).

張 林, 安田雄司, 朝倉庄志, 藤野昇三, 加藤弘文, 森 渥視, 岡田慶夫: 肺の腺腫様増殖の発生由来に関する病理形態学的研究, 第21回日本臨床電子顕微鏡学会(1989.9.20.).

Asakura S., Yasuda Y., Kato H., Mori A., Okada Y.: Intralymphatic Chemotherapy of Cancer with Aclacinomycin-containing Polylactic Acid Microspheres: XII th International Congress of Lymphology. August 29, 1989, Tokyo.

李 博, 朝倉庄志, 加藤弘文, 安田雄司, 藤野昇三, 森 渥視, 岡田慶夫: 癌リンパ節転移に対する免疫賦活剤リンパ管内注入療法, 第13回日本リンパ学会(1989.6.23.).

朝倉庄志, 白石昭一郎, 尾上雅彦, 渡田正二, 安田雄司, 藤野昇三, 田畑良宏, 加藤弘文, 森 渥視: 経リンパ行性制癌剤投与法の臨床成績と徐放性制癌剤を使用した基礎的実験について, 第89回日本外科学会総会(1989.3.31.).

藤野昇三, 井上修平, 山下直己, 朝倉庄志, 安田雄司, 高橋憲太郎, 加藤弘文, 森 渥視: 摘出肺肺静脈血中腫瘍マーカーの測定とその意義 第30回日本肺癌総会(1989.11.11.).

安田雄司, 山下直己, 朝倉庄志, 藤野昇三, 加藤弘文, 森 渥視: 女性肺癌の臨床的検討 第30回日本肺癌総会(1989.11.11.).

朝倉庄志, 森 渥視, 加藤弘文, 白石昭一郎, 尾上雅彦, 渡田正二, 安田雄司, 藤野昇三, 田畑良宏: 癌リン

パ節転移に対する制癌剤の術中ターゲティング療法 第42回日本胸部外科学会総会 (1989.10.17.)。

前里和夫, 川畑 勉, 国吉真行, 石川清司, 源河圭一郎, 宮国泰夫, 宮城 茂, 久場睦夫, 仲宗根恵俊, 大城盛夫: 肺癌術後のトラヘルパー使用例の検討, 第12回日本気管支学会総会 (1989.7)。

加藤弘文, 朝倉庄志, 山下直己, 安田雄司, 藤野昇三, 森 渥視, 岡田慶夫: 肺癌に対する経リンパ行性制癌剤投与の臨床——薬剤の移行と術後成績—— 第30回日本肺癌学会 (1989.11.11.)。

朝倉庄志, 森 渥視, 白石昭一郎, 尾上雅彦, 渡田正二, 安田雄司, 藤野昇三, 田畑良宏, 加藤弘文: 経リンパ行性制癌剤投与法の基礎と臨床 第6回日本呼吸器外科学会総会 (1989.5.26.)。

久場睦夫, 仲宗根恵俊, 宮城 茂, 宮国泰夫, 嘉数朝一, 大城盛夫, 石川清司, 国吉真行, 源河圭一郎: 進行肺癌に対する各種 regimen の化療成績, 第29回日本肺癌学会九州地方会 (1989.7)。

源河圭一郎, 石川清司, 国吉真行, 下地光好, 上原力也, 山内和雄, 久場睦夫, 仲宗根恵俊, 宮城 茂, 宮国泰夫, 嘉数朝一, 大城盛夫, 川畑 勉, 岩政輝男: 切除された肺門部早期肺癌の発見動機, 第29回日本肺癌学会九州地方会 (1989.7)。

源河圭一郎, 古瀬清行, 柳井 登, 西脇 裕, 佐久間 昭: 肺癌の癌化学療法時白血球減少に対するムロクタシン [MDP-Lys (L18)] の回復促進効果—多施設二重盲検 2 用量比較試験—, 第27回日本癌治療学会総会 (1989.10)。

下地光好, 久貝忠男, 野原正史, 国吉真行, 石川清司, 山内和雄, 源河圭一郎: 肺脂肪腫の 2 例, 第22回日本胸部外科学会九州地方会 (1989.8)。

嘉数朝一, 宮国泰夫, 宮城 茂, 久場睦夫, 仲宗根恵俊, 大城盛夫, 源河圭一郎, 岩政輝男: 肺好酸球性肉芽腫症の 1 例, 第24回日本胸部疾患学会九州地方会 (1989.10)。

川畑 勉, 源河圭一郎, 石川清司, 国吉真行, 上原力也, 山内和雄, 岩政輝男: 気管支鏡生検にて取り除かれたものと考えられた肺門部早期扁平上皮癌, 第29回日本肺癌学会九州地方会 (1989.7)。

川崎康彦, 山田 護, 外間 章, 武藤良弘, 源河圭一郎, 戸田隆義: 血清 CA19-9 が高値を示した肺癌の 1 症例, 第29回日本肺癌学会九州地方会 (1989.7)。

岸本明久, 源河圭一郎, 石川清司, 国吉真行, 前里和夫, 川畑 勉: 呼吸器系病変の術中迅速細胞診の検討, 第44回国立病院療養所総合医学会 (1989.10)。

川畑 勉, 国吉真行, 石川清司, 源河圭一郎: きわめて緩徐な発育を示した肺腺癌の 3 例, 第51回日本臨床外科医学会 (1989.11)。

国吉真行, 久貝忠男, 下地光好, 上原力也, 山内和雄, 石川清司, 源河圭一郎, 嘉数朝一, 宮城 茂, 宮国泰夫, 久場睦夫, 仲宗根恵俊, 大城盛夫: 癌性心嚢炎に対する治療経験, 第30回日本肺癌学会総会 (1989.11)。

久場睦夫, 仲宗根恵俊, 宮城 茂, 宮国泰夫, 嘉数朝一, 大城盛夫, 石川清司, 国吉真行, 下地光好, 久貝忠男, 源河圭一郎: 非小細胞肺癌に対する CAPM, CV, CVM 療法の検討, 第30回日本肺癌学会総会 (1989.11)。

石川清司, 源河圭一郎, 国吉真行, 下地光好, 久貝忠男: 肺の脂肪腫——症例報告と本邦報告例の検討——, 第30回日本肺癌学会総会 (1989.11)。

長尾啓一, 喜屋武邦雄, 小野崎郁史, 栗山喬之, 山口 豊, 藤沢武彦, 林 豊, 河野俊彦, 笠松紀雄, 源河圭一郎, 大野良之, 久保奈佳子, 福岡誠吾: 沖縄県切除肺癌症例 (国療沖縄病院) の臨床的検討—千葉県症例 (千葉大肺癌研) との比較—, 第30回日本肺癌学会総会 (1989.11)。

林 豊, 河野俊彦, 石橋正彦, 大和田英美, 山口 豊, 長尾啓一, 源河圭一郎, 岩政輝男, 大野良之, 青木国雄, 福岡誠吾: 肺癌例の肺組織の病理学的変化 (第 2 報), 第30回日本肺癌学会総会 (1989.11)。

江崎 寛, 古瀬清行, 柳井 登, 西脇 裕, 清水哲雄, 斎藤龍生, 小松彦太郎, 石渡弘一, 土屋俊晶, 村上勝, 梶田正文, 坂井 隆, 河原正明, 桑原 修, 西川秀樹, 大迫 努, 中井 勲, 広田暢雄, 難波煌治, 平岡武典, 蓑田節夫, 源河圭一郎, 久場睦夫, 佐久間 昭: 肺癌の癌化学療法時白血球・血小板減少に対するムロクタシン [MDP-Lys (L18)] の回復促進効果——多施設二重盲検 2 用量比較試験——, 第30回日本肺癌学会総会 (1989.11)。

深井志摩夫, 平田 保, 清水哲雄, 柳井 登, 西山祥行, 小松彦太郎, 荒井他嘉司, 鈴木 宏, 土屋俊晶, 伊藤正敏, 村上 勝, 石川創二, 梶田正文, 森 隆, 桑原 修, 中井 勲, 林 浩二, 谷 靖彦, 河野淳二, 難波煌治, 平岡武典, 蓑田節夫, 乗松克政, 源河圭一郎: 肺癌症例における拡大合併切除症例の検討, 第30回日本

肺癌学会総会, (1989.11).

山口恵理子, 小松彦太郎, 平田 保, 清水哲郎, 根本悦夫, 斎藤龍生, 児玉哲郎, 西脇 裕, 土屋俊晶, 村上勝, 堤 正夫, 桑原 修, 中井 勲, 吉川尚孝, 半井一郎, 平岡武典, 福永秀智, 源河圭一郎, 斎藤博一, 古瀬清行, 柳井 登: 肺小細胞癌2年以上生存例の検討, 第30回日本肺癌学会総会, (1989.11).

下地光好, 上原力也, 国吉真行, 石川清司, 山内和雄, 源河圭一郎: 気管原発腺様嚢胞癌にシリコンTチューブを使用し長期生存の得られた1例, 第29回日本肺癌学会九州地方会 (1989.7).

嘉数朝一, 久場睦夫, 仲宗根恵俊, 宮城 茂, 宮国泰夫, 大城盛夫, 石川清司, 国吉真行, 源河圭一郎, 岩政輝男: 腎癌の気管支内転移の1例, 第29回日本肺癌学会九州地方会 (1989.7).

徳嶺章夫, 宮城 靖, 与儀実津夫, 稲福行夫, 久高弘志, 川野幸志, 山城和也, 大城健誠, 野原雄介, 源河圭一郎: 肺, 胃, 大腸に発生した異時性早期三重複癌の1例, 第48回九州癌学会 (1989.7).

石川清司, 源河圭一郎, 国吉真行, 前里和夫, 川畑 勉: 肺癌治療切除後晩期再発例の検討, 第6回日本呼吸器外科学会総会 (1989.5).

前里和夫, 川畑 勉, 国吉真行, 石川清司, 山内和雄, 源河圭一郎: 肺多発癌の検討, 第6回日本呼吸器外科学会総会 (1989.5).

Genka, K., Kuba, M., Kakazu, T., Hokama, S.: Bronchoscopy in early central lung cancer, The 11th Asia-Pacific Congress on Diseases of the Chest (APCDC), Bangkok (1989.11).

Kuba, M., Oshiro, M., Genka, K., Hokama, S.: Clinical evaluation of sialyl SSEA-1 antigen in patients with bronchogenic carcinoma, The 11th Asia-Pacific Congress on Diseases of the Chest (APCDC), Bangkok (1989.11).

土屋和之, 澤崎彰士, 牧野尚彦: 食道癌術後縫合不全例に対する再縫合の検討, 第19回創傷治療研究会 (1989.12).

前里和夫, 川畑 勉, 国吉真行, 石川清司, 山内和雄, 源河圭一郎: 肺多発癌例の検討, 第6回日本呼吸器外科学会総会 (1989.5).

前里和夫, 川畑 勉, 国吉真行, 石川清司, 源河圭一郎, 宮国泰夫, 宮城 茂, 久場睦夫, 仲宗根恵俊, 大城盛夫: 肺癌術後トラヘルパー使用例の検討, 第12回日本気管支学会総会 (1989.7).

岡本記代士, 池田茂樹, 福田晴彦, 中村俊則, 野村繁雄, 前里和夫, 土屋和之, 三方淳男: Ig κ, μ の monoclonality を示した lymphomatoid granulomatosis の1生検例, 第51回日本肺癌学会関西支部会 (1989.7).

野村繁雄, 岡本記代士, 前里和夫, 加納 正: 肺癌にみられた肺アミロイド症一臨床的, 免疫学的ならびに組織化学的検討一, 第30回日本肺癌学会総会 (1989.10).

徳永 修, 岡本記代士, 野村繁雄, 松本和也, 前里和夫, 土屋和之, 松本正朗: 後縦隔に発生した“mesothelial cell origin”と思われる嚢胞の1例, 第34回日本胸部疾患学会近畿地方会 (1989.12).

前里和夫, 松本和也, 藤村直幸, 山本栄司, 石田長次, 小山修平, 内藤元康, 松川泰廣, 水野恵文, 土屋和之, 澤崎彰士, 牧野尚彦, 岡本記代士, 野村繁雄: 多発性胸膜中皮腫の1手術例, 第146回近畿外科学会 (1989.12).

2. 胸腺・免疫

磯和理貴, 清谷哲也, 橋本 徹, 武藤 真, 山中 晃, 長谷光雄: Castleman's disease の1例, 第25回日本胸部疾患学会北陸地方会 (1989.11).

長崎二三夫, 北野司久, 辰巳明利, 松井輝夫, 山下直己, 黄 政龍: 重症筋無力症合併胸腺腫に対する外科的治療の経験, 第6回日本呼吸器外科学会総会 (1989.5).

黄 政龍, 康 天志, 辰巳明利, 長崎二三夫, 北野司久: 本院における胸腺嚢腫8例の検討, 第146回近畿外科学会 (1989.12).

長崎二三夫, 黄 政龍, 康 天志, 辰巳明利, 北野司久, 他4名: 外科治療にて救命し得た縦隔膿瘍の1例, 第34回日本胸部疾患学会近畿地方会 (1989.12).

田中文啓, 江崎 寛, 五十部潤, 井上律子, 伊東政敏, 森 厚, 白木 硬, 上村博幸: サルコイドーシスを合併した悪性胸腺腫の一切除例, 第32回日本胸部外科学会関西地方会 (1989.6).

小西孝明, 塙 健, 石田久雄, 塩田哲広, 八木一之, 小鯖 寛, 畠中陸郎, 松原義人, 船津武志, 池田貞雄: 術後照射による合併症のため胸膜肺全摘術を行った悪性胸腺腫の1例, 第8回胸腺研究会(1989.5).

光岡明夫, 松原義人, 石田久雄, 塙 健, 小西孝明, 塩田哲広, 小鯖 寛, 畠中陸郎, 船津武志, 池田貞雄, 田沢 熙: 前縦隔発生のホジキン病の1例, 第33回日本胸部疾患学会近畿地方会(1989.6).

光岡明夫, 花田敬吾, 細野正道, 細川友秀, 松下隆寿, 小岸久美子, 馬場満夫, 細川昌則, 竹田俊男: 老化促進モデルマウス(SAM)のin vivo免疫応答能: 加齢に伴う急速な免疫機能低下の細胞レベルでの解析, 日本基礎老化学会第13回大会(1989.11).

小西孝明, 山本恭通, 石田久雄, 塩田哲広, 小鯖 寛, 光岡明夫, 松原義人, 畠中陸郎, 船津武志, 池田貞雄, 船内正裕, 西谷 裕, 斉田恭子: 著明な筋短縮を来した筋サルコイドーシスの1例, 第34回日本胸部疾患学会近畿地方会(1989.12).

桑原正喜, 奥村典仁, 有安哲哉, 康 天志: 前縦隔病変の経胸骨的生検法(TSPB)の臨床的検討, 第29回日本胸部疾患学会総会(1989.4).

桑原正喜, 糸井和美, 有安哲哉, 柳原一広: 前縦隔病変に対する生検アプローチ—Trans-sternal punch biopsy (TSPB)—, 第13回京阪神呼吸器疾患勉強会(1989.12).

上野陽一郎, 篠崎 拓, 島本光臣, 吉谷 信, 大久保憲一, 井上孝史, 植田充弘, 秋山文弥: 当科における縦隔腫瘍手術症例の検討, 静岡県呼吸器外科医会第1回集談会(1989.1).

上野陽一郎, 篠崎 拓, 島本光臣, 吉谷 信, 大久保憲一, 井上孝史, 植田充宏, 秋山文弥: 縦隔腫瘍手術症例50例の検討, 第6回日本呼吸器外科学会総会(1989.5).

植田充宏, 篠崎 拓, 島本光臣, 上野陽一郎, 大久保憲一, 井上孝史, 花岡伸治, 秋山文弥: 心嚢内進展により心タンポナーデをきたした浸潤型胸腺腫の2手術例, 第32回日本胸部外科学会関西地方会(1989.6).

佐坂徳浩, 小阪真二, 寺町政美, 中村隆澄, 北村文夫, 宮本信昭: 縦隔気管支性囊腫の7症例の検討, 第6回日本呼吸器外科学会総会(1989.5).

藤野昇三, 森 渥視, 朝倉庄志, 安田雄司, 白石昭一郎, 尾上雅彦, 渡田正二, 田畑良宏, 加藤弘文: 浸潤性胸腺腫に対する拡大切除術 第6回日本呼吸器外科学会総会(1989.5.26.大津).

石川清司, 国吉真行, 山内和雄, 源河圭一郎: 縦隔発生気管支性囊腫の8例, 第51回日本臨床外科医学会(1989.11).

石川清司, 国吉真行, 山内和雄, 源河圭一郎: 縦隔腫瘍61例の臨床的検討, 第44回国立病院療養所総合医学会(1989.10).

石川清司, 源河圭一郎, 国吉真行, 下地光好, 上原力也, 山内和雄: 化学療法(Cisplatin, predonison)が有効であった胸腺癌の1例, 第29回日本肺癌学会九州地方会(1989.7).

3. 結 核

松井輝夫, 黄 政龍, 山下直己, 辰巳明利, 長崎二三夫, 北野司久: 慢性膿胸48例の検討. 第28回日本胸部疾患学会総会(1989.4.7).

平井 隆, 安倍隆二, 伊藤元彦: 両側巨大肺 Aspergilloma に対する Monaldi 療法. 第6回日本呼吸器外科学会総会(1989.5).

山中 晃, 黄 政龍, 山下直己, 松井輝夫, 辰巳明利, 北野司久: 肺真菌症16例の臨床像と外科治療, 第29回日本胸部疾患学会総会(1989.4).

辰巳明利, 北野司久, 山中 晃, 松井輝夫, 山下直己, 黄 政龍: 最近10年間における慢性膿胸手術例の検討, 第89回日本外科学会総会(1989.3).

山下直己, 黄 政龍, 松井輝夫, 辰巳明利, 長崎二三夫, 北野司久: 開放療法後13年を経過した有癭性慢性膿胸に対し有茎性大網被覆術を施行した1症例, 第145回近畿外科学会(1989.4).

山中 晃, 黄 政龍, 山下直己, 松井輝夫, 辰巳明利, 北野司久: 肺真菌症16例の臨床像と外科治療, 第29回日本胸部疾患学会総会(1989.4).

山下直己, 北野司久, 辰巳明利, 長崎二三夫, 松井輝夫, 黄 政龍, 高橋憲太郎, 井上修平: 有癭性慢性膿胸

に対する有茎性大網被覆術, 第6回日本呼吸器外科学会総会 (1989.5).

北野司久, 黄 政龍, 山下直己, 松井輝夫, 辰巳明利, 長崎二三夫, 山中 晃: 慢性膿胸の大網法における大網片の動態—内視鏡の所見を中心に—, 第12回日本気管支学会総会 (1989.7).

Kitano, M.: Clinical significance of omental surgery for thoracic empyema with bronchopleural fistula, The 6th World Congress for Bronchology (1989.10).

北野司久, 辰巳明利, 松井輝夫, 山下直己, 黄 政龍, 長崎二三夫: 慢性膿胸に対する有茎性大網法に関するアンケート調査成績 (第1報), 第42回日本胸部外科学会総会 (1989.10).

Tatsumi, A., Kitano, M., Matsui, T., Yamashita, N., Nagasaki, F., Ko, S.: Successful closure of bronchopleural fistulae with omental pedicle flap, XVI World Congress on Disease of the Chest (1989.11).

Kitano, M., Tatsumi, A., Ko, S., Ko, T., Nagasaki, F.: Clinical significance of omental pedicle flap plompage for pyothorax with bronchopleural fistulae, The 11th Asia-Pacific Congress on Disease of the Chest (1989.11).

田中文啓, 吉谷 信, 江崎 寛, 五十部潤, 井上律子, 伊東政敏: 内科的治療困難であった肺結核に対する一手術例, 第74回日本結核病学会東海地方会 (1989.11).

畠中陸郎, 石田久雄, 塩田哲広, 塙 健, 八木一之, 小鯖 寛, 松原義人, 船津武志, 池田貞雄: 慢性膿胸の治療成績, 第29回日本胸部疾患学会総会 (1989.4).

池田貞雄, 石田久雄, 塩田哲広, 塙 健, 八木一之, 小鯖 寛, 畠中陸郎, 松原義人, 船津武志: 肺クリプトコックス症の血清学的診断—Crypto-test とセロダイレクトークリプトの有用性の比較検討—, 第29回日本胸部疾患学会総会 (1989.4).

石田久雄, 小鯖 寛, 小西孝明, 塩田哲広, 塙 健, 光岡明夫, 畠中陸郎, 松原義人, 船津武志, 池田貞雄: 胸囲結核の1手術例, 第63回日本結核病学会, 近畿地方会 (1989.6).

小西孝明, 池田貞雄, 石田久雄, 塩田哲広, 塙 健, 小鯖 寛, 光岡明夫, 畠中陸郎, 松原義人, 船津武志, 塩貝国男, 鈴木捷之, 長谷川徹: 血清学的診断が有用であった肺クリプトコックス症の1例, 第33回日本胸部疾患学会近畿地方会 (1989.6).

畠中陸郎, 小西孝明, 石田久雄, 塩田哲広, 塙 健, 八木一之, 小鯖 寛, 松原義人, 船津武志, 池田貞雄: 慢性膿胸の外科的治療とその成績, 第32回日本胸部外科学会関西地方会 (1989.6).

小鯖 寛, 畠中陸郎, 塙 健, 小西孝明, 石田久雄, 塩田哲広, 光岡明夫, 松原義人, 船津武志, 池田貞雄: 横隔膜を穿孔した左肺全摘出後膿胸の1手術例, 第51回日本臨床外科医学会総会 (1989.10).

石田久雄, 畠中陸郎, 山本恭通, 小西孝明, 塩田哲広, 小鯖 寛, 光岡明夫, 松原義人, 船津武志, 池田貞雄: 左大腿骨カリエスを合併した肺結核の1例, 第64回日本結核病学会近畿地方会 (1989.12).

平田敏樹, 山田 孝, 八木 健, 室恒太郎, 八木一之, 秋山仁一郎, 糸井和美, カレッド・レシャード, 高嶋義光: 結核性胸膜炎および癌性胸膜炎における胸膜生検の臨床的検討, 第29回日本胸部疾患学会総会, (1989.4).

平田敏樹, 室恒太郎, 八木一之, 高嶋義光: 胸郭形成術後, 空洞形成および喘息様発作により呼吸不全に至った肺非定型抗酸菌症の一例, 第2回静岡県呼吸器外科医会 (1989.7).

秋山仁一郎, 山田 孝, 八木 健, 平田敏樹, 室恒太郎, 八木一之, 高嶋義光: 当院における癌性胸膜炎の臨床的検討, 第56回日本胸部疾患学会東海地方学会 (1989.11).

山田 孝, 八木 健, 平田敏樹, 室恒太郎, 八木一之, 秋山仁一郎, 高嶋義光: 肺結核に甲状腺機能低下症とSIADHを合併した1例, 第56回日本胸部疾患学会東海地方会 (1989.11).

平田敏樹, 山田 孝, 八木 健, 室恒太郎, 八木一之, 秋山仁一郎, 高嶋義光: 空洞切開術及び開放創における有茎大網充填術の経験, 第56回日本胸部疾患学会東海地方会 (1989.11).

桑原正喜, 奥村典仁, 有安哲哉, 康 天志: 最近5年間の膿胸手術例の臨床的検討, 第145回近畿外科学会 (1989.4).

桑原正喜, 奥村典仁, 有安哲哉, 康 天志: 膿胸治療の臨床的検討(特に手術例について), 第6回日本呼吸器外科学会総会 (1989.5).

桑原正喜, 奥村典仁, 有安哲哉, 康 天志: 難治性有癭性膿胸に対する大網利用の2例, 第32回日本胸部外科学会関西地方会 (1989.6).

桑原正喜, 奥村典仁, 有安哲哉, 康 天志: 気管支内異物より肺炎, 膿胸をきたした一治験例, 第12回日本気管支学会総会 (1989.7).

久場睦夫, 仲宗根恵俊, 宮城 茂, 宮国泰夫, 嘉数朝一, 大城盛夫, 源河圭一郎: 下肺野結核症例の臨床的検討, 第29回日本胸部疾患学会総会 (1989.4).

田中 茂, 川添隆司, 藤村直樹, 阪本勝彦, 巖西真規, 美崎幸平, 梅宮正志, 加藤幹夫, 日置辰一郎, 北市正則, 長井苑子, 泉 孝英: 当院に於ける最近5年間の開胸肺生検例の検討, 第64回日本結核病学会, 第34回日本胸部疾患学会近畿地方会 (1989.12.9.).

美崎幸平, 梅宮正志, 田中 茂, 巖西真規, 阪本勝彦, 藤村直樹, 加藤幹夫, 日置辰一郎: 最近開胸された肺結核症例, 第25回日本赤十字社医学会総会 (1989.10.20.).

巖西真規, 藤村直樹, 阪本勝彦, 田中 茂, 梅宮正志, 美崎幸平, 加藤幹夫, 日置辰一郎: 収縮性心膜炎の1例: 第129回日本内科学会近畿地方会 (1989.9.16.).

4. 人工材料

滝本行延, 中村達雄, 清水慶彦, 内田恵美子, 筏 義人: 新しい食道静脈瘤硬化材, 第11回日本バイオマテリアル学会大会 (1989.9).

夏目 徹, 池 修, 清水慶彦, 岡田敏行, 筏 義人, 田村康一: 自己粘膜細胞組み込みコラーゲン人工食道の検討, 第11回日本バイオマテリアル学会大会 (1989.9).

夏目 徹, 清水慶彦: コラーゲングル培養一再構成フィブリルの線維径についての検討一, 第11回日本バイオマテリアル学会大会 (1989.9).

夏目 徹, 田村康一, 河原崎茂孝, 清水慶彦: コラーゲン止血材, 形状の改良と止血効果, 第27回日本人工臓器学会大会 (1989.9).

渡部 智, 清水慶彦, 岡田敏行, 筏 義人: 外シャントカニニューレ挿入部皮膚の形態学的検討, 第11回日本バイオマテリアル学会大会 (1989.10).

Isobe, J., Mizuno, H., Matsunobe, S., Shimizu, Y., Nakatani, S.: A New Type of Low Blood Flow ECCO₂ R Using a Hemodialysing System in Apneic States, The 5th World Congress on Intensive & Critical care medicine (1989.9).

小鯖 寛, 松原義人, 池田貞雄, 埴 健, 塩田哲広, 石田久雄, 八木一之, 小西孝明, 畠中陸郎, 船津武志: 有茎大網片を用いた人工気管の実験的研究, 第12回日本気管支学会総会 (1989.7).

松原義人, 小鯖 寛, 池田貞雄: 人工気管の実験および臨床成績, 第6回研究集会「気管気管支再建集会」(1989.8).

渡部 智, 奥村典仁, 夏目 徹, 池 修, 中村達雄, 清水慶彦, 岡田敏行, 筏 義人: 人工腎外シャント用カニニューレの改良—皮膚との接着性を求めて—, 第27回日本人工臓器学会大会 (1989.9).

中村達雄, 清水慶彦: 「気管置換をめぐる諸問題」人工材料による置換, 第6回研究集会「気管気管支再建手術」(1989.8).

Nakamura, T., Watanabe, S., Shimizu, Y., Shirai, K., Hyon, S.H., Suzuki, M., Shimamoto, T., Ikada, Y.: Bioabsorbable Non-woven Fabric for Surgery, 3rd International ITV Conference of Biomaterials (1989.6).

Ike, O., Shimizu, Y., Okada, T., Natsume, T., Watanabe, S., Ikada, Y., Hitomi, S.: Experimental studies on an artificial esophagus for the purpose of neoesophageal epithelization using a collagen-coated silicone tube, 35th American Society for Artificial Internal Organs (ASAIO)(1989.5).

池 修, 和田良一, 夏目 徹, 渡部 智, 玄 丞然, 筏 義人, 清水慶彦: ポリ D, L 乳酸を用いたシスプラチン徐放剤の検討, 第5回日本 DDS 学会 (1989.7).

池 修, 人見滋樹, 夏目 徹, 和田良一, 渡部 智, 玄 丞然, 筏 義人, 清水慶彦: 癌性胸膜炎患者に対するアドリマイシン・ポリ L 乳酸マイクロスフェアの使用, 第5回日本 DDS 学会 (1989.7).

Ike, O., Shimizu, Y., Okada, T., Natsume, T., Watanabe, S., Ikada, Y., Hitomi, S.: Neoesophageal epithelization on an artificial esophagus with collagen layer structure, 8th European Conference on

Biomaterials (1989.9).

池 修, 夏目 徹, 清水慶彦, 岡田敏行, 奥村典仁, 渡部 智, 筏 義人, 田村康一, 人見滋樹: 自己粘膜細胞の播種を併用したコラーゲンをを用いた人工食道の検討, 第27回日本人工臓器学会総会 (1989.9).

池 修, 清水慶彦, 岡田敏行, 奥村典仁, 夏目 徹, 渡部 智, 筏 義人, 人見滋樹: ポリ L 乳酸および自己骨膜を用いた人工気管の検討, 第27回日本人工臓器学会総会 (1989.9).

池 修, 清水慶彦, 岡田敏行, 奥村典仁, 夏目 徹, 渡部 智, 筏 義人, 田村康一, 人見滋樹: 自己粘膜細胞の播種を併用したコラーゲンをを用いた人工食道の検討, 第42回日本胸部外科学会総会 (1989.10).

池 修, 清水慶彦, 和田良一, 草ノ井蓉子, 渡部 智, 玄 丞然, 筏 義人: ポリ D, L 乳酸を用いたシスプラチン徐放剤の検討, 第11回日本バイオマテリアル学会大会 (1989.10).

松原義人, 小鯖 寛, 池田貞雄, 埴 健, 塩田哲広, 石田久雄, 小西孝明, 光岡明夫, 畠中陸郎, 船津武志: 大網被覆を応用した人工気管の実験的研究, 第42回日本胸部外科学会総会 (1989.10).

小鯖 寛, 松原義人, 池田貞雄: Experimental study on prosthetic reconstruction on the trachea by utilizing omental pedicle flap, The 6th World Congress for Bronchology (1989.10).

5. 心・血管

張 謙益, 竹田秋郎, 瀧俊彦, 岡田賢二, 倉田昌彦: 両側多発性肺動静脈瘻を伴う Rendu-Osler-Weber 病の 1 例, 第33回日本胸部疾患学会近畿地方会 (1989.6).

磯和理貴, 清谷哲也, 山中 晃, 大野暢宏: 肺動静脈瘻の 2 手術例, 第32回日本胸部外科学会関西地方会 (1989.6).

清谷哲也, 磯和理貴, 橋本 徹, 武藤 真, 山中 晃, 長谷光雄: 肺分画症を伴わない左肺底動脈体動脈起始症の 1 例, 第25回日本胸部疾患学会北陸地方会 (1989.11).

伊東政敏, 西尾 斉, 山口正人, 上村博幸: Wheat 変法による解離性大動脈瘤の 1 治験, 第38回国立療養所循環器疾患研究会 (1989.2).

江崎 寛, 田中文啓, 吉谷 信, 五十部潤, 井上律子, 伊東政敏: 当院における喀血に対する気管支動脈塞栓術の検討, 第35回三重大学胸部外科学教室研究総会 (1989.8).

五十部潤, 田中文啓, 吉谷 信, 江崎 寛, 井上律子, 伊東政敏, 西尾 斉, 山口正人, 上村博幸: 当院における無輸血弁膜手術例の検討, 第39回国立療養所循環器疾患研究会 (1989.11).

田中文啓, 吉谷 信, 江崎 寛, 五十部潤, 井上律子, 伊東政敏: 右冠動脈解離腔起始を伴った解離性上行大動脈瘤の Wheat 変法による一手術治験, 第44回国立病院療養所総合医学会 (1989.11).

五十部潤, 田中 亨, 田中文啓, 江崎 寛, 井上律子, 伊東政敏, 西尾 斉, 山口正人, 上村博幸: 無輸血弁置換 8 例の経験, 第40回岐阜循環器疾患研究会 (1989.12.2).

植田充宏, 篠崎拓, 島本光臣, 上野陽一郎, 大久保憲一, 井上孝史, 花岡伸治, 秋山文弥: 開心術後急性期における Prostaglandin E₁ の使用経験, 第 1 回静岡県循環管理研究会 (1989.5).

寺町政美, 佐坂徳浩, 中村隆澄, 北村文夫, 宮本信昭: 無輸血開心術症例の検討, 第42回高知県医師会医学会 (1989.8).

横井孝文, 中村隆澄, 北村文夫, 宮本信昭, 他 5 名: 弁置換術後の遠隔期死亡例の検討, 第54回日本循環器学会中国四国地方会 (1989.6).

横井孝文, 中村隆澄, 北村文夫, 宮本信昭, 他 5 名: 高齢者心房中隔欠損症の術後経過—遠隔期臨床像の検討, 第54回日本循環器学会中国四国地方会 (1989.6).

島本光臣, 篠崎 拓, 上野陽一郎, 吉谷 信, 大久保憲一, 井上孝史, 植田充宏, 秋山文弥: 前下行枝への左 (MAG 3 年間の成績〜SVG との比較検討〜, 第19回日本心臓血管外科学会学術総会 (1989.6).

大久保憲一, 篠崎 拓, 島本光臣, 上野陽一郎, 吉谷 信, 井上孝史, 植田充宏, 秋山文弥: 急性 A 型解離〜術前術後の大動脈造影の検討〜, 第19回日本心臓血管外科学会学術総会 (1989.6).

大久保憲一, 篠崎 拓, 島本光臣, 上野陽一郎, 吉谷 信, 井上孝史, 植田充宏, 秋山文弥: 急性大動脈解離〜術後における遺残解離腔の血栓化に関する検討〜, 第 5 回静岡県血栓症研究会 (1989.3).

島本光臣, 篠崎 拓, 上野陽一郎, 大久保憲一, 井上孝史, 植田充宏, 花岡伸治, 秋山文弥: 急性 A 型大動脈解離に拡大手術 (extended aortic resection など) は必要か?, 第42回日本胸部外科学会総会 (1989.10).

大久保憲一, 篠崎 拓, 島本光臣, 上野陽一郎, 山崎文郎, 植田充宏, 花岡伸治, 鈴木仁示, 秋山文弥: 腹部大動脈瘤手術症例の検討, 日本循環器学会第80回東海・第65回北陸合同地方会 (1989.11).

井上孝史, 篠崎 拓, 島本光臣, 上野陽一郎, 大久保憲一, 植田充宏, 花岡伸治, 秋山文弥: 術中透析を要した腎不全患者開心術例の検討, 第32回日本胸部外科学会関西地方会 (1989.6).

植田充宏, 篠崎 拓, 島本光臣, 上野陽一郎, 大久保憲一, 花岡伸治, 鈴木仁示, 秋山文弥: 急性心筋梗塞に対し CABG を行い出血性梗塞を来した 1 例, 第28回東海冠疾患研究会 (1989.7).

島本光臣, 篠崎 拓, 上野陽一郎, 大久保憲一, 植田充宏, 花岡伸治, 鈴木仁示, 秋山文弥: Thromboexclusion 手術例の遠隔成績, 第 6 回静岡県血栓症研究会 (1989.9).

上野陽一郎, 篠崎 拓, 島本光臣, 吉谷 信, 大久保憲一, 井上孝史, 植田充宏, 秋山文弥: 成人型動脈管憩室動脈瘤, 第19回日本心臓血管外科学会学術総会 (1989.6).

島本光臣, 篠崎 拓, 上野陽一郎, 大久保憲一, 井上孝史, 植田充宏, 花岡伸治, 秋山文弥: “要望演題、当院における人工弁置換術 (VR) と虚血性心疾患手術 (1HD) の成績, 第32回日本胸部外科学会関西地方会 (1989.6).

大久保憲一, 篠崎 拓, 島本光臣, 上野陽一郎, 井上孝史, 植田充宏, 花岡伸治, 秋山文弥: AC バイパスを併置した弁置換手術症例の検討, 第32回日本胸部外科学会関西地方会 (1989.6).

6. 移 植

安田雄司, 張 林, 朝倉庄志, 藤野昇三, 加藤弘文, 森 渥視, 榎堀 徹, 岡田慶夫: ラット移植肺の急性期拒絶反応にみられる超微形態学的変化 第25回日本移植学会 (1989.9.12.).

安田雄司, 張 林, 朝倉庄志, 藤野昇三, 加藤弘文, 森 渥視, 榎堀 徹: ラット肺移植における肺泡領域での超微形態学的研究——ANTU 肺水腫との対比 第29回日本胸部疾患学会総会 (1989.4.6.).

藤野昇三, 井上修平, 白石昭一郎, 尾上雅彦, 渡田正二, 朝倉庄志, 安田雄司, 高橋憲太郎, 田畑良宏, 加藤弘文, 森 渥視: 内胸動脈・気管支動脈吻合による気管支血流再建を伴う肺移植手術, 第42回日本胸部外科学会総会 (1989.10.16.).

安田雄司, 張 林, 榎堀 徹, 岡田慶夫, 白石昭一郎, 尾上雅彦, 渡田正二, 朝倉庄志, 藤野昇三, 田畑良宏, 加藤弘文, 森 渥視: ラット移植肺の肺泡領域における急性期拒絶反応に関する超微形態学的研究, 第42回日本胸部外科学会総会 (1989.10.18.).

藤野昇三, 森 渥視, 朝倉庄志, 安田雄司, 加藤弘文, 井上修平, 高橋憲太郎: 微小血管吻合による気管支動脈再建に関する実験的検討, 第12回日本気管支学会 (1989.7.7.).

安田雄司, 張 林, 朝倉庄志, 藤野昇三, 加藤弘文, 榎堀 徹: ラット移植肺での急性期拒絶反応に関する超微形態学的研究, 第 6 回日本呼吸器外科学会総会 (1989.5.26.).

Fujino, S., Mori, A., Inoue, S., Kato, H., Okada, Y.: Reconstruction of bronchial blood flow by anastomosis between internal mammary artery and bronchial artery, The 6th World Congress for Bronchology, (1989.9.21).

石丸貢一, 俵原 敬, 安部成彰, 島本光臣, 他 1 名: 解離性大動脈瘤 (II + III b 型) を合併した Anuloaortic ectasia の一治験例, 第78回日本循環器学会東海地方会 (1989.2).

7. 一般的胸部疾患

倉田昌彦, 瀧 俊彦, 竹田秋郎, 岡田賢二, 張 謙益: 良性肺疾患喀血例に対する外科的治療, 第12回日本気管支学会総会 (1989.7).

Kurata, M., Taki, T., Takeda, A., Okada, K., Chan, C.: Surgical treatment of hemoptysis in cases of benign lung disease, The 6th World Congress for Bronchology. (1989.10).

磯和理貴, 大野暢宏, 山中 晃, 高嶋義光: ガラスによる胸部外傷の1例, 第212回北陸外科学会 (1989.2).
磯和理貴, 清谷哲也, 山中 晃: 広範な肋軟骨離断をきたした胸部外傷の1例, 第213回北陸外科学会 (1989.5).

黄 政龍, 山下直己, 松井輝夫, 辰巳明利, 山中 晃, 北野司久, 他6名: 自然気胸における異時性対側再発の検討, 第29回日本胸部疾患学会総会 (1989.4).

北野司久, 松井輝夫, 山下直己, 黄 政龍, 辰巳明利, 長崎二三夫: 漏斗胸に対する胸骨挙上術—吸収性合成高分子ストラットを利用した術式について—, 第145回近畿外科学会 (1989.4).

北野司久, 松井輝夫, 黄 政龍, 山下直己, 辰巳明利, 長崎二三夫, 山中 晃: 漏斗胸に対する外科療法の変遷, 第6回日本呼吸器外科学会総会 (1989.5).

松井輝夫, 黄 政龍, 山下直己, 辰巳明利, 長崎二三夫, 北野司久: 漏斗胸手術32例の検討, 第26回日本小児外科学会総会 (1989.6.9).

Kitano, M., Ko, S., Matsui, T., Tatsumi, A., Nagasaki, F., : Clinical significance of bronchoscopy for endobronchial foreign bodies, The 6th World Congress for Bronchology (1989.10).

Ko, S., Kitano, M., Nagasaki, F., Tatsumi, A., Ko, T. : The clinical analysis and treatment of spontaneous pneumothorax with special reference to bilateral metachronous pneumothorax, The 11th Asia-Pacific Congress on Disease of the Chest (1989.11).

五十部潤, 田中文啓, 吉谷 信, 江崎 寛, 井上律子, 伊東政敏: 術後胸骨感染に対する強陰圧吸引ドレナージシステムによる治療, 第35回三重大学胸部外科学教室研究総会 (1989.8).

江崎 寛, 田中文啓, 吉谷 信, 五十部潤, 井上律子, 伊東政敏: Thin slice CT による葉間裂の描出—CT 像と開胸所見の対比—, 第44回国立病院療養所総合医学会 (1989.11).

埴 健, 石田久雄, 桂 敦史, 塩田哲広, 八木一之, 小鯖 寛, 松原義人, 畠中陸郎, 船津武志, 池田貞雄: 気管軟化症に対する外科的治療, 第89回日本外科学会総会 (1989.3).

八木一之, 石田久雄, 塩田哲広, 埴 健, 小鯖 寛, 松原義人, 畠中陸郎, 船津武志, 池田貞雄: 巨大肺嚢胞症手術症例の検討, 第29回日本胸部疾患学会総会 (1989.4).

小鯖 寛, 小西孝明, 石田久雄, 塩田哲広, 埴 健, 八木一之, 畠中陸郎, 松原義人, 船津武志, 池田貞雄: 両側巨大肺嚢胞症の手術, 第145回近畿外科学会 (1989.4).

石田久雄, 八木一之, 小西孝明, 塩田哲広, 埴 健, 小鯖 寛, 畠中陸郎, 松原義人, 船津武志, 池田貞雄: 再発性巨大肺嚢胞症に対し, 術後10年目に再手術を行った1例, 第145回近畿外科学会 (1989.4).

塩田哲広, 小西孝明, 石田久雄, 埴 健, 八木一之, 小鯖 寛, 畠中陸郎, 松原義人, 船津武志, 池田貞雄: 胸壁再建例の検討, 第6回日本呼吸器外科学会総会 (1989.5).

埴 健, 小鯖 寛, 池田貞雄, 小西孝明, 石田久雄, 塩田哲広, 八木一之, 畠中陸郎, 松原義人, 船津武志: 気管軟化症の外科治療法の基礎的研究, 第6回日本呼吸器外科学会総会 (1989.5).

石田久雄, 埴 健, 小西孝明, 塩田哲広, 八木一之, 小鯖 寛, 畠中陸郎, 松原義人, 船津武志, 池田貞雄: 開胸手術における肋間神経凍結麻酔の有用性, 第6回日本呼吸器外科学会総会 (1989.5).

埴 健, 船津武志, 小西孝明, 石田久雄, 塩田哲広, 小鯖 寛, 光岡明夫, 畠中陸郎, 松原義人, 池田貞雄: 幼児期から肺炎を繰り返し左肺形成不全が疑われた1例, 第33回日本胸部疾患学会近畿地方会 (1989.6).

埴 健, 小西孝明, 石田久雄, 塩田哲広, 八木一之, 小鯖 寛, 畠中陸郎, 松原義人, 船津武志, 池田貞雄: 肺癌における両側肺切除例, 第32回日本胸部外科学会関西地方会 (1989.6).

塩田哲広, 小西孝明, 石田久雄, 埴 健, 八木一之, 小鯖 寛, 松原義人, 畠中陸郎, 船津武志, 池田貞雄: 術後血胸による再開胸例, 第32回日本胸部外科学会関西地方会 (1989.6).

塩田哲広, 埴 健, 小西孝明, 石田久雄, 八木一之, 小鯖 寛, 畠中陸郎, 松原義人, 船津武志, 池田貞雄: 気管支鏡画像処理による気管動態の解析, 第12回日本気管支学会総会 (1989.7).

池田貞雄, 松原義人, 小鯖 寛, Surgical treatment of tracheobronchomalacia, The 6th World Congress for Bronchology (1989.10).

石田久雄, 山本恭通, 小西孝明, 塩田哲広, 小鯖 寛, 光岡明夫, 畠中陸郎, 松原義人, 船津武志, 池田貞雄: 小児の肺内気管支原性嚢胞の1切除例, 第146回近畿外科学会 (1989.12).

小西孝明, 畠中陸郎, 山本恭通, 石田久雄, 塩田哲広, 小鯖 寛, 光岡明夫, 松原義人, 船津武志, 池田貞雄: 縦隔の腫瘍陰影を呈した脊髄動静脈奇形の1治験例, 第146回近畿外科学会 (1989.12).

塩田哲広, 山本恭通, 小西孝明, 石田久雄, 小鯖 寛, 光岡明夫, 畠中陸郎, 松原義人, 船津武志, 池田貞雄: Pseudolymphoma の1例, 第34回日本胸部疾患学会近畿地方会 (1989.12).

平田敏樹, 山田 孝, 八木 健, 室恒太郎, 八木一之, 秋山仁一郎, 糸井和美, カレッド・レシャード, 高嶋義光: 当院における特発性自然気胸外科治療例の臨床的検討. 第149回静岡県外科医会集談会 (1989.3).

糸井和美, 山田 孝, 平田敏樹, 室恒太郎, 八木 健, 八木一之, 秋山仁一郎, カレッド・レシャード, 高嶋義光: 開胸術後硬膜外麻酔の検討, 第6回日本呼吸器外科学会総会 (1989.5).

カレッド・レシャード, 山田 孝, 平田敏樹, 八木 健, 室恒太郎, 糸井和美, 八木一之, 秋山仁一郎, 高嶋義光: 胸部外傷における開胸, 非開胸例の検討. 第6回日本呼吸器外科学会総会 (1989.5).

平田敏樹, 山田 孝, 八木 健, 室恒太郎, 八木一之, 秋山仁一郎, 糸井和美, カレッド・レシャード, 高嶋義光: 当院における自然気胸症例の臨床的検討. 第6回日本呼吸器外科学会総会 (1989.5).

平田敏樹, 山田 孝, 八木 健, 室恒太郎, 八木一之, 秋山仁一郎, 糸井和美, カレッド・レシャード, 高嶋義光: CUSA を使用した肺動静脈瘻切除の経験. 第55回日本胸部疾患学会東海地方会 (1989.5).

秋山仁一郎, 山田 孝, 八木 健, 平田敏樹, 室恒太郎, 八木一之, 高嶋義光: 両側胸水および mucoid impaction を呈したマイコプラズマ肺炎の1例. 第55回日本胸部疾患学会東海地方会 (1989.6).

秋山仁一郎, 八木 健, 平田敏樹, 室恒太郎, 糸井和美, 高嶋義光, カレッド・レシャード: 難治性気胸に対する気管支閉塞術の経験, 第12回日本気管支学会総会 (1989.7).

山田 孝, 八木 健, 平田敏樹, 室恒太郎, 八木一之, 秋山仁一郎, 高嶋義光: 肺癌との鑑別を要した気管支拡張症の1例. 第56回日本胸部疾患学会東海地方会 (1989.11).

八木 健, 山田 孝, 平田敏樹, 室恒太郎, 秋山仁一郎, 八木一之, 高嶋義光: 当院における慢性呼吸不全患者の臨床的検討. 第56回日本胸部疾患学会東海地方会 (1989.11).

有安哲哉, 康 天志, 糸井和美, 桑原正喜, 浜中大三郎, 柴田徹, 藤沢一郎, 橋本隆治, 河本 宏: 食道穿孔における人工食道留置の試み, 第8回関西中部 IVR 研究会 (1989.8).

桑原正喜, 柳原一広, 有安哲哉, 糸井和美, 那須隆志, 磯辺善成, 丸山 泉: IVH 患者にみられた Septic pulmonary emboli の一治験例, 第34回日本胸部疾患学会近畿地方会 (1989.12).

那須隆志, 柳原一広, 有安哲哉, 糸井和美, 桑原正喜: 両側にみられた月経随伴性気胸の一例, 第34回日本胸部疾患学会近畿地方会 (1989.12).

田中 茂, 巖西真規, 川添隆司, 梅宮正志, 水野 浩, 藤村直樹, 加藤幹夫, 日置辰一郎: 縦隔腫瘍を疑い, 開胸術にて心膜嚢胞と診断された1例, 第63回日本結核病学会, 第33回日本胸部疾患学会近畿地方会 (1989.6.17.).

田中 茂, 川添隆司, 藤村直樹, 阪本勝彦, 巖西真規, 美崎幸平, 梅宮正志, 加藤幹夫, 日置辰一郎, 北市正則, 長井苑子, 泉 孝英: 開胸肺生検にて診断された BOOP6例の臨床および病理学的検討, 第25回日本赤十字社医学会総会 (1989.10.20.).

佐坂徳浩, 寺町政美, 中村隆澄, 北村文夫, 宮本信昭: 漏斗胸に対するポリ乳酸プレートを用いた胸骨挙上術の1例, 第42回高知県医師会医学会 (1989.8).

中村隆澄, 宮本信昭: われわれの呼吸器手術症例の管理, 日本胸部外科学会第2回指定施設連絡協議会 (1989.5).

寺町政美, 佐坂徳浩, 小阪真二, 中村隆澄, 北村文夫, 宮本信昭, 他2名: 気管支内軟骨腫の一手術例, 第32回日本胸部外科学会関西地方会 (1989.6).

国吉真行, 石川清司, 下地光好, 上原力也, 山内和雄, 源河圭一郎, 恩河尚清, 川畑 勉, 岩政輝男: 肺孤立性アミロイド結節と思われる1症例, 第29回日本肺癌学会九州地方会 (1989.7).

阪本勝彦, 梅宮正志, 巖西真規, 田中 茂, 美崎幸平, 藤村直樹, 加藤幹夫, 日置辰一郎, 福田春樹, 森 浩志: 肺出血, 急性腎不全急性憎悪を呈した結節性動脈炎 (PN) 62歳女性1剖検例, 第130回日本内科学会近畿地方会 (1989.11.25.).

伊井宏一, 黒川 健, 池川雅哉, 蒔田直樹, 鍵本伸二, 林 達也, 木村雅英, 黄 正一, 金地研二, 松村理司,

他1名：粟粒結核と考えられる1例，第34回日本胸部疾患学会近畿地方会（1989.12）。

林 達也，黒川 健，池川雅哉，伊井宏一，蒔田直樹，鍵本伸二，木村雅英，黄 正一，金地研二，松村理司，
他1名：大動脈炎症候群に Behcet 病を合併し，興味ある肺病変を呈した1例，第33回日本胸部疾患学会近畿地方
会（1989.6）。

松村理司：地域病院での卒後初期一般内科研修の試み，第39回日本病院学会（1989.6）。

松村理司：地域病院での卒後初期一般内科研修の試み，第21回日本医学教育学会（1989.7）。

松村理司：当院での卒後初期一般内科研修，第28回全国自治体病院学会（1989.10）。

松村理司：プライマリ・ケアの研修，日本プライマリ・ケア学会 第3回近畿地方会（1989.10）。

松村理司：老人の救急疾患の初期治療，国立舞鶴病院，地域医療研修センターにて（1989.4）。

鍵本伸二，伊井宏一，蒔田直樹，林 達也，木村雅英，山口和之，黄 正一，金地研二，松村理司，他1名：
発作性心房細動に両側腎梗塞を合併し血液透析を行った1例，第128回日本内科学会近畿地方会（1989.6）。

伊井宏一，黒川 健，池川雅哉，蒔田直樹，鍵本伸二，林 達也，木村雅英，黄 正一，金地研二，松村理司，
他1名，Om P. Sharma：慢性好酸球性肺炎の1例，第33回日本胸部疾患学会近畿地方会（1989.6）。

池川雅哉，大島庶幾，黒川 健，鍵本伸二，伊井宏一，林 達也，木村雅英，黄 正一，金地研二，松村理司：
肝硬変に合併した *Pasteurella multocida* 敗血症の1例，第130回日本内科学会近畿地方会（1989.11）。

松村理司：日本における卒後教育，現状の克服について，日本医学医療交流財団設立1周年記念祝賀会（1989.
10）。

立石昭三：イエメン・アラブ共和国における国家結核対策，第4回日本国際医療学会総会（1989.6）。

須和雅史，立石昭三，他：イエメン・アラブ共和国結核対策プロジェクトの現状と展開，第4回日本国際医療
学会総会（1989.6）。

浜本康平，立石昭三，他：呼吸器症状が先行し，シェーグレン症候群を伴った悪性関節リウマチの長期観察
例，第34回日本胸部疾患学会近畿地方会（1989.12）。

〔誌 上 発 表〕

1. 腫 瘍

伊藤元彦：肺のいわゆる硬化性血管腫，呼吸 8：1284-1288，1989。

伊藤元彦，藤村重文，他：「胸腺癌の臨床病理学的検討」に対する「討論」，胸部外科 42：95-96，1989。

江崎 寛，田中文啓，寺町政美，井上律子，伊東政敏，小林君美，加藤達雄，西尾 斉，森 厚，山口正人，
白木 硬，上村博幸：Completion pneumonectomy を行った再発気管支肺胞上皮癌の1例，岐阜県医師会医学雑
誌，2（1）：277-283，1989。

塩田哲広，松原義人，池田貞雄，石田久雄，桂 敦史，塙 健，八木一之，小鯖 寛，畠中陸郎，船津武志：
肺癌におけるシアリル SSEA-1抗原（SLX）の意義，日本癌治療学会誌，24（5）：1067-1073，1989。

塙 健，桂 敦史，李 永浩，塩田哲広，八木一之，小鯖 寛，畠中陸郎，松原義人，二宮和子，船津武志，
池田貞雄，竹内稔彦，若林陽夫：巨大な食道平滑筋腫の1切除例，胸部外科，42（7）：559-563，1989。

松原義人，塩田哲広，石田久雄，塙 健，八木一之，小鯖 寛，畠中陸郎，船津武志，池田貞雄：肺癌患者
における血清 CA130の臨床的検討，日本癌治療学会誌，24（8）：1557-1565，1989。

池田貞雄，塩田哲広，松原義人：特集 老年者の肺癌—診断—腫瘍マーカー，Geriatric Medicine（老年医学）
27（9）：1281-1284，1989。

池田貞雄，塩田哲広，松原義人：特集・肺癌外科をめぐる最近の諸問題 肺癌診断に有用な腫瘍マーカー，外
科診療，31（10）：1433-1439，1989。

福田多恵子，奥谷 龍，河野 克，石田博厚，李 永浩，光岡明夫：Eaton-Lambert 症候群の麻酔経験，臨床
麻酔，13（8）：1141-1142，1989。

光岡明夫，人見滋樹，宮本 巍：特集：がん治療の最新知識—手術適用の拡大と化学療法の実際—，肺癌，臨

床と研究, 66 (3): 737-741, 1989.

塩田哲広, 松原義人, 池田貞雄, 石田久雄, 埴 健, 八木一之, 小鯖 寛, 畠中陸郎, 船津武志: 肺癌における TPA の意義, 肺癌, 29 (7): 763-769, 1989.

カレット・レシャード, 鈴木 清, 秋山仁一郎, 糸井和美, 平田敏樹, 室恒太郎: 肺癌に対する TPA の再評価. 日本胸部疾患学会雑誌. 27 (6) 703-711, 1989.

平田敏樹, 山田 孝, 糸井和美, 室恒太郎, 八木 健, カレット・レシャード: 肺癌に合併した肺結核の臨床的検討. 東海呼吸器感染症研究会誌. 1989.

糸井和美, カレット・レシャード, 高嶋義光, 平田敏樹, 室恒太郎, 山田 孝, 八木 健, 秋山仁一郎, 中野 豊: 非定型カルチノイドの経験, 気管支学, 11 (6): 559-564, 1989.

久場睦夫, 仲宗根恵俊, 宮城 茂, 宮国泰夫, 嘉数朝一, 大城盛夫, 石川清司, 国吉真行, 前里和夫, 川畑 勉, 源河圭一郎: 原発性肺癌における糖鎖抗原シアリル SSEA-1抗原の臨床的検討, 国療沖縄病院医学雑誌 10 (1): 32-39, 1989.

石川清司, 源河圭一郎, 国吉真行, 前里和夫, 国吉真行, 前里和夫, 川畑 勉, 上原力也, 山内和雄, 久場睦夫, 宮城 茂, 宮国泰夫, 嘉数朝一, 仲宗根恵俊, 大城盛夫: 発見動機から見た肺門部早期肺癌, 国療沖縄病院医学雑誌 10 (1): 40-44, 1989.

川畑 勉, 上原力也, 前里和夫, 国吉真行, 石川清司, 山内和雄, 源河圭一郎, 岩政輝男: 右上幹入口部に発生した気管支原発 Mucoepidermoid Carcinoma の1例, 国療沖縄病院医学雑誌 10 (1): 50-52, 1989.

川畑 勉, 上原力也, 前里和夫, 国吉真行, 石川清司, 山内和雄, 源河圭一郎, 久場睦夫, 久場 勲: 限局性胸膜中皮腫, 国療沖縄病院医学雑誌 10 (1): 21-23, 1989.

源河圭一郎, 川畑 勉, 前里和夫, 国吉真行, 石川清司, 上原力也, 山内和雄, 嘉数朝一, 宮国泰夫, 宮城 茂, 久場睦夫, 仲宗根恵俊, 大城盛夫: 肺門部早期扁平上皮癌の治療と問題点, 国療沖縄病院医学雑誌 10 (1): 27-31, 1989.

古瀬清行, 柳井 登, 桜井与志彦, 西脇 裕, 清水哲雄, 斎藤龍生, 土屋 智, 小松彦太郎, 石渡弘一, 土屋 俊晶, 江崎 寛, 村上 勝, 梶田正文, 坂井 隆, 河原正明, 桑原 修, 西川秀樹, 大迫 努, 中井 勲, 広田 暢雄, 難波煌治, 平岡武典, 養田節夫, 源河圭一郎, 久場睦夫, 佐久間 昭: 肺癌の癌化学療法時白血球減少に対するムロクタシン [MDP-Lys (L-18)] の回復促進効果—多施設二重盲検2用量比較試験—, Progress in Medicine 9 (2): 631-649, 1989.

石川清司, 源河圭一郎, 国吉真行, 前里和夫, 川畑 勉, 上原力也, 山内和雄, 平良英順: 特異なX線像を呈した肺の扁平上皮癌, 国療沖縄病院医学雑誌 10 (1): 5-9, 1989.

加藤弘文, 岡田慶夫: 早期肺癌の外科治療, 肺癌外科をめぐる最近の諸問題, 外科診療, 31 (10), 1440-1446, 1989.

安田雄司, 朝倉庄志, 高橋憲太郎, 加藤弘文, 岡田慶夫: 同一腫瘍内に活動性肺結核を合併した CEA 産生肺腺癌の一例, 呼吸器外科, 2: 87-94, 1989.

岡田慶夫: 肺癌転移の諸問題, 呼吸, 8 (9): 971-975, 1989.9.

岡田慶夫, 藤野昇三, 安田雄司, 朝倉庄志: 肺癌治療の遠隔成績, 病態生理, 8 (5): 391-395, 1989.5.

岡田慶夫, 藤野昇三, 安田雄司, 朝倉庄志: 臨床医学の展望, 呼吸器外科, 199-204, 1989年版 日本医事新報社 1989.8.20.

前里和夫, 川畑 勉, 国吉真行, 石川清司, 山内和雄, 源河圭一郎, 仲宗根恵俊, 宮国泰夫, 宮城 茂, 久場睦夫, 大城盛夫: 肺癌を合併した気管気管支軟化症の1手術例, 日本胸部臨床, 48 (7): 553-557, 1989.

2. 胸腺・免疫

平井 隆, 伊藤元彦, 安倍隆二: 重症筋無力症を伴った小型胸腺脂肪腫の1例, 日本胸部外科学会雑誌, 37 (10): 2229-2232, 1989.

平田敏樹, カレット・レシャード, 高橋 豊, 中野 豊, 糸井和美, 和田洋巳: 胸腺扁平上皮癌の1例, 日本胸部外科学会雑誌. 37 (7), 1376, 1989.

浜中大三郎, 北株義純, 橋本隆治, 奥村典仁, 桑原正喜: TIの集積をみた胸腺のう腫の1例, 核医学症例検討会症例集, 11(1): 6-7, 1989.

上原力也, 川畑 勉, 前里和夫, 国吉真行, 石川清司, 山内和雄, 源河圭一郎, 他1名: 気管支性嚢腫(傍食道型), 国療沖繩病院医学雑誌 10(1): 24-26, 1989.

河野茂勝, 清水達丈, 水田淳子, 萩野桂子, 山村秀樹, 大幡勝也, 川合 満, 神頭 徹, 和田洋巳, 人見滋樹: Amlexanox (AA-673)の免疫学のおよび非免疫学的 Histamine もしくは Leukotriene 遊離抑制作用, アレルギー, 38: 1236-1245, 1989.

Nakamura, Y., Inamoto, T., Sugie, K., Masutani, H., Shindo, T., Tagaya, Y., Tamauchi, A., Ozawa, K., Yodoi, J.: Mitogenecity and down-regulation of high-affinity interleukin 2 receptor by YTA-1 and YTA-2, monoclonal antibodies that recognize 75-KDa molecules on human large granular lymphocytes, Immunology 86: 1318-1322, 1989.

前里和夫, 人見滋樹, 桑原正喜: 前縦隔原発の未分化癌の1治験例, 胸部外科, 42(6): 466-468, 1989.

3. 結 核

山中 晃, 北野司久, 辰巳明利, 松井輝夫, 山下直己, 黄 政龍: 肺真菌症14例の臨床像と外科治療, 日本胸部外科学会雑誌, 37: 1893-1900, 1989.

山中 晃, 北野司久, 辰巳明利, 松井輝夫, 山下直己, 黄 政龍: 結核性気管支狭窄症に対して Sleeve Lobectomy を行った2治験例, 気管支学, 11: 183-189, 1989.

辰巳明利, 北野司久, 長崎二三夫, 黄 政龍, 康 天志, 他1名: 胸部外科領域における有茎性大網の使用経験, 胸部外科, 42: 1095-1100, 1989.

森 厚, 加藤達雄, 西尾 斉, 山口正人, 白木 硬, 上村博幸, 大黒道夫, 田中文啓, 寺町政美, 江崎 寛, 井上律子, 伊東政敏, 小林君美: 当院の喀血に対する気管支動脈塞栓術について, 岐阜県医師会医学会雑誌, 2(1): 271-276, 1989.

塩田哲広, 池田貞雄, 小西孝明, 石田久雄, 埴 健, 八木一之, 小鯖 覚, 松原義人, 畠中陸郎, 船津武志: 喉頭部の蜂窩織炎から縦隔炎, 左膿気胸を併発した1例, 日本胸部疾患学会雑誌, 27(11): 1367-1370, 1989.

4. 人 工 材 料

清水慶彦: 外科用糊の現状と将来, 外科, 51(3): 250-254, 1989.

渡部 智: 生体の構造・機能とその異常—血液と軟組織—(解説教室—他分野の人達のためのバイオマテリアル入門—第4回), 生体材料, 7(4): 204-219, 1989.

Nakamura T., Hitomi S., Watanabe S., Shimizu Y., Jamshidi K., Hyon S.-H., Ikada Y.: Bioabsorption of Polylactides with Different Molecular Properties, Journal of Biomedical Materials Research 23(10): 1115-1130, 1989.

Tseng Y.-C., Shimizu Y., Tamura K., Kawarasaki S., Hitomi S.: Medical Application of Cyanoacrylates as Sugical Adhesive — Effects of Thickened Cyanoacrylates on Healing of Skin Wounds — Jpn. J. Artif. Organs 18(1): 409-413, 1989.

児嶋久剛, 大森孝一, 庄司和彦, 本庄 巖, 一色信彦, 中村達雄, 清水慶彦: 埋め込み電極による麻痺声帯再運動化の試み, 耳鼻咽喉科臨床, 82(7): 1017-1023, 1989.

林 壽郎, 中村達雄, 清水慶彦, 筏 義人: 合成ポリアミノ酸ハイドロゲル膜の in vitro および in vivo 挙動, 生体材料, 7(3): 131-138, 1989.

池 修, 清水慶彦, 岡田敏行, 夏目 徹, 渡部 智, 人見滋樹, 筏 義人: 新生食道の再生を目指したコラーゲン被覆シリコン人工食道の検討, 人工臓器, 18(1): 315-318, 1989.

Ike, O., Shimizu, Y., Okada, T., Natsume, T., Watanabe, S., Ikada, Y., Hitomi, S.: Experimental studies on an artificial esophagus for the purpose of neoesophageal epithelization using a collagen-coated silicone

tube, Trans. Am. Soc. Artif. Intern. Organs, Vol. XXXV : 226-228, 1989.

五十部潤, 水野 浩, 松延政一, 千原幸司, 渡部 智, 清水慶彦, 猪飼康雄: 換気停止下における液々ECCO₂Rの実験的検討, 人工臓器, 18 (2): 1025-1028, 1989.

Isobe, J., Mizuno, H., Matsunobe, S., Shimizu, Y., Ikada, Y., Kishida, A.: A New Type of Low Blood Flow ECCO₂R Using a Hemodialysis System in Apneic States, ASAIO TRANSACTIONS, 35 (3) : 638-639, 1989.

松原義人, 畠中陸郎, 小鯖 寛, 八木一之, 埴 健, 塩田哲広, 船津武志, 池田貞雄: 気管分岐部切除後の人工気管による気道再建術, 日本呼吸器外科学会雑誌, 3 (3): 14-23, 1989.

5. 心・血管

山口正人, 上村博幸, 白木 硬, 森 厚, 小林君美, 伊東政敏, 江崎 寛: アイゼンメンジャー症候群—悲惨な状態を作らないために—岐阜県医師会医学雑誌, 2 (1): 249-254, 1989.

寺町政美, 田中文啓, 江崎 寛, 井上律子, 伊東政敏, 小林君美: 末梢性肺動脈狭窄が自然寛解した大動脈弁上狭窄症の1手術例, 日本胸部外科学会雑誌, 37 (11): 2393-2397, 1989.

田中文啓, 伊東政敏, 西尾 斉, 山口正人, 上村博幸: 大動脈弁逆流を合併したI型心室中隔欠損症の1例, 岐阜県医師会医学雑誌, 2 (1): 255-259, 1989.

寺町政美, 田中文啓, 江崎 寛, 井上律子, 伊東政敏, 小林君美: 末梢性肺動脈狭窄が自然寛解した大動脈弁上狭窄症の1手術例, 日本胸部外科学会雑誌, 37 (11): 2393-2397, 1989.

島本光臣, 篠崎 拓, 上野陽一郎, 吉谷 信, 大久保憲一, 井上孝史, 植田充宏, 秋山文弥: 急性大動脈解離の外科—急性A型解離治療方針と手術術式—, 日本胸部外科学会雑誌, 37 (5): 242-243, 1989.

大久保憲一, 篠崎 拓, 島本光臣, 上野陽一郎, 吉谷 信, 井上孝史, 植田充宏, 秋山文弥: 急性A型大動脈解離—術後における遺残解離腔の血栓化の検討—, 血栓症, 1 (1): 33-36, 1989.

6. 一般的胸部疾患

黄 政龍, 北野司久, 長崎二三夫, 辰巳明利, 山中 晃, 松井輝夫, 山下直己: 肺癌術後のリンパ節転移が疑われた猫ひっかき病の1例とその診断法について, 京都大学胸部疾患研究所紀要, 22 (1・2): 11-18, 1989.

埴 健, 桂 敦史, 李 永浩, 塩田哲広, 八木一之, 小鯖 寛, 松原義人, 畠中陸郎, 二宮和子, 船津武志, 池田貞雄: 気管軟化症の実験的研究, 日本胸部外科学会雑誌, 37 (5): 103-104, 1989.

埴 健, 八木一之, 小鯖 寛, 松原義人, 畠中陸郎, 船津武志, 池田貞雄: 水気胸の1例, 日本胸部臨床, 48 (5): 411-415, 1989.

埴 健, 石田久雄, 桂 敦史, 塩田哲広, 八木一之, 小鯖 寛, 松原義人, 畠中陸郎, 船津武志, 池田貞雄: 奇静脈葉の4例, 日本胸部臨床, 48 (3): 250-256, 1989.

埴 健, 池田貞雄, 船津武志, 松原義人, 畠中陸郎, 小鯖 寛, 塩田哲広: 気管軟化症に対する外科的療法に関する実験的研究—気管軟化症のモデル作製法と新しい手術術式の開発—, 日本外科学会雑誌, 90 (7): 1072-1080, 1989.

宮本 颯, 光岡明夫: VIII. 救急疾患, 外傷の各論, C. 胸壁・肺・気管支の外傷, 「外科学」森昌造ほか編集, へるす出版, 683-688, 1989.

糸井和美, カレッド・レシャード, 乾 健二, 高橋 豊, 平田敏樹, 室恒太郎: 高齢者に対する開胸術の検討, 日本呼吸器外科学会雑誌, 3 (3), 334-340, 1989.

平田敏樹, 山田 孝, 室恒太郎, 八木 健, 糸井和美, 秋山仁一郎, カレッド・レシャード: New minicoilを使用した気管支動脈塞栓術の経験, 日本胸部臨床, 48 (4), 327-331, 1989.

糸井和美, カレッド・レシャード, 平田敏樹, 高橋 豊, 室恒太郎: 開胸術患者に対する硬膜外モルヒネ注入の術後肺機能への影響の検討, 日本胸部外科学会雑誌, 37 (11): 2339-2334, 1989.

前里和夫, 人見滋樹, 桑原正喜: 多発性硬化性血管腫の1治療例—本邦報告12例の文献的考察—, 日本胸部疾患学会雑誌, 27 (2): 230-233, 1989.

桑原正喜, 奥村典仁, 康 天志, 有安哲哉, 福瀬達郎: 肺癌手術時にいわゆる『胸腔内結石』の前駆物質と考えられる『胸腔内遊離物』を認めた一症例, 日本胸部疾患学会雑誌, 27 (6): 730-734, 1989.

桑原正喜, 奥村典仁, 康 天志, 有安哲哉, 福瀬達郎: 気管支鏡下ガーゼ綿球ブロッカーによる病巣区域気管支閉塞法—wet case の術中管理として—, 気管支学, 11 (2): 190-194, 1989.

松村理司: わたし, 何の病気であつてしまふ?—医療の豊かさ雑感—, 看護技術, 35 (12): 64-65, 1989.

松村理司: 中小病院における医師の教育, 病院, 48 (11): 1044-1045, 1989.

松村理司: ニューヨークの青年日本人医師, 医学界新聞, 第1837号: 3, 1989.

松村理司: アメリカ国内学会に参加して, 医学界新聞, 第1840号: 3, 1989.

岡田慶夫, 藤野昇三, 安田雄司, 朝倉庄志: 臨床医学の展望, 呼吸器外科 医事新報, 3381: 29-34, 2.11. 1989.

土居裕幸, 小阪真二, 宮本信昭, 他5名: 気管支内骨軟骨腫の1例, 気管支学, 11 (2): 154-158, 1989.

岡田慶夫: 臨床医学の転換期に立って, Health Science 5 (1): 9-16, 1.31.1989.

川畑 勉, 上原力也, 前里和夫, 国吉真行, 石川清司, 山内和雄, 源河圭一郎, 他1名: 肺動静脈瘻, 国療沖繩病院医学雑誌 10 (1): 14-16, 1989.

石川清司, 源河圭一郎, 国吉真行, 前里和夫, 他2名: 肺葉内分面症, 国療沖繩病院医学雑誌 10 (1): 17-20, 1989.

石川清司, 源河圭一郎, 国吉真行, 前里和夫, 他3名: 成人の先天性気道食道瘻の手術手技に関する検討, 国療沖繩病院医学雑誌 10 (1): 53-56, 1989.

石川清司, 源河圭一郎, 国吉真行, 前里和夫, 他3名: 外傷性仮性肺嚢胞の1例, 外科 51 (3): 318-320, 1989.

秋山文弥: 胸部外科医の生涯教育—臨床外科医の立場から—, 日本胸部外科学会雑誌, 37 (5): 205-206, 1989.

〔著 書〕

伊藤元彦, 平井 隆: 胸壁, 胸膜の腫瘍および類似疾患, 新外科学大系 17, 胸壁, 縦隔, 横隔膜の外科, 中山書店, 1989.11.

池田貞雄: 縦隔腫瘍, 今日の治療指針, 医学書院, 1989.

Hatakenaka, R., Matsubara, Y., Funatsu, T., Ikeda, S.: Deutsche ergänzte und erweiterte Ausgabe von Werner Maass en, übersetzt von Masayoshi Kuwabara und Rudolf Kasperek, Atlas der Thoraxchirurgie, Dustri-Verlag Dr. Karl Feistle, 1989.

Kuwabara, M., Kasperek, R., Maassen, W. (übersetzer): Atlas der Thoraxchirurgie (von R. Hatakenada, Y. Matsubara, T. Funatsu, S. Ikeda), Dustri-Verlag Dr. Karl Feistle, München-Deisenhofen, 1989.

岡田慶夫, 安田雄司: 転移性心外膜腫瘍: (p582-586), 癌治療学 (下), 日本臨床社, 1989.1.19.

岡田慶夫: 肺のリンパ系と肺癌, 金芳堂, 1989.5.25.

Okada, Y.: Lymphatics of the Human lung, With Special Reference to Clinical Problems, Kinpodo, 1989. 10.31.

秋山文弥: 手術と輸血, 輸血マニュアル (監修及び分担執筆), 静岡輸血懇話会 1989.

清水慶彦: 人工腹壁と人工胸壁 (1198-1199), 外科診療Q&A, 第20号, 六法出版 1989.

清水慶彦: 胸部外科系 (485-491), バイオマテリアルの最先端, シーエムシー 1989.9.

分子病理学分野

〔学 会 発 表〕

鈴木康弘, 藤田葉子, 小岸久美子: 格子状ミエリン形成における肺表面活性物質アポ蛋白の関与. 第29回日本胸部疾患学会総会 (1989. 4. 5)

網谷良一, 久世文幸, 黒住真史, 鈴木康弘, 田口善夫, 郡 義明, 岩田猛邦, 小橋陽一郎: びまん性汎細気管支炎における泡沫細胞集簇の免疫組織化学的検討. 第29回日本胸部疾患学会総会 (1989. 4. 5)

永田和宏, 都留秋雄, 中村暢宏, 高山英次, 鈴木康弘, 平芳一法: Regulation of the expression of vimentin gene during differentiation of mouse myeloid leukemia cells. 第9回 Sapporo cancer seminar (1989. 7. 7)

池上裕美子, 河村哲治, 河南里江子, 中原由紀子, 中原保治, 望月吉郎, 松山栄一, 桂 栄孝, 網谷良一, 鈴木康弘: 肺胞蛋白症の一例. 第63回日本結核病学会, 第33回日本胸部疾患学会地方会 (1989. 6. 17)

Robertson, B., Curstedt, T., Fujita, Y., Grossmann, G., Ganzuka, M., Kobayashi, T., Nitta, K., Suzuki, Y.: Monoclonal antibodies to SP-B inhibit surfactant function in newborn rabbits. IUPS Satellite Symposium 'Fetal and Neonatal Physiology', (Stockholm, Sweden, 1989. 7. 5—8)

Kobayashi, T., Nitta, K., Curstedt, T., Grossmann, G., Robertson, B., Suzuki, Y.: Selective blocking of SP-B: 1. Effects on activity of natural lung surfactant. 第25回日本界面医学会総会 (1989. 10. 7)

Kobayashi, T., Ganzuka, M., Li, W-Z., Grossmann, G., Robertson, B., Suzuki, Y.: Selective blocking of SP-B: 2. Deterioration of lung function in near term new born rabbits. 第25回日本界面医学会 (1989. 10. 7)

Suzuki, Y., Masuda, M., Kogishi, K., Fujita, Y., Sato, A.: Possible mechanism of inhibition of tubular myelin formation by a specific antibody to SP-B. 第25回日本界面医学会 (1989. 10. 7)

Kobayashi, T., Ganzuka, M., Nitta, K., Robertson, B., Grossmann, G., Suzuki, Y.: Selective blocking of surfactant-associated hydrophobic polypeptide SP-B in near-term newborn rabbits. International Symposium on 60 Years of Surfactant Research, (The River Rhine, West Germany, 1989. 11. 11—17)

Ladanyi, E., Suzuki, Y., Mobius, D., Shafer, K., Stalder, K.: Presence, localization and possible role of SP-A and SP-B in the human lung surfactant surface layer. An electronmicroscopic study using immuno-gold double labelling. International Symposium on 60 Years of Surfactant Research, (The River Rhine, West Germany, 1989. 11. 11—17)

〔誌 上 発 表〕

Suzuki, Y., Fujita, Y., Kogishi, K.: Reconstitution of tubular myelin from synthetic lipids and proteins associated with pig pulmonary surfactant. Am Rev Respir Dis, 140: 75-81, 1989.

網谷良一, 佐藤敦夫, 加藤元一, 松井保憲, 鈴木克洋, 田中栄作, 村山尚子, 倉沢卓也, 川合 満, 久世文幸, 黒住真史, 鈴木康弘, 田口善夫, 郡 義明, 岩田猛邦, 小橋陽一郎: びまん性汎細気管支炎における泡沫細胞集簇の免疫組織化学的検討. Therapeutic Research, 10: 328-334, 1989.

山根すま子, 黒住真史, 木野稔也, 陳 文熙, 北市正則, 藤田葉子, 鈴木康弘, 内木宏延, 細川昌則, 竹田俊男: 病理検査データ管理のシステム化と病理組織診断集計. 京大胸部研紀要, 22: 19-27, 1989.

細胞生物学分野

〔誌 上 発 表〕

Itoh, K., Tezuka, H., Sakoda, H., Konno, M., Nagata, K., Uchiyama, T., Uchino, H. & Mori, K. J.:

Reproducible establishment of hemopoietic supportive stromal cell lines from murine bone marrow. *Exptl. Hematol.* 17 (2): 145-153 (1989)

Nagata, K. & Li, G. C.: Heat shock proteins. In *Hyperthermic Oncology* (eds. T. Sugahara and M. Saito), Vol. 2, Taylor and Francis Inc., 1989, pp. 237-239.

Nagata, K., Hirayoshi, K., Nakai, A., Saga, S., Obara, M. & Yamada, K. M.: A novel transformation-sensitive heat-shock protein (hsp47). In *Hyperthermic Oncology* (eds. T. Sugahara and M. Saito), Vol. 2, Taylor and Francis Inc., 1989, pp. 252-255.

Nakai, A., Hirayoshi, K., Saga, S., Yamada, K. M. & Nagata, K.: The transformation-sensitive heat shock protein (hsp47) binds specifically to fetuin. *Biochem. Biophys. Res. Commun.* 164 (1): 259-264 (1989)

Nagata, K., Tsuru, A., Nakamura, N., Takayama, E., Suzuki, Y. & Hirayoshi, K.: Changes in the intermediate filaments, vimentin, during the differentiation of mouse myeloid leukemia cells. *Cell Struct. Funct.* 14 (5): 644-645 (1989)

Higashida, H., Brown, D. A., Ogura, A., Sagara, J. & Nagata, K.: Modulation of two K⁺ currents by inositol triphosphate and protein kinase C. In *Brain Signal Transduction and Memory, Proceedings of the fifth Takeda science foundation symposium on bioscience 1988* (eds. M. Ito and Y. Nishizuka), Academic Press, 1989, pp. 117-128.

中井 彰, 永田和宏: 熱ショック蛋白質. *Medical Immunology*, 第17巻(3): 250-253 (1989)

永田和宏, 高山英次: 白血病細胞の細胞骨格. *生体の科学*, 第40巻(3): 177-181 (1989)

道下眞弘, 永田和宏: TNFと骨髄性白血病細胞の分化. *免疫薬理*, 第7巻(2): 214 (1989)

永田和宏: 熱ショック蛋白質. *医学の歩み*, 第150巻(1): 81 (1989)

永田和宏, 都留秋雄, 中村暢宏: 癌細胞における細胞骨格異常——中間径フィラメントを中心に. *蛋白質核酸酵素*, 第34巻(12): 1590-1598 (1989)

永田和宏・矢原一郎: 対談「熱ショック蛋白質の基礎と臨床」. *Medical Immunology*, 第18巻(5): 731-745 (1989)

永田和宏: ストレス蛋白質の新展開一序にかえて (特集・ストレス (熱ショック) 蛋白質研究の最前線). *実験医学*, 第7巻(17): 1967-1969 (1989)

中井 彰, 平芳一法: 低分子ストレス蛋白質の機能と発現. *実験医学*, 第7巻(17): 2015-2022 (1989)

岡田泰伸, 平芳一法: 電気的融合と遺伝子導入. *実験医学*, 臨時増刊号, 第7巻(13): 97-101 (1989)

〔学 会 発 表〕

K. Nagata: Regulation of the expression of vimentin gene during differentiation of mouse myeloid leukemia cells. The 9th Sapporo Cancer Seminar-Symposium on Cell Differentiation and Cancer Control. 1989年7月, Sapporo.

永田和宏: 白血球分化と中間径フィラメント. 第3回細胞生物学シンポジウム「細胞骨格—細胞の増殖と分化への関与」, 1989年5月

永田和宏: 白血病細胞M1の分化と細胞骨格. 第3回箱根GIBCO-BRLシンポジウム「細胞分化の分子機構」, 1989年7月

道下眞弘, 平芳一法, 吉田弥太郎, 永田和宏: TNFの産生調節機構—Autoinhibitory systemの提唱. 第47回日本癌学会総会, 1989年10月

中村暢宏, 都留秋雄, 平芳一法, 永田和宏: ビメンチン分解に関与する未知プロテアーゼと白血病細胞の分化. 第47回日本癌学会総会, 1989年10月

中井 彰, 平芳一法, 大塚健三, 永田和宏: トランスフォーメーション感受性を持ち熱ショック誘導能のあるATP結合蛋白質. 第47回日本癌学会総会, 1989年10月

中井 彰, 佐藤 衛, 平芳一法, 平山千里, 永田和宏: grp78のリン酸化はトランスフォーメーションにより変

化する。第62回日本生化学会大会, 1989年11月

永田和宏：がん細胞及び正常細胞における熱ショック蛋白質。日本放射線増感研究協会講演会, 1989年6月

永田和宏, 中井 彰, 佐藤 衛, 平芳一法：hsp70ファミリーの発現と機能：grp78の磷酸化とトランスフォーメーション。第6回日本ハイパーサーミア学会大会, 1989年11月

大塚健三, 中井 彰, 永田和宏：哺乳動物およびニワトリ細胞における新しい熱ショック蛋白質, hsp40。第42回日本細胞生物学会大会, 1989年10月

道下眞弘, 平芳一法, 吉田弥太郎, 永田和宏：TNF- α の産生調節機構。第42回日本細胞生物学会大会, 1989年10月

中井 彰, 平山千里, 平芳一法, 永田和宏：Transformation-sensitive heat shock protein (hsp47) の発現はコラーゲン合成と共役し, 細胞内でプロコラーゲンと結合している。第42回日本細胞生物学会大会, 1989年10月

平芳一法, 中井 彰, 平山千里, 大塚健三, 永田和宏：トランスフォーメーション感受性をもち熱ショック誘導能のあるATP結合蛋白質 (p37) はグリセルアルデヒド-3-リン酸デドログナーゼである。第42回日本細胞生物学会大会, 1989年10月

中村暢宏, 都留秋雄, 平芳一法, 永田和宏：白血病細胞の分化に伴うビメンチン分解活性の変化。第42回日本細胞生物学会大会, 1989年10月

都留秋雄, 中村暢宏, 平芳一法, 永田和宏：マウス骨髓性白血病細胞の分化とアクチン結合蛋白質。第42回日本細胞生物学会大会, 1989年10月

佐藤 衛, 中井 彰, 平山千里, 吉森 保, 田代 裕, 平芳一法, 永田和宏：grp78のリン酸化はトランスフォーメーションにより変化する。第42回日本細胞生物学会大会, 1989年10月

細川暢子, 中井 彰, 平芳一法, 細川洋平, 丸井伸行, 吉田光範, 酒井敏行, 西野輔翼, 青池 晟, 川井啓市, 永田和宏：熱ショック蛋白質のQuercetinによる特異的阻害。第42回日本細胞生物学会大会, 1989年10月

腫瘍学分野

〔著書, 原書, 総説〕

芝本雄太, 高橋正治, 岡田謙一郎, 大石賢二, 吉田 修, 阿部光幸：前立腺癌に対する術中照射の長期成績。日放腫会誌, 1：13-18, 1989

真辺忠夫, 馬場信雄, 芝本雄太, 高橋正治, 戸部隆吉：膀胱癌の放射線療法。臨床外科, 44：1183-1187, 1989

田中良明, 亘理 勉, 高井良尋, 新部英男, 喜多みどり, 清水哲平, 高橋正治, 御供正紀, 神宮賢一, 前原史明：悪性グリオーマの放射線治療の現況。癌の臨床, 35：1233-1239, 1989

高橋正治, 阿部光幸：骨肉腫の術中照射法 患肢温存を目的として。医学のあゆみ, 150：983-986, 1989

芝本雄太, 阿部光幸, 筒井一成, 小野公二, 高橋正治：髄芽腫の放射線治療成績。日癌治, 24：2491-2498, 1989

永田 靖, 西台武弘, 岡島 馨, 野原弘基, 高橋正治, 岡田 孝, 中田 学, 矢野慎輔, 阿部光幸：CTシュミレータの開発と利用—放射線治療における三次元画像の有用性。日放腫会誌, 1：219-229, 1989

笹井啓資, 小野公二, 高橋正治, 阿部光幸：動脈血酸素含有量による肺扁平上皮癌放射線感受性の予測。癌の臨床, 35：1554-1557, 1989

野原弘基, 永田 靖, 西台武弘, 中田 学, 高橋正治, 岡田 孝, 矢野慎輔, 阿部光幸：三次元表示及び線量分布の有用性：CTシュミレータを用いた三次元治療計画。日放腫会誌, 1 (Supple. 4)：93-100, 1989

小野公二, 筒井一成, 高橋正治, 笹井啓資, 伏木雅人, 阿部光幸：分割照射の基礎及び臨床：一日多分割照射法による肺癌の放射線治療。日放腫会誌, 1 (Supple. 4)：161-167, 1989

増永慎一郎, 平岡真寛, 高橋正治, 徐志堅, 芥田敬三, 西村恭昌, 永田 靖, 阿部光幸：局所進行・再発乳癌に対する温熱併用放射線治療成績：放射線単独治療との比較。日医放会誌, 49：304-313, 1989

増永慎一郎, 平岡真寛, 芥田敬三, 西村恭昌, 永田 靖, 高橋正治, 阿部光幸：悪性腫瘍に対する局所温熱療法と化学療法の併用に関する臨床的検討。日癌治, 25：6-12, 1990

西村恭昌, 芥田敬三, 平岡真寛, 増永慎一郎, 永田 靖, 高橋正治, 阿部光幸, 小泉勝嗣: 電波レンズ型430MHzマイクロ波加温装置 (HTS-100) の加温域および臨床効果に関する検討. 日本ハイパーサーミア誌, 6: 69-77, 1990

Takahashi, M.: Intraoperative radiation therapy for prostatic cancer. In: Intraoperative Radiation Therapy, ed by Dowbelbower, R. R., Abe, M., CRC Press, Inc., Florida, 1989, p235-245

Okada, K., Ohishi, K., Yoshida, O., Takahashi, M., Abe, M.: Intraoperative radiotherapy of localized carcinoma of the prostate. In: Prostate Cancer, ed by Karr, J. P. Yamanaka, H. Elsevier Science Co., Inc., 1989, p371-382

Kagiya, T., Nishimoto, S., Shibamoto, Y., Wang, J., Zhou, L., He, Y., Sasai, K., Takahashi, M., Abe, M.: Importance of tumor affinity of nitroazoles in hypoxic radiosensitization. Int J Radiat Oncol Biol Phys 16: 1033-1037, 1989

Shibamoto, Y., Nishimoto, S., Shimokawa, K., Hisanaga, Y., Zhou, L., Wang, J., Sasai, K., Takahashi, M., Abe, M., Kagiya, T.: Characteristics of fluorinated nitroazoles as hypoxic cell radiosensitizers. Int J Radiat Oncol Biol phys 16: 1045-1048, 1989

Yamamuro, T., Kotoura, Y., Kasahara, K., Takahashi, M., Abe, M.: Intraoperative radiotherapy and ceramic prosthesis replacement for osteosarcoma. In: New Developments for Limb Salvage in Musculoskeletal Tumors, ed by Yamamuro, T. Springer-Verlag, Tokyo, 1989, p327-333

Sasai, K., Ono, K., Nishidai, T., Tsutsui, K., Shibamoto, Y., Takahashi, M., Abe, M.: Variation in tumor response to Fluosol-DA (20%). Int J Radiat Oncol Biol Phys 16: 1149-1152, 1989

Nishimura, Y., Ono, K., Imamura, M., Hiraoka, M., Takahashi, M., Abe, M., Ohishi, K., Yanagibashi, K., Tobe, T.: Prospective radiation therapy for esophageal cancer. Radiat Med 7: 88-94, 1989

Shibamoto, Y., Takahashi, M., Dokoh, S., Tanabe, M., Ishida, T., Abe, M.: Radiation therapy for brain stem tumor with special reference to CT feature and prognosis correlations. Int J Radiat Oncol Biol Phys 17: 71-76, 1989

Nishimura, Y., Jo, S., Akuta, K., Masunaga, S., Fushiki, M., Hiraoka, M., Takahashi, M., Abe, M.: Histological analysis of the effect of hyperthermia on normal rabbit hepatic vasculature. Cancer Res 49: 4295-4297, 1989

Ono, K., Akuta, K., Takahashi, M., Abe, M., Nishio, Y., Okada, K., Yoshida, O.: Effect of misonidazole in preoperative irradiation for bladder cancer followed by total cystectomy. Radiation Medicine 7: 105-109, 1989

Nishimura, Y., Hiraoka, M., Jo, S., Akuta, K., Nagata, Y., Masunaga, S., Takahashi, M., Abe, M.: Radiofrequency (RF) capacitive hyperthermia combined with radiotherapy in the treatment of abdominal and pelvic deep-seated tumors. Radiotherapy and Oncology 16: 139-149, 1989

Sasai, K., Shibamoto, Y., Takahashi, M., Abe, M., Wang, J., Zhou, L., Nishimoto, S., Kagiya, T.: A new, potent 2-nitroimidazole nucleoside hypoxic cell radiosensitizer, RP-170, Jpn J Cancer Res 80: 1113-1118, 1989

Ono, K., Fushiki, M., Nagata, Y., Sasai, K., Takahashi, M., Abe, M.: Combined effect of radiation and IUdR on experimental liver tumors and hepatocytes. Strahlentherapie and Oncologie 165: 688-692, 1989

Jo, S., Hiraoka, M., Akuta, K., Nishimura, Y., Takahashi, M., Abe, M.: Histopathological changes of human tumors following thermotherapy. Int J Radiat Oncol Biol Phys 17: 1265-1271, 1989

Fushiki, M., Ono, K., Shibamoto, Y., Tsutsui, K., Sasai, K., Takahashi, M., Abe, M.: Effect of recombinant granulocyte colony-stimulating factor on granulocytopenia in mice induced by irradiation. Int J Radiat Oncol Biol Phys 18: 353-357, 1990

〔国際学会，国内学会シンポジウム抄録，その他〕

高橋正治：癌の放射線療法・巻頭言，医学のあゆみ，150：861,1989

高橋正治：RF加温・深在性腫瘍の温熱療法の現状，医学のあゆみ，151：156,1989

高橋正治，平岡真寛，芥田敬三，西村恭昌，永田 靖，増永慎一郎，阿部光幸：放射線と温熱との併用療法，日医放会誌，49：494,1989

高橋正治，芝本雄太，笹井啓資，小野公二：二次スクリーニングとしてのSpheroid培養系の研究，及び担癌動物でのスクリーニング．放射線の制がん効果を増強する薬剤の開発とスクリーニングシステムの確立に関する研究，文部省化学研究費がん特別研究Ⅰ，昭和62年度研究報告書（No. 2），母里知之（編），1989：p50-53

高橋正治，笹井啓資，芝本雄太，小野公二，筒井一成，伏木雅人，阿部光幸：RP-170とKIH-802の薬物動態，放射線増感効果および毒性に関する検討．放射線の制がん効果を増強する薬剤の開発とスクリーニングシステムの確立に関する研究，文部省化学研究費がん特別研究Ⅰ，昭和63年度研究報告書（No. 3），母里知之（編），1989：p57-65

Nishimura, Y., Shibamoto, Y., Yukawa, Y., Jo, S., Akuta, K., Hiraoka, M., Takahashi, M., Abe, M.: Relationship between vascular damage and heat sensitivity. In "Hyperthermic Oncology 1988, Volume 1", ed by Sugahara, T. and Saito, M. eds, Taylor & Francis, London, p41-42, 1989

Jo, S., Nishimura, Y., Akuta, K., Hiraoka, M., Masunaga, S., Nagata, Y., Takahashi, M., Abe, M.: Thermal response of normal kidney liver and muscle in rabbits, *ibid*: pp109-111, 1989

Nagata, Y., Hiraoka, M., Akuta, K., Jo, S., Nishimura, Y., Masunaga, S., Takahashi, M., Abe, M., Fukuda, Y., Imura, H., Mori, K., Yamaoka, Y., Ozawa, K.: RF thermotherapy for malignant liver tumor, *ibid*: p467-469

Oshima, T., Hiraoka, K., Takahashi, M., Nohara, H., Akuta, K., Jo, S., Hiraoka, M., Abe, M.: Semi-invasive quartz thermometer using ultrasonic coupling effect, *ibid*: p655-658

Akuta, K., Hiraoka, M., Jo, S., Nishimura, Y., Nagata, Y., Masunaga, S., Nohara, H., Takahashi, M., Abe, M., Rhee, J. G., Song, C. W., Yamamoto, I.: A newly developed interstitial applicator for RF current heating, *ibid*: p878-880

Masunaga, M., Hiraoka, M., Takahashi, M., Jo, S., Akuta, K., Nishimura, Y., Nagata, Y., Abe, M.: Clinical results of thermoradiotherapy for locally advanced and recurrent breast cancers: Comparison of results with radiotherapy alone. In "Hyperthermic Oncology 1988, Volume 2", ed by Sugahara, T. Saito, M. Taylor & Francis, London, N. Y., Philadelphia, 1989: p581-583

Akuta, K., Hiraoka, M., Nishimura, Y., Nagata, Y., Masunaga, S., Jo, S., Takahashi, M., Abe, M.: Clinical evaluation of the tumor response to hyperthermia, *ibid*: p581-583

Hiraoka, M., Akuta, K., Nishimura, Y., Nagata, Y., Masunaga, S., Jo, S., Takahashi, M., Abe, M.: The relevance of tumor volume in the response of superficial tumors to combined heat and radiation, *ibid*: p627-629

Nishimura, Y., Hiraoka, M., Akuta, K., Jo, S., Nagata, Y., Masunaga, S., Takahashi, M., Abe, M.: RF capacitive hyperthermia in human tumors: the results of thermometry, *ibid*, p688-689

Takahashi, M., Nohara, H., Akuta, K., Jo, S., Masunaga, S., Nagata, Y., Nishimura, Y., Hiraoka, M., Abe, M., Ohshima, T., Hiraoka, K.: In vitro and in vivo study on wireless thermometry system using implantable quartz sensor in hyperthermia, *ibid*: p737-739

Fushiki, M., Ono, K., Takahashi, M., Abe, M.: Clinical effect of recombinant human granulocyte colony-stimulating factor on neutropenia induced by irradiation. *Int J Radiat Oncol Biol Phys* 17 (supple 1): 162, 1989

Sasai, K., Shibamoto, Y., Zhou, L., Nishimoto, S., Takahashi, M., Kagiya, T., Abe, M.: A fluorinated 2-nitroimidazole, KU-2285, as a potent new hypoxic cell radiosensitizer, *ibid*: 241

感染免疫動物実験施設

〔誌 上 発 表〕

Noma, T., Nakakubo, H., Sugita, M., Kumagai, S., Maeda, M., Shimizu, A. and Honjo, T: Expression of different combinations of interleukins by human T cell leukemic cell lines that are clonally related, J. exp. med., 169: 1853-1858, 1989.

前田道之: HTLV-Iの感染からATL発症の仕組み, BIOmedica 4: 391-395, 1989.

前田道之: リンパ球の異常増殖とHTLV-Iの感染, シリーズ分子生物学の進歩, 免疫系: 認識・分化・増殖, p259-269, 丸善, 1989.

前田道之: T細胞レセプター・IL-2レセプター遺伝子とリンパ腫: ATL発症機構の解析, 皮膚のリンフォーマ VIII, 山田瑞穂編, p9-17, 1989

〔学 会 発 表 等〕

前田道之, 中村吉昭, 有馬直道, 内山 卓, 中久保史, 清水 章, 本庶佑, 淀井淳司: ATL白血病細胞の増殖に關与する要因の解析: 抗HLA-DR抗体による増殖抑制, 第48回日本癌学会総会, (1989.10)

多賀谷温, 増谷 弘, 三井 彰, 前田道之, 若杉 尋, 若杉なおみ, 淀井淳司: Autocrine growth promoting effect of recombinant ADF (ATL-derived Factor) on HTLV-I (+) and EBV (+) cells, 第48回日本癌学会総会 (1989.10)

多賀谷温, 増谷 弘, 三井 彰, 前田道之, 若杉 尋, 若杉なおみ, 淀井淳司: 組み換え ATL由来因子(rADF)の生物活性と還元活性, 第19回日本免疫学会総会, (1989.11)

Maeda, M.: Hypothesis for a stepwise progression of ATL leukemogenesis, Seminar at Lab. Tumor Cell Biology, NCI, NIH, Bethesda, U. S. A. (1989. 9)

薬 剤 部

〔学会・研究会・講演発表〕

川勝一雄, 井狩 節, 川合 満: テオフィリンの体内動態に及ぼす塩酸クロピジンの影響, 日本薬学会第109年会 (1989. 4. 5)

千熊正彦, 佐藤卓史, 村上なお美, 斎藤 寛, 門 政男, 泉 孝英, 川勝一雄, 武山正治: ヒト気管支肺胞洗浄液中のアルブミンの酵素免疫測定—クロマズロール S を用いた蛍光定量法との比較, 日本薬学会第109年会 (1989. 4. 4)

川勝一雄: テオフィリンのTDM, 第7回薬物治療モニタリング特別ゼミナール (1989. 9. 3)

川合 満, 松井保憲, 加藤元一, 倉澤卓也, 久世文幸, 川勝一雄: テオフィリンの代謝系に及ぼす塩酸クロピジンの選択的阻害作用, 第39回日本アレルギー学会 (1989. 9. 27)

川勝一雄, 政田幹夫, 川合 満, 千熊正彦, 安田耕太郎, 穴戸 亮: 市販アミノフィリン坐剤の生物学的利用性, 第11回日本病院薬剤師会近畿学術大会 (1990. 1. 28)

奥村秀夫: ノカルジア感染症患者におけるスルファメトキサゾールのTDM, 第13回近畿病薬TDM懇話会 (1990. 2. 17)

〔誌 上 発 表〕

Sano, M., Kawakatsu, K., Yamamoto, I., Takeyama, M., Yamashina, H. and Goto, M. : Inhibitory effect of enoxacin, ofloxacin and norfloxacin on renal excretion of theophylline in humans. *Eur. J. Clin. Pharmacol.*, 36 : 323-324, 1989.

川合 満, 鈴木克洋, 川勝一雄 : 最近の喘息治療薬の機序と役割(4)テオフィリン製剤. *医薬ジャーナル* 25(8) : 53-59, 1989.

政田幹夫 : 病態時の薬物体内動態—急性腎不全時の薬物消化管吸収. *医学のあゆみ*, 150(11) : 730, 1989.

Kawakatsu, K., Nishimura, K., Kawai, M. and Chikuma, M. : Separation and determination of theophylline from paraxanthine in human serum by reversed-phase high-performance liquid chromatography. *J. Pharm. Biomed. Anal.*, 7 (8) : 965-973, 1989.

Nakanishi, K., Masada, M., Nadai, T. and Miyajima, K. : Effect of the interaction with bile salts on the drug absorption from rat small intestinal lumen. *Chem. Pharm. Bull.*, 37 : 211-214, 1989.

Namba, Y., Sakakibara, T., Masada, M., Ito, F., Oku, N. : 1-O-palmityl-D-glucuronate endows liposomes with long half-life in vivo. *Chem. Lett.*, 1989 : 2145-2148, 1989.

Yamashita, S., Suda, Y., Masada, M., Nadai, T. and Sumi, M. : 5-Fluorouracil derivatives with serum protein binding potencies. *Chem. Pharm. Bull.*, 37 : 2861-2863, 1989.

Yamashita, S., Masada, M., Nadai, T., Kurosaki, Y., Nishimura, H., Nakayama, T. and Kimura, T. : Electrophysiological investigation on the drug permeation across stratum corneum. *J. Pharmacobio. -Dyn.*, 12 : s-119, 1989.

〔著書 (分担執筆)〕

川勝一雄, 安浪 純 : 気管支拡張薬. 田中一彦, 三牧孝至, 扇谷茂樹 編 「TDMマニュアル」, p.140-152, 医薬ジャーナル社, 1989.

政田幹夫 : 第3章 3 懸濁剤・乳剤, 4 軟膏剤と類似製剤, 坐剤. 瀬崎 仁, 木村聡城郎 編 「薬剤学」, p. 111-139, 広川書店, 1989.